

## II. 景気の先行きに対する判断理由

景気の先行きに対する判断の理由について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

### 1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北海道)		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス、特に変異種の感染状況とワクチン接種の実施状況によって変わってくるが、現状では首都圏の緊急事態宣言解除に伴って、春から初夏に掛けての旅行需要の回復が大いに期待できる。特に北海道は国内旅行の目的地として注目されている様子がうかがえる。
		観光名所（従業員）	・新型コロナウイルスに対して自己防衛しながら、楽しむことは楽しもうという客が増えてきている。このまま個々で対策しながら日常を取り戻そうという雰囲気が強まることを期待している。
		商店街（代表者）	・4月中旬からワクチン接種が始まることになれば、当区域を訪れるきっかけにもなるため、これまで郊外に向けられていた客足も少しずつ回復していくことになる。新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、初夏以降は道内外からの旅行者が増えることも期待できるため、交通、宿泊、飲食などの売上が伸びることになる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・現在はゴースタウンに近い状態だが、医療従事者へのワクチン接種が始まったことで景気がやや良くなると期待している。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者はこれからも少しずつ増えていき、波が繰り返されるとみているが、それによってどのような状況になるのか見通せないというのが正直なところである。ただ、客の様子をみると、そろそろ旅行したいという欲求が高まっていると感じられるため、今後については感染対策を行いながら、少しずつ客が増えてくるとみている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・今後については、新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、客の消費意欲が衰えていないことから、売上が回復すると期待している。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルス感染対策に伴う自粛疲れもあり、客の購買意欲が上向いてきている。現在の感染状況のまま推移すれば、今後の景気は良くなっていく。
		百貨店（販売促進担当）	・現状、来客数や買上率が回復傾向にあり、客の買い回りも活発になっている。今後もこうした傾向は続くと思われるため、消費は回復することになる。
		百貨店（営業販促担当）	・イベントへの集客など、一部で回復の動きがみられるようになってきている。高額商材の動きも良くなっているため、全体的な景気も徐々に上向くことになる。取引先の対応も前年よりは改善することが見込まれる。
		スーパー（店長）	・前年は感染拡大防止対策として、営業時間の短縮や専門店街の営業自粛などが行われていたが、今年は全て通常営業となっていることから、今後の景気はやや良くなる。一昨年の水準までは戻らないとしても、前年から2けたの伸びが見込まれる。
		スーパー（役員）	・入学式や花見など、身近な行事の動きが少しずつ例年並みに戻っている。客の行動も明るい方向に進んでいることから、今後の景気はやや良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う客の行動抑制が緩和されることで、酒類を中心とした需要が増えていくことが見込まれる。ただ、回復の度合いは行動抑制の強弱で決まってくることになる。
		コンビニ（エリア担当）	・自粛が1年以上続いていることから、新型コロナウイルスの感染が再拡大したとしても、我慢ができなくなり、周りの地域と人の行き来が増えることが見込まれる。また、Go To Travelキャンペーンに付随した内容の企画が進むことも期待できる。
	コンビニ（エリア担当）	・前年4月は売上の減った時期であるため、前年比では上回ることが期待できる。来客数の減少を見込んだうえで、どのように単価を上げていくかが鍵となる。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（店長）	・客が必要な商材を徐々に買っていきが見込めるため、今後については緩やかな回復基調になる。ただ、経営的には危機的な状況がまだ続いており、先行きの見通しが立っていない。
		乗用車販売店（経営者）	・大きな変化はないとみているが、人の動きが活発になることを期待できるため、新型車の効果も含めて、多少は景気が好転することになる。ただし、新型コロナウイルスの感染再拡大がないことが条件である。
		高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染再拡大は心配だが、SNSで地方客が当地域の飲食店を訪れる投稿も目立つようになってきていることから、以前と比べて、今後への期待が高まりつつある。ただ、期待していた東京オリンピックのマラソン開催の効果については、外国人の観客受入がゼロ、国内客が半減となるようであり、残念である。また、大会期間中、当店のシェフが中心市街地で実演を行う予定だが、集客や収益につながることは望みにくい。
		観光型ホテル（スタッフ）	・国内からの個人旅行が少しずつ回復している。催行は不確定だが、コンサートに関連した宿泊予約も入り始めている。
		旅行代理店（従業員）	・ワクチンの接種開始や東京オリンピック開催などによって、客の雰囲気が変わってくることが期待できるため、今後の景気はやや良くなる。
		通信会社（企画担当）	・ワクチンの普及など、新型コロナウイルスの感染対策が進むことで、街中への人出が回復することが期待でき、それに伴って店舗への来客数も増加することになる。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況について、現在のような状態で推移するのであれば、今後は来客数、売上がかなり増加すると期待できる。再度の自粛要請などが出ないことを願うばかりである。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・ワクチンの接種状況次第であるが、今後、Go To Travelキャンペーンなどの施策が行われることで、輸送量が徐々に増加することになる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスについて、感染再拡大の懸念があることから、今後も景気は変わらない。
		商店街（代表者）	・このまま現在の好調な状況が続くことを期待している。
		百貨店（役員）	・新型コロナウイルスの影響で一進一退の状況が続いているため、景気の先行きについては不明瞭な状態にある。
		スーパー（店長）	・前年は新型コロナウイルスの感染状況について、終息傾向がみえていた時期であったため、Go To Travelキャンペーンなどでの後押しがあった。今年は東京オリンピックが開催されるまで回復基調にはならないと見込まれるため、今後も景気は変わらない。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の計画遅れや感染者数のリバウンド傾向などから、消費マインドの先行きがなかなか見通せない。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの終息が見通せないため、今後も景気は変わらない。
		家電量販店（経営者）	・空気清浄機やエアコンを中心としたウイルス対策商材が前年を大きく上回る売上となっている。家電品については、個人需要が伸び悩んでいる一方で、法人需要が旺盛である。これらのことから、今後の景気はやや良くなる。
		家電量販店（店員）	・今後については春の季節需要を期待している。
		乗用車販売店（従業員）	・北海道の場合、暖くなるにつれて、来客数が増える傾向があるため、これから成約が増えてくることが期待できる。一方、新型コロナウイルスの感染状況について、感染者数が増えてきている地域もあるが、北海道はそこまで増えてきているわけではないことから、今後は悪くても3月並みの水準を保つことができると見込んでいる。
		乗用車販売店（従業員）	・期末手当が前年よりも減っており、同様の企業が周りに多いとみられる。4月のベースアップ交渉も思うようには進まないことが見込まれるため、今後は現状維持での推移となる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、先行きが見えない状況ではなくなってきていることで、今まで抑えていた消費も元に戻りつつあることから、今後の景気はやや良くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔造花〕（店長）	・3月の前年比はプラスとなる見込みだが、前年の落ち込み幅が大きかったため、参考にはならない。今後についても動向は不透明である。
		高級レストラン（経営者）	・東京などの緊急事態宣言が解除されたことから、少しは観光客が訪れるようになると期待できる。また、春を迎えて暖かくなることで、人出が増えてくることも期待できる。これらのことから、今までよりも多少は景気が良くなる。ただ、第4波で感染者数のリバウンドが懸念されているなか、北海道による札幌との往来自粛要請が出されており、当地においても感染者数がいつ増加してもおかしくないため、先行きの見通しが立たないというのが正直なところである。
		観光型ホテル（経営者）	・北海道独自の観光キャンペーンなども開始されつつあるが、域内での需要喚起にとどまるため、今後2～3か月は集客の低迷が続くと見込まれる。
		旅行代理店（従業員）	・景気が良くなるような兆しが見当たらない。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況によって景気は大きく変動することになる。ここ数か月、同じような状況が続いていることから、景気が大きく改善するとは考えにくく、悪い状況のまま変わらずに推移する。事務所の要員も新型コロナウイルスの影響で2021年度は大幅削減となる。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数を完全に抑え込まない限り、旅行需要は戻らない。ワクチン接種が進まないと感染者数は減らないとみられるが、2～3か月後はまだ限られた人のみのワクチン接種にとどまり、全ての国民に行き渡っていないことが見込まれる。変異種ウイルスによる感染者数が増加していることもマイナスである。Go To Travelキャンペーンが再開していれば、少しは景気が良くなるだろうが、感染者数が減っていないと効果は余り期待できない。
		観光名所（職員）	・北海道による集中対策期間が終了し、首都圏の緊急事態宣言も解除されたが、来客数は引き続き低調に推移している。Go To Travelキャンペーンの再開やワクチンの浸透など、人の動きが戻るきっかけがない限り、今後も厳しい状況が続く。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの特効薬などが完成しない限り、今と同様の状態が続く。
		商店街（代表者）	・コロナ疲れで客の諦めムードが強まっていることから、今後の景気はやや悪くなる。
		商店街（代表者）	・国による緊急事態宣言が解除されたことで、観光客が回復すると期待していたが、再度の感染拡大により望みが絶たれた。期待していた東京オリンピックも観客受入に制限が掛かったことから、観光業界復活のめどが立たず、途方に暮れている。観光業界の経営環境は限界を超えており、早く手を打たないと存続が危ぶまれる状況にある。
		スーパー（役員）	・新型コロナウイルスの第4波に対する警戒が強まっているなか、多くの業態で業績が悪くなっていることで客の消費意欲が低下している。それが買上点数の減少に現れている。ワクチン接種も当初の予定と比べて相当遅れそうのため、先行きについては不透明な状況にある。
		スーパー（従業員）	・外食産業、観光産業の回復が遅れていることから、今後の景気はやや悪くなる。
		乗用車販売店（従業員）	・新年度になってこれからという時期だが、当業界では最盛期が過ぎ、若干景気が下向きになる時期であることから、今後の景気はやや悪くなる。
		自動車備品販売店（店長）	・緊急事態宣言の解除後にまん延防止等重点措置が要請されるなど、不安定な状況が続いていることから、今後の消費動向は縮小することになる。景気回復のためには、これまででない対策を考案し、実行していくことが求められる。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・現状は真の不景気が襲ってきた状況にある。新型コロナウイルスによる健康不安が完全になくならない限り、今後の景気は厳しくなる。
		高級レストラン（スタッフ）	・緊急事態宣言が解除されたことにより、感染が再び広がることが見込まれるため、今後の景気回復は見込めない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		高級レストラン（スタッフ）	・観光客がメインの客層となるため、首都圏での緊急事態宣言が延長されたことで来客数の動きが鈍化している。前月と比べればやや増加しているが、全体的には厳しい状況が続いている。春先は異動の時期でもあるため、需要が高まることを期待したいが、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない限り、今後も大きな伸びは見込めない。
		スナック（経営者）	・営業を再開したが、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くまで、景気が上向くことは期待できない。頑張って営業していくしかない。
		タクシー運転手	・ここに来て新型コロナウイルスの感染者数が増加してきていることから、政府や自治体の対策内容によっては来客数に影響が生じることが懸念される。そのため、今後の景気はやや悪くなる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス禍のなか、まだまだ厳しい状況が続いている。感染者数のリバウンドなども懸念されているため、今後の景気は現状よりもやや厳しくなる。ワクチン接種の進み具合によって状況は変わってくるが、景気が回復するまでは相当な時間を要することになる。
		タクシー運転手	・歓送迎会などの自粛ムードがみられるなど、タクシーの稼働が上向いてこない状況にある。医療従事者へのワクチン接種が始まったが、全ての国民にまでワクチンが行き渡るのは、まだまだ先になることから、今後の景気はやや悪くなる。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスについて先行きへの見通しが立たないこと、為替が円安傾向にあることなどから、若干物価がインフレ気味となってきている。コンテナ貨物の物流費用なども値上がり傾向にあり、国内市場にとっては余り良くない傾向が現れてきている。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で経済環境が悪化しているにもかかわらず、建築単価は下がっておらず、分譲マンションの販売価額も高止まりしたままである。そのため、分譲マンション市場における需要と供給のミスマッチはしばらく続く。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス対策として中途半端な自粛要請などが行われているが、感染者数や新型コロナウイルスの正確な特徴、PCR検査の正確さ、従来のインフルエンザとの比較など、科学に基づく正確な情報を国民に伝えていかなければ、不安ばかりが先行することになる。国民が委縮している状況が続く限り、今後の景気が良くなるわけがない。
	×	タクシー運転手	・例年4月になり、暖かくなると、雪のある3月までと比べてタクシーの利用が激減する。また、新型コロナウイルス禍で自粛が続いていることから、夜間の人出も期待できない。こうしたことから、今後の売上は3月よりも悪くなる。新型コロナウイルスの影響が生じている状況が1年以上続いていることで、資金繰りも大変になってきた。
	×	タクシー運転手	・次から次へと感染の波が押し寄せており、また変異種による感染拡大などもあり、一向に状況が改善してこない。地方では東京オリンピックの効果も期待できないなど、今後に向けての明るい材料が皆無である。
	×	タクシー運転手	・厳しい経営環境が続くなか、企業側の備蓄が底を突き始めている。
企業 動向 関連  (北海道)		-	-
		建設業（経営者）	・稼働率にはまだ大分余裕があると見込まれるが、公共工事の発注が本格化し、土木、建築共に契約金額が積み上がってくることになる。ただ、新型コロナウイルスの影響を受けている飲食、観光、交通などがどれだけ回復するかが分からない。今後の回復状況によって街中の景気も左右されることになり、民間建築の需要もある程度連動することになる。
		建設業（役員）	・業種による濃淡はあるものの、新年度工事の新規受注に動きが出始めている。新型コロナウイルス禍で見通しの立たない状況は脱しており、回復の兆しが見られる。公共土木工事の入札結果にも期待している。
		輸送業（支店長）	・首都圏での緊急事態宣言も解除されたことから、今後、荷動きが活発化することになる。
		通信業（営業担当）	・ワクチン接種が計画どおりに進むことになれば、経済活動の回復に伴って景況感も上向くことになる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（従業員）	・北海道による集中対策期間の終了、1都3県の緊急事態宣言の解除などにより、経済活動がますます活発化することになる。また、道内においては観光業底上げのための施策が検討されていることから、新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念はあるものの、3か月先の道内景気はやや良くなる。
		司法書士	・金融機関、不動産、建築などの動きから判断すると、2～3か月後は繁忙期に入ることに加えて、新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことへの期待感もあり、多少は景気良くなる。ただし、建築業では、大工や職人が大都市や震災地域に集中することから、需要はあっても受注できない状況になることも懸念される。
		食料品製造業（従業員）	・景気良くなるような案件がないことから、今後も変わらない。
		食料品製造業（従業員）	・価格改定後から販売量の減少が継続している。しばらくは現在の状況が続くことになる。
		家具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの第4波が懸念されることから、当面は現状維持のままで推移する。
		金属製品製造業（従業員）	・今後についても、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けることになる。ワクチンの接種計画についていまだに見通しが立っておらず、全国的に感染者が増加傾向にあることから、不安しかない。
		司法書士	・東京オリンピックの開催が4か月後に迫ってきているが、ワクチンの供給不足によって国民への接種の見通しが立っていないことから、今後の景気は厳しいまま変わらない。
		コピーサービス業（従業員）	・東京オリンピックでの景気向上は見込めないことから、今後の景気は現状維持又は悪くなる。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（営業担当）	・北海道新幹線の札幌延伸に係る工事、再生可能エネルギー設備の建設などで動きがみられ、比較的堅調に推移していることから、今後も景気は変わらない。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響で観光、外食を中心に景気回復が遅れている。第4波が警戒されていることもあり、今しばらく消極的な経済活動が続くそう。
		その他サービス業〔建設機械リース〕（支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況や東京オリンピックを取り巻く状況に変わりが見られないなど、景気良くなる要素が少ない。
		建設業（従業員）	・年度末を控え、中規模以上の建設会社では受注目標を達成したとする営業担当者が多いが、新年度受注については新型コロナウイルスの影響もあって全く見通せないようだ。
		その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・現在、IT業界は決して悪い状況にはない。むしろ例年よりも良い状態だとさえ感じる。しかしながら、新型コロナウイルスの影響で景気がかなり悪化している業種もあることから、これからIT業界にも間違いなく影響が出てくることになる。ただ、それがいつ頃になるのか分からず、そのことがより一層不安にさせる。
	x	その他非製造業〔鋼材卸売〕（従業員）	・今後、半年程度、仕事量が減少傾向で推移するとみられることから、ベース商材の売上も落ち込むとみられる。規模の大きな案件も一時的に止まっており、補助金などを活用する意識も薄くなっていることから、今後への見込みが薄い。
雇用関連		-	-
(北海道)		求人情報誌製作会社（編集者）	・弱含みながらも、求人掲載件数に若干の増加傾向がみられる。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・新型コロナウイルスの感染者数が低い水準で推移することになれば、雇用活動も活性化する。東京オリンピックのマラソン開催もプラス要因であるが、景気とともに感染拡大を連れてこないか心配している。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・ワクチン接種が予定どおりに進むこと、新型コロナウイルスの感染者数が増えないことが前提であるが、今後の経済活動は現在よりも活発になる。
		人材派遣会社（社員）	・今年も春のイベントが抑制気味であり、労働者は雇用への不安、収入の先行きへの不安などを抱えている。そのため、消費拡大に消極的であり、景気の見通しが立たない状況にある。
		職業安定所（職員）	・就職件数は前年を上回っているが、雇用調整助成金の相談が増えてきているなど、今後も新型コロナウイルスの影響が続くことが見込まれる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・旅行や観光産業については、まだまだ回復に時間が掛かるとみられ、ゴールデンウィークを控えているものの、向こう2～3か月程度では大きな改善はみられない。
		学校〔大学〕（就職担当）	・道内企業の状況を鑑みても、今後の景気が良くなる要素がほとんどない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・今のところ、建設業界は新型コロナウイルスの影響を受けておらず、地元経済を下支えしているが、公共事業の予算配分の見直しや年内に実施される総選挙の影響が心配される。
		職業安定所（職員）	・当地域における新規求人数は前年比マイナス7.3%、月間有効求人数は前年比マイナス10.6%となっている。いずれも減少していることから、当面は現在の水準のままで推移することが見込まれる。一方、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で需要が低迷している一部の業種においては、不安定な動きが継続しており、なお予断を許さない状況にある。
	x	-	-

## 2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (東北)		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数が減少し、Go To Travelキャンペーンが再開されることを前提に、国内旅行の客が動き出すことが考えられる。また、そのように期待もしている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症は今が最悪であり、今後はワクチン等で収束に向かうと信じている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	・ワクチンがどこまでの効果をもたらすのかによって大きく変わってくるが、急激に良くなることなどは決していない。ただ、感染者を増やさず、人が動くような状況を作っていかなければ飲食店を始め全ての店が耐えていけない状況にある。現状維持ではもう持ちこたえられない。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスワクチン接種が進むにつれ、消費マインドも上昇し需要の回復が進むものと考えている。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことで、例年どおりにはならないまでもイベントが開催されるようになり、経済活動へのポジティブな影響が想定される。
		百貨店（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数の増減次第だが、ワクチン接種が一般にも始まり、多少消費マインドが回復すると期待している。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば人の流れも徐々に戻ってくるとみている。
		コンビニ（経営者）	・除雪代や高熱費の負担は楽になるが、毎月売上が前年より落ちているなかで期待はできない。今年はイベントや祭りも開催するようだが、どの程度売上に結び付くのか全く予想ができない。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスワクチン接種により、人の流れがより活発になると推測され、来客数及び販売量の増加が見込まれる。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染者数が減少となれば、人出が戻り売上拡大が見込める。
		コンビニ（エリア担当）	・春夏に向けて来客数増加に期待している。
		コンビニ（店長）	・ウィズコロナにおけるライフサイクルが大分定着してきている。よって、今後、暖かくなるにつれて、深夜は別にして人が出てくるので、少し良くなっていくのではないかと期待している。
		衣料品専門店（経営者）	・気候も良くなり、新型コロナウイルスの感染収束のめどが立ってくると、客の気持ちも外向きになってくることが期待できる。
		衣料品専門店（店長）	・前年のどん底に比べたら、入学、卒業需要といったモチベーション需要が回復してきている。また、ふだん着需要も緩やかに以前のような状況に戻りつつある。
		家電量販店（店長）	・経済活動が活発になることを見込んでいる。
		乗用車販売店（従業員）	・メーカー決算のため今月は受注台数が増加しているが、前年実績に比べても増加しているため、新型車の発表で更に新規来場も見込める。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・この先、今よりはもう少し新型コロナウイルス感染症の状況も落ち着いてくれるとみている。そこで人の動きが戻れば売上も上がる。自粛ばかりでイベントや祭りがいないことが本場に痛い。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン開発等により、移動需要が拡大することを望んでいる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・感染状況にもよるが、今後、ワクチンの普及や東京オリンピックに対する期待感が強まれば、多少景気の底上げにはなってくる。
		高級レストラン（支配人）	・コロナ疲れもあり、新型コロナウイルス感染症の第3波を乗り切ったことで客も大分動き出している。特にランチタイムの来客数は前年10月のコロナ禍においても良かった月と同程度なので、その流れは来月、再来月と続くのではないかとみている。夜は相変わらず静かであるが、企業もイベントなどがあれば、少人数で使われる可能性も高いとみている。
		観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、ワクチン接種が進めば少し良くなると期待したい。
		旅行代理店（従業員）	・海外からの人が来ないとしても、東京オリンピック・パラリンピックによって多少は良くなってほしい。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染者数が100人を超える前は、タクシー利用者が増加傾向にあったことから考えると、感染者が減少していけば外出に転じる人が多くなるとみている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が終息に向かったとしても、生活様式の変化は簡単には戻らないとみられるため、通信の需要は引き続き増える。動画配信サービス等の利用者の増加により、インターネットサービス利用者のデータ通信量は2年前の4倍、前年の倍に増えている。このデータ伝送に対応できる設備投資をしているため、客へ快適なサービス提供が可能になっている。これにより、新規加入及びギガサービスなど上位メニューへコースアップする客も増えている。
		テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第にはなるが、終息に向かえば客も少しは外出したりするのではないかと。ただ、世界的にいろいろな業種が落ち込んでいるので、収入などが以前同様になるまでは時間が掛かる。よって、来客数や購入率が完全に戻るのも時間が掛かるとみている。
		観光名所（職員）	・関東方面の緊急事態宣言が解除されて大分上向きになっている。残念ながら地震や県内での緊急事態宣言があつて県内客は減っているが、関東方面からの客や他県客の予約は徐々に入ってきているので、少し良くなってくるとみている。
		美容室（経営者）	・2～3か月後には65歳以上の人を対象としたワクチンの接種も始まるということなので、それに伴って客も戻ってくるのではないかとみている。
		住宅販売会社（経営者）	・小坪数の分譲地を整備中で、問合せもあり、受注拡大の段取り中である。
		その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・現在よりは経済状況の改善が見込める。
		商店街（代表者）	・ゴールデンウィークから夏場に掛けてのイベントは、前年は中止になったが今年はある程度開催される。特にねぶた祭の開催が発表されているので、良い方に影響するとみている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況に景気は大きく左右される。春の祭りやイベントの中止が増えてきていることから、現状と変わらないとみている。
		商店街（代表者）	・とにかく新型コロナウイルスに左右されている。収束の見込みもなく、景気の状態は変わらない。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	・販売量を押し上げる質の高い書籍、雑誌の動きが一段落してきている。また、キャッシュレスに向かって思ったより消費動向に上振れ感がないので、停滞が続くとみている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・現在の状況が変わらないのであれば、今後2～3か月先もこの状態が続く。客の購買意欲をみていると決して悪くはないので、このままいくのではないかとみている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・中間層の客の来店が減っており、来客数が落ち込んでいる。客との会話からもかなり厳しい状況が見取れる。今後、何らかの経済対策が採られると予想しているが、結果としては変わらないとみている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔寝具〕 (経営者)	・新型コロナウイルスの影響もあるのだろうが、相変わらず客の商品購入意欲は低い。
		スーパー(店長)	・相変わらず来客数の減少が続いている。客単価も若干下がり気味で、このままいくとマイナス基調になりそうで心配な状況である。
		スーパー(企画担当)	・食品小売業に関しては、コロナ禍で今までと同様、内食需要が続いている。今のところはまだ同じような状況が続くとみられる。
		コンビニ(経営者)	・コロナ禍における生活様式が定着している。活動したり自粛したりの連続なので、そういった面では波がある。波が落ち着くことが希望ではあるが、多少悪くなることも予想される。
		コンビニ(経営者)	・売上前年比が依然厳しく、回復の兆しが見えない。
		コンビニ(経営者)	・気候が良くなってきて少しずつ人出は多くなってきているが、新型コロナウイルスの影響のため、余り変わらないとみている。
		コンビニ(エリア担当)	・東北地方全体でスポーツ、祭りといったイベントは実施していく方向であるが、自粛期間が延長される場合は今以上の景気の冷え込みも予測される。
		衣料品専門店(経営者)	・花見や行楽に出掛ける人が増加し、感染拡大につながることを心配している。
		衣料品専門店(総務担当)	・現状の環境が続くと考えられるため、今より良くなるとは考えにくい。
		乗用車販売店(従業員)	・新車販売についていえば、長納期の傾向にあり、メーカーからの供給がいつになるかに懸かっている。また、中古車市場では、販売車両が少なく、オークションでも車両価格が僅かに上がっている。頼りになるのは、日々のサービス売上である。辛うじて、前年比100%前後の売上を上げているので、安定した収益はサービス売上より得られるが、車販がみえない。現状維持若しくは若干悪くなることが予想される。
		住関連専門店(経営者)	・3か月先だと高齢者にワクチンが浸透していると予想されるので、客がシルバー世代中心の当店としては、順調である今月並みの売上が期待できる。
		住関連専門店(経営者)	・店頭販売が非常に悪くなっている。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕(営業担当)	・新型コロナウイルス感染症のクラスターが身近なところで発生している。景気も回復しきれず、今のまま推移するとみている。
		一般レストラン(経営者)	・新型コロナウイルスの影響が大きい。レストランは不要不急ということで、客が全くといいほど来ない状況が続いており、経営がかなりひっ迫している。1日も早い回復を願っている。
		一般レストラン(経営者)	・ワクチンが行き渡るまでは時短要請が出たり出なかったり、いたちごっこになることが予想されるので、景気が良くなる要素はない。
		観光型ホテル(スタッフ)	・東京オリンピック、パラリンピックが終わらない限り、地方の景気回復は難しい。
		観光型旅館(スタッフ)	・ワクチンが徐々に行き渡るが、周囲を見ながらの情勢になると思うので、大きな変化は見られないとみている。
		通信会社(営業担当)	・転勤異動も前年より若干増えているが、ITを導入している企業が人事異動を削減しているため、運輸業界も一昨年と比べ引越需要が下げ止まり傾向のようである。前年よりは需要はあるが利益が少ないと業界の方が不平不満を述べていた。全体的に景気は平行線のままで前月と変わらない。
		通信会社(営業担当)	・好転する材料に乏しく、現状維持がやっとだとみている。
		通信会社(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染状況は多少改善されるとみているが、営業しにくさは変わらない。
		競艇場(職員)	・広告、宣伝が思うようには打てない現状は変わらない。徐々に来場促進イベントを行う計画を立てているが、売上に結び付くかは実施してみないと何ともいえない状況である。
		美容室(経営者)	・旅行やイベントが減っていることで、髪を切るペースが遅くなっている。
		その他サービス〔自動車整備業〕(経営者)	・ワクチンの接種スケジュールもみえず、大型連休回りには再び感染爆発の危惧もある。回復の兆しは全く見えない。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		設計事務所（経営者）	・少し良い状態のまま変わらないと考えている。官公庁においては東日本大震災の余震による復旧設計が、民間においては補助金などを当て込んだ依頼が、次年度は予定外の案件として増えることが予想される。
		その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・収入減少による節約志向の強まりを予測しており、それにより高額のリフォーム工事は減るとみている。住宅設備機器販売は、エアコンなど巣籠り生活に適した商品の問合せが増えるとみている。
		百貨店（買付担当）	・現在感染状況は比較的落ち着いており、客足も回復しつつある。しかし、新型コロナウイルスワクチン接種の見通しははっきりしておらず、先行きは不透明である。感染が広まれば外出自粛につながるのとは明らかで、感染状況次第と考える。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス対策のワクチン接種が終わるのはまだ先で、経済政策の執行もこれからなので外出自粛等は続く。緊急事態宣言は解除されたものの、消費傾向はしばらくは解除前と同傾向を示すとみている。
		スーパー（店長）	・前年4月は月初めから客単価が急激に上がり5月末頃まで売上が伸長した。今年も同様の販売状況になるとは考えにくく、今後2か月程度は厳しい状況になると推測している。
		スーパー（店長）	・前年は新型コロナウイルスの影響で、4月は売上前年比109.4%、5月は110%と大変売上が伸びた。1年経った今、今後の高い伸びは期待できない。
		スーパー（営業担当）	・最近の来客数の低迷は、特に平日の落ち込みが大きくなっている。
		スーパー（営業担当）	・地域独自の緊急事態宣言が発出されたが、感染者は増加傾向にあり、連日人数増加がみられることから、経済活動の低下が進む。前年のような異常な買物動向にはならないとすると、来店頻度の減少、客単価の減少が懸念される。
		コンビニ（経営者）	・夜の会食が増え始め、アルコール対策用ドリンク等が動き出している。しかし、月後半に入り、緊急事態宣言の発出によりまた動きが止まってしまった。ようやく動き出し始めて期待していたのだが、もう少し我慢の状態が続くとみられる。
		衣料品専門店（経営者）	・例年の4月以降はなじみ客の購買が一段落し、振りの客が中心になるため、売上高が不安定になると予測する。
		衣料品専門店（店長）	・これまでは何とか持ちこたえていたが、ここに来て新型コロナウイルス感染者が増えてきて、入学式の簡略化や中止等々が出てきている。このような状況が続くと、儀礼でのスーツ着用を予定している人にも大きく影響するので、感染状況を大変懸念している。
		衣料品専門店（店長）	・2～3月は特定マーケットが喚起されたが、一般ビジネスは景気の影響を受けるため、しばらく厳しい状況が続くと予想される。
		家電量販店（店長）	・前年のようなコロナバブルは起きていない。家電製品は買換え需要があるので、基本的な売上は大きくは変わらないとみる。客は、新型コロナウイルスの影響が強まってきて景気が悪くなるのではないかと判断している。そのため、徐々に単価が下がってくるのではないかとみている。
		家電量販店（従業員）	・東京オリンピックがあるところで家電需要に回ってくれば多少は盛り上がり期待できるが、今のところは内向きな需要から旅行など外向きな需要に変わっていくといった形になるのではないかとみている。
		乗用車販売店（従業員）	・決算期である今月が一番販売台数が伸びる時期だが伸びておらず、今後も販売台数は伸びないのではないかと予測している。
		乗用車販売店（本部）	・更に強い制限が自治体から掛かる懸念があり、今後をかなり心配する客からの声も大きい。
		自動車備品販売店（経営者）	・歓迎会、総会シーズンでもあるが自粛が続くなか、ワクチン接種が始まるものの、この先3か月ほどは様子見で人の移動はまだ少ないと予想される。
		高級レストラン（スタッフ）	・夜のビジネス利用はどんどん減ってきている。接待はもとより、宴会もなくなり、それが文化として根付いてしまうことを憂慮している。
		観光型ホテル（経営者）	・今後2～3か月先の景気が良くなるのか悪くなるのか見通しが立たない状況である。新型コロナウイルスの感染状況次第である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス感染症の拡大状況及びGo To Travelキャンペーンの再開によって左右されるものの、現状ではこの先3か月の受注も旅行需要ではほぼないことから、旅行業界にとっての景気は悪化傾向にあるといえる。
		通信会社（営業担当）	・ワクチンの接種が徐々にスタートしているが、医療関係者の見解では急激な収束は見込めないようである。そのため、当面は景気が悪くなる傾向が続くとみている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者の増減の流れを考えると、やや悪くなるのではとみている。
		観光名所（職員）	・ワクチンに期待をしたいところだが接種が進んでいない様子がかげえる。隣県で感染者が急増しており再び自粛モードに逆戻りする心配がある。桜ツアーも前年同様、キャンセルが発生している。
		遊園地（経営者）	・前年のような国の緊急事態宣言により休業に追い込まれる事態は避けたいが、先行きが不透明でとても楽観できない。
	×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染が収まらない限り消費は増えない。予約状況からみても完全に市中の消費が止まったようにみえる。
	×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・緊急事態宣言の期間は4月11日までだが、現状、新型コロナウイルス感染者は多い。ワクチン接種の遅れが続けば、このまま悪い状態が続く。
	×	スーパー（経営者）	・可処分所得が伸びないなか、デフレ化の傾向は更に強まる。さらに、4月から総額表示に切り替わるため、割高感により客の購買意欲が落ちる。
	×	コンビニ（経営者）	・平日の客は戻ってきているが、土日の観光の客がなかなか戻らないので、この先も悪くなっていくと予想している。
	×	住関連専門店（経営者）	・受注生産の仕事であり、今後2～3か月は年度末と比べると仕事量が少なくなっているため、今月よりは相当落ち込むという予想がもう出ている。
	×	その他専門店〔酒〕（経営者）	・様々な方策を打ってはいるが、先が見通せない。せめて小康状態が続いてくれればよいが、予断を許さない状況が続くとみている。
	×	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスが何とかならない限り、全く先が読めない。収束することを祈るばかりである。
	×	一般レストラン（経営者）	・今の頼みの綱はワクチンだと思うが、新型コロナウイルスワクチンの接種は遅れている。ほかには景気が良くなるような要素はなく、夜の街はかなり閑散としている。ワクチン次第である。
	×	一般レストラン（経営者）	・国としての考え方だとは思いますが、今は大企業ベースでの景気判断や外資の流れを気にした政策により、国内の経済に活気をもたらすという意識が薄すぎる。その結果、外からの新型コロナウイルスの持込みを簡単に許してしまっている。その現実を変えていかない限りは、ワクチン効果がそれなりに行き渡るようになる年末までは何も変わらない。
	×	タクシー運転手	・首都圏で緊急事態宣言が解除されたが、当県での感染者数激増により県独自の緊急事態宣言が発出され、飲食店に向け営業時間短縮の協力要請がなされており、先がみえない。
	×	タクシー運転手	・店を経営している知人がいるが、新型コロナウイルスにより夜の営業が成り立たない状況になっているということである。また、同業で廃業を検討する人が出ているという話も聞いているので、まだまだ底が見えていない。
企業 動向 関連  (東北)		-	-
		食料品製造業（経営者）	・前年の4～5月がひどすぎたので、前年と比較すればまだいいが、一昨年の数字と比較すると厳しい売上である。何とかしてほしい。
		食料品製造業（営業担当）	・地方において新型コロナウイルス感染が拡大しており、県独自の緊急事態宣言も出ているが、感染症対策をしながら活動する動きが出始めているようである。観光事業は、個人旅行を中心にビジネス関係も徐々に人の移動は増えていくとみている。
		金属製品製造業（経営者）	・東京オリンピックの開催など不安要素はありつつも、少しずつ受注量が増えている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・東京オリンピック開催による景気回復を期待している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（広報担当）	・県内ではクラスターの発生もあるが、ワクチン接種の拡大や祭り等集客イベントの開催により、インバウンド回復は難しいながらも経済の動きはより活発になるものと期待できる。
		広告代理店（経営者）	・イベントの増加、企業のマーケティング、広告活動の再活性化が、新型コロナウイルス感染の収束に伴って進むとみられる。
		農林水産業（従業者）	・今春の果物の開花は今までになく早くなっているため、収穫時も早まり、それにより販売価格も良くなると期待している。
		食料品製造業（営業担当）	・3か月先も状況は厳しく、販売量の前年割れは続く予想している。景気回復には、もう少し時間が掛かるとみている。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・人口減少、少子高齢化による地方の衰退、疲弊感に震災復興の一巡とコロナ禍の長期化が加わり、人の往来が途絶えたことで地方経済に勢いが戻る前にしぼんでしまっている。
		電気機械器具製造業（企画担当）	・この業界の好景気はもうしばらくは継続すると考えられる。従来は、受注価格は徐々に低下するのが一般的だったが、現在は逆の傾向が現れている。
		輸送業（経営者）	・既に新型コロナウイルス感染の第4波が始まったとささやかれ出した状況においては、人の移動等に制限が掛かり、景気に対してマイナス要因となる。また、ここ数日円安が進み110円を超えた。燃料費は前年5月に底を打ち、以後現在まで値上がりが続けており、運送業界にとっては更なる負担増加が予想される。
		通信業（営業担当）	・まだ楽観視はできない。今後も気を抜くことなく客のために新型コロナウイルス感染予防につながる営業努力を継続していくのみである。
		金融業（営業担当）	・ワクチン効果が現れるまでは厳しい状況が続くとみられる。
		広告業協会（役員）	・ワクチン接種が順調に進み、新規感染者も減少して、イベントやGo Toキャンペーンの復活となれば、急上昇する可能性はあるが、リバウンドしている状態ではその逆もある。
		広告代理店（経営者）	・良くなる理由が見当たらない。
		公認会計士	・飲食、小売は業態転換の客も出てきており、苦しい会社が多い。建設関係はさほど影響を受けないとみているが、新型コロナウイルスの感染が落ち着かないことには、全体としての景気は上向かないとみられる。
		その他企業〔協同組合〕（職員）	・見積案件等は徐々に増えてきているが、納期、価格等の対応が厳しい状況下から脱していない。設備投資及び人員増加へとまではまだいかない。
		建設業（従業者）	・2～3か月後に契約見込みの案件が控えているものの、今月の契約額より低下する見込みである。
		建設業（企画担当）	・地域の新型コロナウイルス感染拡大による悪化の影響が長引く状況にある。
		通信業（営業担当）	・年度末の駆け込み需要が落ち着く。
		経営コンサルタント	・東北のハブである当県での緊急事態宣言発出は東北各県にも悪影響を及ぼす。
		司法書士	・年度末の繁忙期となる今月の需要が例年と比べて劣っている。小規模分譲地の販売や低価格帯の住宅は好調である一方で、不動産取引の引き合いがないと嘆く取引先も複数あり、全体的には盛り上がり欠ける。
		コピーサービス業（従業者）	・新型コロナウイルス感染がある程度収束していかないと先がみえない。しばらくは様子を見て、感染者の減少傾向がみられたら、商談も活発になっていくとみている。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況によって景気は左右される。3月後半も悪いが、4～5月も以前よりは悪くなる。
		その他非製造業〔食料品卸売業〕（経営者）	・首都圏の感染者数拡大でゴールデンウィークへの影響を懸念している。県内の緊急事態宣言も延長の可能性もある。再び人の移動が制限される可能性が高まっている。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	・県独自の緊急事態宣言で人の流れが抑制され、町の施策である交流人口拡大に暗雲が訪れることが予想される。さらに、隣県からの人の流れの減少も気になる要素である。
	x	農林水産業（従業者）	・米の過剰在庫と新型コロナウイルスの影響により、米価が一段と下落することが予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	窯業・土石製品製造業（役員）	・官民工事の減少により出荷は低迷している。また、当県では地震の連続発生に加え、新型コロナウイルス感染が急拡大している。新型コロナウイルス感染も収束が見通せず、地域経済に明るさがみえない。
	x	輸送業（従業員）	・県内で新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、長期化すると予想する。
雇用 関連  (東北)		人材派遣会社（社員）	・地場大手企業の正規社員が自宅勤務を続けているなかで常駐人員の一部代替増員の相談が増えている。配属されるオフィスは閑散としていて密の懸念もない。今後ウィズコロナの人材需要を提案していくつもりである。
		人材派遣会社（社員）	・2021年度の採用計画としては前向きな募集背景も増えており、今後は良くなっていくことが想定される。当然、足元の不安定さはあるが、その上で成長、維持のために人材に投資をしていく傾向がみられる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの流行度合い次第だが、ワクチン接種開始のニュースにより安心感が出て、人の動きが加速するとみている。その反面、大型流行の第4波が来た場合は一気に冷え込む恐れもある。流行度合いが現状と同程度で東京オリンピック開催が正式に見えてくれば景気は良くなっていくとみている。
		人材派遣会社（社員）	・ワクチンの投与が県民全体に行き届かなければ、今の一進一退の様子見の経済活動は変わらずにとみている。先行き不透明なので、新規の採用や新規の設備投資をちゅうちょする経営者が多いようである。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響が大きいので、採用に関しては動きがあるところとないところがある。ワクチン接種や第4波など先行きが見えないため、この動きは継続するとみられる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・いずれの業種もコロナ禍で苦境が続いている。地方、特に感染増加率全国トップクラスの当県では、流通、飲食等が大打撃を受けている。前年比較でどうかではなく、倒産の危機にひんしている。国なり自治体の早急な支援対策が望まれる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルス感染拡大の影響はなくなる。
		職業安定所（職員）	・新規求人数は僅かながら増加しているものの、新規求職者数の増加の方が上回っており、気になるところである。
		学校〔専門学校〕	・新型コロナウイルス感染症の影響で、景気は悪いまま変わらないとみている。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染急拡大により、経済活動へ余波があるものと予想している。
		人材派遣会社（社員）	・企業の採用意欲は上向きつつあったが、当県の緊急事態宣言発出と新型コロナウイルス感染状況の悪化により、一気に先行き不透明になっている。
		アウトソーシング企業（社員）	・緊急事態宣言が発出され会議にも影響が出ているようである。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの影響を抑えていた大型建設工事の終期が近づいている。
		職業安定所（職員）	・東北地方の新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の影響が懸念されている。
		職業安定所（職員）	・前年4月から今年2月までの新規求人数、有効求人数を前年同月と比較すると、新規求人数で約1万人、有効求人数で約2万人減少している。減少傾向は今後も続くと思われる。
	x	人材派遣会社（社員）	・東京オリンピックに照準を置いた新型コロナウイルス対策を続ける限り、回復は難しい。

### 3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)		家電量販店（店員）	・新型コロナウイルス禍の継続が、巣籠り需要を押し上げるため、好調な現状がしばらくは継続しそうである。
		商店街（代表者）	・入園、入学式等の撮影予約数は前年より増えているが、新型コロナウイルス禍以前の数字には届いていない。ただし、肌で感じる期待感はある。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス禍が今より改善し、天候も良くなることから、外出する人が増えコンビニ等の来客数も増えるともみている。
		コンビニ（経営者）	・前年は4月中旬から新型コロナウイルスの影響を受けたため、今年の4月は前年実績はクリアできていると思っている。しかし、一昨年並みには戻らないのではないか。経費削減に努め、利益を確保したい。
		家電量販店（店長）	・東京オリンピック需要で、やや良くなる。
		住関連専門店（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が4月から始まり、多少、感染者数が減ってくれば、全体的な景気は上向きになっていく。
		スナック（経営者）	・東京オリンピックに向けて聖火ランナー等があり、少しずつ人の動きも活発になりつつある。ただし、新型コロナウイルスとの闘いもあるので、まだ客もどのように対応していったらよいかという不安はある。店自体も、客にたくさん来てほしい反面、やはり感染は怖い。感染防止対策をしていますが、どこまで効果があるのかという不安があり、なかなか集客、営業ができない。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・新型コロナウイルス感染者数の前週比が増加に転じており、依然として予断を許す状況ではない。ただし、前年4～6月が悪かった分、前年比では改善に向かうのではないかと。新型コロナウイルスの状況に適した運営が不可欠である。
		都市型ホテル（支配人）	・総会シーズンを迎えるが、会食予約は厳しいものの、総会のみ予約は少しずつ入ってきている。また、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、東京オリンピックが動き出し、明るい兆しも見え始めている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・歓送迎会シーズンだが、相変わらず夜の宴会需要はほとんどない。ただし、レストランのランチタイムは客足が戻ってきた印象である。今月末から、県の予算を使った宿泊割引キャンペーンが始まるため、宿泊には追い風になるのではないかと。
		都市型ホテル（副支配人）	・希望的観測も含めて、やや良くなる。しかし、新型コロナウイルスの変異株感染者の増加に伴い、今後どうなっていくのか、依然として不透明かつ不安である。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの終息がみえないため、旅行需要が回復しない。
		旅行代理店（従業員）	・やや良くなると、期待を込めて回答している。
		通信会社（経営者）	・緊急事態宣言は解除されたが、しばらくの間は新型コロナウイルスの影響が続き、感染者の増減で景気も左右されると予想する。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響が収まることを前提に考えた場合、東京オリンピック効果で、一定の需要や消費喚起は見込めるが、悪化した場合は逆に働く。
		テーマパーク（職員）	・緊急事態宣言が解除されたこともあり、春の行楽シーズンは僅かだが増加している。ゴールデンウィークにリバウンドして感染拡大の第4波が来ないことを願っている。
		ゴルフ場（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広がってくれば、人の動きは活発化する。
		競輪場（職員）	・全国発売の特別競輪の売上が、上昇している。
		設計事務所（所長）	・新年度行事の自粛により、サービス関係は厳しい。建設も年度末で工事が完了し、年度初めは受注がないとみている。
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	・4月に入ると東京オリンピックの開催判断ができる。しかし、新型コロナウイルスの影響がまだまだ心配されるため、景気が上昇するのはまだ少し先だとみている。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、現状が続くのではないかと。
		百貨店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除され、リバウンドの懸念があるものの、以前よりは外出への安心感が増し、来客増となることと予想される。ただし、新型コロナウイルス以前のレベルに戻るにはしばらく時間を要し、当面は厳しい状況が続く。
		百貨店（営業担当）	・今後2～3か月の好不調は、新型コロナウイルスの第4波といわれる感染拡大とワクチン接種のスピード次第である。全く見通せないが、臨機応変に対応するしかない。
		コンビニ（店長）	・良くなることは望めそうにない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		衣料品専門店（統括）	・例年ならば、春～夏にかけて勢いのある祭りやイベントが実施されるが、今年は緊急事態宣言が解除されても、なかなか人が集まることができない。これから、祭りの時期になっていくが、イベントや祭りがどうなるのか心配である。
		乗用車販売店（経営者）	・当地域では、新型コロナウイルス禍や半導体不足により、自動車メーカーは受注量はあっても減産しており、客への納入に時間が掛かってしまっている。大規模小売店の来客数は相変わらずで、独り勝ちのような状態である。
		乗用車販売店（販売担当）	・前月、今月とずっと好調なので、これ以上良くなるとは思わない。東京オリンピックまでの景気だろうが、オリンピックが終わったらどうなるか、少し不安である。
		自動車備品販売店（経営者）	・3月の勢いが今一つ欠けているので、4～5月の客の出入りや売上が少し心配である。Go To Travelキャンペーン等ばかりでなく、高速道路の割引、無料化といったことも含めて考えてもらえるとよい。
		住関連専門店（仕入担当）	・前年は、緊急事態宣言期間中でもあり、巣籠りのゴールデンウィークであった。今年も基本的にはこの傾向が続くだろうが、前年ほどの在宅時間にはならないと想定して、計画を立てている。いずれにせよ、新型コロナウイルスの感染に対する不安は拭えていないので、行楽シーズンを迎えても、消費が刺激されるとは思えない。消費意欲は低いレベルで安定し、低調なまま変わらない。
		その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・地域の人の動きがない状況が続くのではないか。学校の卒業式等が少しずつ行われているが、今後の情報がはっきりしないため、客は購買に向かっている。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・現状維持が続く予測だが、行政の対応次第で動向はかなり変わるとみている。
		一般レストラン（経営者）	・今の状況が、ほんの数か月で変わるとは思えない。変わるとすれば、急に悪くなるのではないかという不安しかない。新型コロナウイルスのワクチンができたからといって、景気が良くなるのか、誰も分からないことである。
		旅行代理店（所長）	・県内旅行に対する補助施策が実施されるようだが、どこまでの効果をもたらすか。首都圏の新型コロナウイルスの感染拡大により、期待できない。
		タクシー運転手	・まだ、利用客は増えるような気がしない。
		通信会社（経営者）	・物は売れていない。前年比で売上は2割弱落ちているが、今年は運良く手間仕事が多かったため、前年と比べて、利益はさほど大きく落ち込んでいない。ただし、今後については不安要素が残っている。
		通信会社（局長）	・新型コロナウイルスの感染状況次第で変わる。
		美容室（経営者）	・県単位の新型コロナウイルス感染者数の増加に反応して、人々の消費行動は減少する。ペントアップダイヤモンド（繰越需要）に期待するのは時期尚早である。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・緊急事態宣言解除に期待したいが、先行きは不安である。良くなる材料が何もない。
		設計事務所（所長）	・依然として先行きは見通せない。まずは東京オリンピックを無事開催し、落ち着いた頃まで様子を見た方がよいという判断になるのではないか。
		住宅販売会社（経営者）	・土地、貸店舗、アパート等の問合せ等、全般的に不動産に対する引き合いが少ない。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・前月に比べて売上達成率は良くなったが、それでも新型コロナウイルス禍以前と比べて4割程度の売上しかない。緊急事態宣言が解除されてワクチン接種も始まったが、早々に感染者数が再増加傾向にあり、頼みのワクチン接種も遅々として進まないように見受けられる。当店は北関東の観光地に位置するが、前年3月の3連休に近い人出になることもあり、前年5月の緊急事態宣言発出時の惨状を思い出す業者も多い。先が見通せないため、問屋も発注に苦慮しており、相次ぐ欠品で問屋も当店も商機を逸している。重苦しい状態が続く、好転材料が見当たらない。
		スーパー（商品部担当）	・新型コロナウイルス禍の生活スタイルも、ワクチン接種によって変化が生まれることも期待はするが、すぐに効果が出る感じもない。前年の特需分を差し引いても、厳しい状況は変わらない。
		コンビニ（経営者）	・一番の理由は新型コロナウイルスである。緊急事態宣言は解除されたが、感染者数が増加しているため、人は動きたい気持ちだが、自粛ムードが高まり、やや悪くなる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔燃料〕 (従業員)	・受注状況、受注残共に、毎回減少し続けている。
		一般レストラン(経営者)	・市独自の飲食割引キャンペーンは一時的なもので、終了すれば反動で悪くなる。
		通信会社(総務担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大による来客数の減少と、4月からの手数料収入の減少見込みから、やや悪くなる。
		ゴルフ練習場(経営者)	・新型コロナウイルスの感染拡大が収束しないうちに、変異株が増えてきている。
		住宅販売会社(経営者)	・緊急事態宣言中と解除後は変わらず、新型コロナウイルスの感染者は増加しており、不安要因が多い。
	×	一般小売店〔家電〕 (経営者)	・中途半端な新型コロナウイルス対策のお陰で、振り回されているだけである。結局、収束しないまま進みそうなので、このままだと本当にまずいと思っている。
	×	コンビニ(経営者)	・客が全く来なくなっているため、悪くなる。
	×	衣料品専門店(販売担当)	・来月中旬から、高齢者向けに新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるようだが、それも不確実な状況だと思っている。仮にワクチン接種が始まったとしても、すぐに客が動くような状況ではない。政府として、安心安全なエリアとそうでないところをきちんと区分けできるような政策を採っていない限り、今後、本当に疲弊した状況が続いてしまうのではないかと危惧している。
	×	都市型ホテル(経営者)	・新型コロナウイルスによる不景気の一言である。
	×	タクシー(経営者)	・昼も夜も人の動きが悪いので、この先も良くないと思う。
×	タクシー(役員)	・国の新型コロナウイルス対策は、度が過ぎるほど、いい加減で、どうしようもない。今後、税金は一切払いたくない。	
×	通信会社(経営者)	・新型コロナウイルス感染拡大の第4波といわれる今、ワクチンの一般接種が広がらない限り地方の消費拡大はない。おのずと広報も沈静化したままとなり、範囲が拡大する。	
企業 動向 関連 (北関東)		化学工業(経営者)	・少し先の引き合いが多いため、すぐに結果は出ないが、やや良くなるのではないかと。
		窯業・土石製品製造業 (経営者)	・新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が解除されて、外出する機会も多くなったものの、家庭での園芸は盛んになるとみている。
		金属製品製造業(経営者)	・飽くまで様子のお話である。
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	・取引先が十数社あるが、今までは半分以上の取引先に仕事が多かった。現状、7～8社はやや良くなってきて、仕事量が増えてきている。
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	・半導体不足が解消していくとみている。
		経営コンサルタント	・東京オリンピックの開催動向等が人々の消費や外出行動等に影響を与えると考えられる。ただし、基本的には個人の我慢も限界に来ており、政府の政策等にかかわらず外出が増え、多少でも消費行動が刺激されると考える。
		窯業・土石製品製造業 (総務担当)	・年度末を順調に迎え、良い決算報告ができる。
		金属製品製造業(経営者)	・先のことは全く不明である。親会社にもいろいろ事情があるのだろうが、たまに急ぎの仕事が入ることがあるので、いつも待っているような状態である。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・2～3か月先の受注の内示をもらったが、非常に低調である。4月以降、在庫整理が終わって、少しは受注が増えるかと思っていたが、全くそんなことはなく、状況的にはかなり厳しい。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・現状、新型コロナウイルスの影響が不透明である。それに尽きる。
		その他製造業〔消防用品〕 (営業担当)	・新型コロナウイルスの影響が、まだ残ると考える。
		建設業(開発担当)	・今期公共工事は前年比14.8%増で、当社も前期比10%増の受注があり、大変有り難い。県関係の発注が前年比37.3%増だが、令和元年に発生した台風の被害の復旧工事なので、素直には喜べない。建設業は10年来、社員の高齢化が進んでおり、高齢化問題は今後も最も重要な課題だが、解決するのは難しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（営業担当）	・ 今後は夏物家電、扇風機、エアコンなどの輸送が増える予定である。また、新型コロナウイルスの影響もあり、キャンプ用品、バーベキュー用品、園芸用品等の物量も、前年並みを確保する予定である。しかし、原油高が続いて燃料コストは上がっているため、利益は薄くなりそうである。
		不動産業（経営者）	・ 入退居が増える時期だが、今年は新型コロナウイルスの影響で、新規入居は少なくなっている。
		司法書士	・ 周りや自分のところをみても、現状程度では推移するのではないかと。それほど良くもならないし、余り悪くもならないというところである。
		社会保険労務士	・ 今のままでいけば、良くなると思うが、今までのことを考えると、順調に回復するかどうか分からない。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・ 受注量、商談件数からみても、特段変化はみられない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・ 半導体不足による影響の拡大は避けられず、自動車の量産分野では更に大きな調整があると見込んでいる。
		建設業（総務担当）	・ 補正予算の効果が予想より薄そう、先行きが怪しい。
		不動産業（管理担当）	・ 新型コロナウイルスの感染状況が悪化することで、管理、清掃業務が延期や中止になるおそれがあったり、新年度の契約で、年間受託額が引き下げられた取引先がある。
		広告代理店（営業担当）	・ 新型コロナウイルスの感染拡大第4波が現実味を増しているなか、イベント、観光、飲食、婚礼等、依然として厳しい状況が続く。
		x	-
雇用 関連 (北関東)		人材派遣会社（経営者）	・ 公共事業による施設関係の整備や新築物件は、進捗状況にもよるが順調に伸びていく。自動車関連は、やや鈍ってきている。来月は、春物商材や新学期に向けた新入学児童や学生等の生活必需品等が比較的伸びていくと見込んでいる。
		人材派遣会社（管理担当）	・ 自動車部品製造、携帯電話修理、コンビニ弁当等の製造計画が高いため、やや良くなる。
		職業安定所（職員）	・ 飲食業の時短営業が解除されたこともあり、求人再開の動きが見られる。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・ 新型コロナウイルスの感染者数が下げ止まり傾向にあるようだが、ワクチン接種等のコロナ対策がある程度見えてきたことで安心感があり、消費行動につながっていると感じている。
		人材派遣会社（経営者）	・ 今はやや忙しく派遣依頼も多いが、またすぐ要らなくなったりするので、結局、少しプラスぐらいである。
		人材派遣会社（社員）	・ 例年どおり、新卒の入社により4月以降は求人が減少する。ただし、今年は新型コロナウイルスの影響で、業務拡大により増員する企業が減少している。
		職業安定所（職員）	・ 新規求人数は、前年同月を1年4か月ぶりに上回っている。産業別でみると、製造業では依然として休業を余儀なくされている事業所があり、求人に至らない状況が続いている。また、宿泊や飲食業では時短営業やGo Toキャンペーンがストップしている状況等もあり、出張等での利用者や飲食が控えられているため、厳しい状態が続いている。
		*	*
	x	*	*

#### 4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)		一般レストラン（経営者）	・ 新型コロナウイルスの感染者数次第ではあるが、東京オリンピックもあり、今よりは多少は良くなるのではないかと期待している。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	・ 取引先の新型コロナウイルスへの対応策も定着してきていることから、社員食堂は前年を超えてくるものと予想される。新型コロナウイルス以前までは戻らないにしても、売上が安定すれば人件費も含め、経費削減対応を行いやすくなる（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ 緊急事態宣言の解除、Go To Travelキャンペーン再開、東京オリンピック開催を見込んで、当然復調すると考えている。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店（販売促進担当）	・4月から新年度を迎える。また、新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、6月からはGo To Travelキャンペーンの再開なども予定されている。新年度に入り、一般は難しいかもしれないが、ゴールデンウィーク等があり、個人客が少し動き出すと思うので、今月よりは間違いなく良くなる（東京都）。
		観光名所（職員）	・2～3か月後はゴールデンウィークや繁忙期になるので、今月よりは良くなる（東京都）。
		一般小売店〔傘〕（店長）	・緊急事態宣言が解除されて閉塞感がなくなると、外出や購買意欲が増すため、来客数も増えるのではないかと。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスワクチンの接種も始まり、今以上に安心、安全が高まるであろうなかでの消費活動に期待している（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・ワクチン接種により新型コロナウイルスの影響が軽減することを期待したい（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルス禍での消費者の活動は、寒冷期よりは温暖期の方が活発化することが想定される。企業側もウィズコロナ2年目としてマーケットニーズに対応していければ、現状より改善が見込める（東京都）。
		百貨店（経営企画担当）	・緊急事態宣言解除前より徐々に人出が多くなってきている。飲食関係も営業時間の延長により回復の見込みが出てきている。外出を理由に春夏物の動きも出てくるとみている。一方で、家中需要の伸びが鈍化することにより、全体としては徐々に回復といったところで、一気に前年と同レベルに戻ることはないと予想している（東京都）。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスワクチン接種の進展等により多少落ち着きを取り戻すのではないかと。ただし、前々年並みまでの回復は厳しいと予測している。
		百貨店（財務担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大や、緊急事態宣言の再発出があれば状況は変わるが、緊急事態宣言解除後の直近の販売量推移から、今後も引き続き緩やかに回復すると想定している。東京オリンピック開催も回復の下支えとなる。一方、免税販売量は、今後も低位の推移と想定される（東京都）。
		スーパー（販売担当）	・緊急事態宣言が解除され、店の営業時間もまた元に戻る。そうしたことから、来客数や買上額が増え、今よりは状況が良くなる（東京都）。
		スーパー（総務担当）	・外出、会食などお金を使う機会が増える。
		コンビニ（経営者）	・ちょうど新型コロナウイルス感染症が発生して1年が経過した。1年前は緊急事態宣言の影響で売上、単価共に上昇したが、1年後の現在は前年比では当然下降気味である。
		コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言が解除されたため、来客数が増加することを期待している。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数にもよるが、今の推移で少しずつ減っていってくれば、人の動きももっと活発になり、時短要請も少しずつ緩和され、景気は良くなる。また、東京オリンピックが開催されれば、全体的にも良くなっていく。特に、ショッピングセンターや駅前立地の店舗は良くなっていくと予想している。
		コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルスの感染状況に左右されると思うが、週末等の人出が増えることで、販売量や来客数の戻りが期待できる（東京都）。
		衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除され、人の動きが活発化すると期待するが、感染状況次第では再発出の不安も拭えない。
		衣料品専門店（店長）	・今後新型コロナウイルスのワクチンが普及することにより、各種イベントも徐々に増え始め、晴れ着や浴衣等を着用する機会が増えてくることが見込まれる（東京都）。
		衣料品専門店（役員）	・緊急事態宣言が解除され、どのくらい客足が戻ってくるかに掛かっている。
		家電量販店（店員）	・緊急事態宣言が解除されたため、やや良くなる。
		家電量販店（経営企画担当）	・前年同時期の状況からは改善するものと期待している。東京オリンピックについて、海外から客の受入れをしないという点では正直なところネガティブだが、安全安心の醸成と首都圏の交通規制による営業面の影響は最小限になるという期待もある（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他専門店〔雑貨〕 (営業担当)	・1回目の緊急事態宣言が解除されてから、乗客数が次第に増加していったように、今回も3月22日以降、明らかに売上が増加傾向にある。リバウンドによる新型コロナウイルス感染第4波がなければ、東京オリンピックに向けて緩やかに回復していく(東京都)。
		一般レストラン(経営者)	・新型コロナウイルス以前は客足が微増傾向にあったので、底を打てばプラスに転じるとみている。しかし、新型コロナウイルスの影響で近隣オフィスが減少傾向にあるので、営業形態が大きく変わると思われる(東京都)。
		一般レストラン(経営者)	・緊急事態宣言が解除され、少し良い方向に向かっている。新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、緊急事態宣言が再び出されなければの話である。もし再発出されたり、飲食店への厳しい制約があると、大変厳しくなる(東京都)。
		一般レストラン(経営者)	・飲み会の席ではしゃいでいる客などを見ると、東京都では新型コロナウイルスの感染者数が減っていないので、また緊急事態宣言が発出されるのではないかと心配である。この先の景気がどうなるかは、やはり感染者数次第である(東京都)。
		一般レストラン(経営者)	・飽くまでも新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が再発出されない場合、やや良くなるという希望的観測であり、もし再発出された場合には、また景気が悪くなる。現状、我々飲食業及び食材輸入卸業は、新型コロナウイルス感染拡大の波と同調した動きをしている。
		一般レストラン(経営者)	・新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念もあるが、ゴールデンウィークや夏休み、秋の行楽シーズンと、12月頃まではこのまま経済活動も少しずつ上がっていく。ワクチン接種が早く実施されるようになれば、経済の回復もその分早まる(東京都)。
		都市型ホテル(経営者)	・このまま新型コロナウイルスの感染者数が減少していき、収束が見え、ワクチン接種等が始まり、東京オリンピックが予定どおり開催できれば、今よりは良くなる。ただし、先行きは非常に不透明で、変異株の問題やワクチン接種の遅れ等、まだまだ不安材料があり、これからどうなるのか予断を許さない状況である。ホテル業界としても心配をしており、不安が募るばかりである。
		都市型ホテル(スタッフ)	・春休みに入り、緊急事態宣言の解除にも伴って、人出は増えてきている。ランチのみだが、一部のレストランでは満席の日も出てきており、徐々に客が戻ってきている。気候が良くなり、外出が増えてくれば、宿泊、レストランは例年の半分程度まで回復するとみている。新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、やや良い方向へ向かう。
		都市型ホテル(スタッフ)	・新型コロナウイルスの感染状況次第ではあるが、緊急事態宣言が解除され、行楽シーズンにもなるので、やや良くなる(東京都)。
		タクシー運転手	・4月から新型コロナウイルスワクチンの接種が始まりそうなので、感染の様相が変わると思われる。また、花見気分も抑えきれないと思うので、人出が多少はあるとみて、景気は少し良くなる(東京都)。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者数が減らない限り、忙しくなる気配はない。ワクチン接種が始まり、その後どうなるかという期待を込めて、多少良くなる(東京都)。
		タクシー運転手	・ただただ新型コロナウイルスワクチンの普及に希望を込めて回答したが、現時点ではとても希望を持てるような状態ではない(東京都)。
		通信会社(経営者)	・いずれ新型コロナウイルスも収束する。そうすれば、気分が明るくなる(東京都)。
		通信会社(社員)	・仕事のやり方がリモート、オンラインなど従来と変化している傾向にあるが、変化できないこともあり、状況は複雑である。習い事などは新型コロナウイルス以前の状況に戻るのではないかと(東京都)。
		通信会社(局長)	・新型コロナウイルス感染第4波が起これないという前提で考えると、今よりは営業機会が増え、客の心理も和らいでくる。繁忙期の期ずれも考慮し、当社サービス加入数が上向く(東京都)。
		ゴルフ場(経営者)	・緊急事態宣言が解除され、開放的な感覚になる人が増える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他レジャー施設 [総合] (広報担当)	・制限付きながら催事開催が増える予定なので、来場者数も現在よりは増加する。ただし、新型コロナウイルス感染者数のリバウンドが非常に心配である(東京都)。
		その他サービス[保険 代理店] (経営者)	・現時点よりも顕著に新型コロナウイルスの影響が感じられなくなる。ワクチン接種等の好条件がそろい、安心して経済活動ができる。
		設計事務所(所長)	・コンサルタント的な話がなんとなく増えてきているので、多少は実現するのではないかと思うが、建築材料等が値上がり気味なのが気になる(東京都)。
		商店街(代表者)	・緊急事態宣言が一応解除されたこともあり、人出がかなり多くなっている。商店街もかなりの人出があるが、客は、密になることや、店内でいろいろと話をすることに抵抗感があるようである。この先、新型コロナウイルスが収束に向かうのであればいいが、最近また徐々に感染者数が増えている状況からして、今後の商売が非常に心配である。
		商店街(代表者)	・東京の新型コロナウイルス新規感染者数が下げ止まり若しくは増加傾向にあるのを見ると、良い方に予測するのは難しい。気候が良くなり、本来であれば人出や売上が伸びてくる時期だけに、感染状況、政府や都の判断によって大きく影響される(東京都)。
		一般小売店[和菓子] (経営者)	・緊急事態宣言が解除されたものの、解除後も新型コロナウイルスの感染者数が増え続けているので、また緊急事態宣言が発出されるのではないかと心配している。
		一般小売店[家電] (経理担当)	・今は、必要な物だけ買う客と、いろいろ使い道を考えて、余裕のある買い方をする客で二極化している。
		一般小売店[家具] (経営者)	・これから先の景気も現状のままで変わらない。ここへきてガソリンなどが値上がりし、ゴルフ場などは客が非常に多く混んでいる。新型コロナウイルスの影響で経済がどのように変わっていくのか、世の中の流れをよく見ていかなければいけない(東京都)。
		一般小売店[生花] (店員)	・3月はお彼岸や送別、卒業式でかなり需要が多い月である。5月も母の日があり需要が多いが、やはり卒業式、お彼岸の方が客はたくさん来る。そのような意味で、変わらない(東京都)。
		一般小売店[文具] (販売企画担当)	・大手企業の需要が徐々に回復してきているようではあるが、官公庁の新年度予算が大幅に削られると言われているので、プラスマイナスゼロになるのではないかと。また、リモートワーク等で都内に行く人達が少なく、地元で買ってもらえるため、来客数が増えている。この傾向はずっと続いているので、現状としては余り変わらない。
		一般小売店[茶](営業担当)	・希望としては良くなってほしいが、新型コロナウイルスが収束しないと、緊急事態宣言が解除されても人が動かないのではないかと。テレワークがそのまま継続されると、会社からの注文が来ないのではないかとという心配もあり、良くなるとは思えない(東京都)。
		百貨店(売場主任)	・緊急事態宣言が解除されたが、新型コロナウイルス感染者数は微増している。今後の感染状況やワクチン接種の進捗状況により、消費動向は変わるとみている。所得が減っているなか、消費マインドを上げるには厳しい状況が続く(東京都)。
		百貨店(総務担当)	・新型コロナウイルスの収束が見えないなか、前年の緊急事態宣言時は食料品以外の営業を行わなかった関係で前年との比較はできず、前々年との比較をしているが、厳しい状況は継続すると予想している。
		百貨店(総務担当)	・新型コロナウイルスの影響があり、先行きは相変わらず不透明である。収束の兆しがある程度具体的な形で見えない限りは、現状の厳しさが続く。前年は4月以降の緊急事態宣言で営業を休止していた期間でもあり、何をもって景気が良いかという判断が難しいとも感じている(東京都)。
		百貨店(総務担当)	・緊急事態宣言の解除もあり、4月中は一定規模の来客数、売上を見込める。しかし、既に新型コロナウイルス感染者数は増加に転じており、ワクチン接種率向上にも時間が掛かると思われるため、大幅な景気回復は見込めない(東京都)。
		百貨店(広報担当)	・新型コロナウイルスの感染拡大状況によって社会情勢が大きく変わるため、現時点では正確に見通すことは難しい。ただし、少なくとも2~3か月後ではまだ現在と大きく情勢が変化するとは考えにくい(東京都)。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（広報担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種スケジュールが出ていないので、年内に景気が回復することはない（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・徐々に回復傾向にあるが、新型コロナウイルスの新規感染者数も増加しており、まだ時間が掛かる（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響があるなか、大きな変化はないものと推察する（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・株価の上昇に伴い、宝飾、時計など一部の高額品で回復がみられるものの、景気全体を押し上げるほどの原動力にはなっていない。新型コロナウイルスのワクチン接種予定も未確定な状況で、なかなか先を見通せない（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・延長されていた緊急事態宣言の解除後、少しずつ来客数が増加しているものの、新型コロナウイルスの感染者数が大きく減少していない現状では、来客数の状況は変わらず、大きく改善することはない。インターネット販売等、新規の取組を進めているものの、すぐには効果が表れない。
		百貨店（店長）	・緊急事態宣言を解除すれば、また新型コロナウイルス感染者数が増えるなど、新型コロナウイルスへの不安はまだ続くため、一気に百貨店の状況が好転するとは思えない。一般人のワクチン接種は半年以上は待つこととなるので、それまでは少し改善したところからは変わらない（東京都）。
		百貨店（副店長）	・新型コロナウイルス感染第4波の可能性も取り沙汰されており、現時点では強気にはなれない。東京オリンピック開催が正式に決定し、気分的に盛り上がってくることを期待したい（東京都）。
		スーパー（経営者）	・効果のある方法が見つからない。
		スーパー（店長）	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの感染状況も少しずつ落ち着きが見られるなかで、今までのような巣籠り需要が一服し、これからはお金を使うとか出掛ける方向にいくのではないかと考えている。したがって、3か月後は今のまま厳しい状態が続くと予測している（東京都）。
		スーパー（店長）	・今の状況下では内食需要が落ち込むことはないので、特に何かが変わることはない。
		スーパー（店長）	・消費者には節約志向が依然として根付いている。新型コロナウイルス禍のなか、様々な弊害が発生しており、一部の消費者を除き食生活に少なからず影響が出ているので、もうしばらくは同様の状態が続く（東京都）。
		スーパー（総務担当）	・やはり新型コロナウイルスの影響が、来客数や売上を大きく左右する。第4波が来るような状況が見えているので、売上、来客数が大きく伸びることはない。生活必需品等の日々の買物については、ある程度客が慣れてきているので、下回ることはないと思うが、売上を大きく伸ばすことは難しい。
		スーパー（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種は進んでいくと思うが、内食化傾向はまだまだ続く。したがって、販売点数並びに買上単価は、引き続き堅調に推移する（東京都）。
		コンビニ（経営者）	・来客数、客単価共に変化はないものの、新型コロナウイルス感染が再拡大した場合、大幅な状況悪化が懸念される。
		コンビニ（経営者）	・いろいろな要因があって大変先行きが分かりにくい状況だが、良くない方向に向かうのではないかと。
		コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの収束が全く見通せないため、正直なところ現状以上の来客数や売上は厳しい（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	・「変わらない」というのは、低迷中という意味である。なぜかという、飲食の手厚い手当はよく分かるのだが、いわゆる物販店に対する政策は少々おざなりになっているのではないかと感じているからである。プレミアム付商品券等では消費者は必要な物を買うだけで消費が増えるわけではないので、何ら効果がない気がする。新型コロナウイルス禍はこれからもまだ続くので、物販店への手厚い保護を考えてもらいたい。
		家電量販店（店長）	・前年はリモートワークや自粛で例年より早くからエアコンが売れ、販売台数も予定以上であった。今年、それに近い動きになるかは不透明感が強い（東京都）。
		家電量販店（店員）	・巣籠り需要により、現状がある程度続く。また、東京オリンピックによりA/V機器の商材の動きも期待できるので、現状より悪くなるとは考えにくい。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備は順調に入っているが、販売は余り芳しくない。新型コロナウイルスの影響だと思うが、今年一杯は余り良くないのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（経営者）	・新車の販売量は前年並みのままで推移する。
		乗用車販売店（販売担当）	・やはり新型コロナウイルスの影響が落ち着かないことには、人の移動がないので景気は良くなる。ディーラーでは新車の展示会、発表会ができないために、大衆車の販売台数が相当減っている。また、サービスについても、走行距離が少ないために一般の修理も少ない（東京都）。
		乗用車販売店（渉外担当）	・上昇基調となる具体的な要因が見つからない。
		乗用車販売店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されたとはいえ、特に何も変わらない（東京都）。
		任関連専門店（営業担当）	・変動要因が多く予測は難しいが、現状から大きく改善されるとは思えない（東京都）。
		その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・今月は年度末ということで、商品の動きがあったが、4月になって落ち着いてくると、また今までと同じように販売量が落ちていくのではないかと懸念されている。
		その他専門店〔貴金属〕（統括）	・一定量の売上が減少した状態は直近でも変化がみられず、今後数か月で景気が良くなる要因も特段見受けられない（東京都）。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（団体役員）	・Go To Travelキャンペーンが再開されれば良くなるかもしれないが、現状では良くなる材料が見当たらない（東京都）。
		高級レストラン（営業担当）	・今年度中は新型コロナウイルス感染の拡大と縮小が繰り返されると想定される（東京都）。
		高級レストラン（仕入担当）	・緊急事態宣言が解除されたとしても、新型コロナウイルス禍の現状では、すぐに客足が戻ってくるとは思えない。しばらくは今の悪い状態が続く（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	・ケータリングがないので売上は余り変わらないが、店舗売上だけを見ると少し良くなっていて、総体的には余り変わらない。今後も現状とほぼ変わらずにいく。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染が再拡大しそうな勢いがあるが、東京オリンピック開催を前にして、何としても封じ込めるといような政策を打っているため、景気としては一進一退である。東京オリンピックの関連で若干盛り上がるものの、力強さはない（東京都）。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・自粛要請の状況次第だが、今のままでは変わらない（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・変わらないというよりは、新型コロナウイルス感染第4波がどの程度の山になるかによって大きく変わってくるので、分からない。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で自粛が続いており、Go To Travelキャンペーンも客足がだんだん遠のいているので、この先どうなっていくのか全く分からない。
		旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルス禍において、緊急事態宣言などが発出された場合は急激に悪化するが、Go To Eventキャンペーンなどが再開すれば一気に跳ね上がる（東京都）。
		旅行代理店（従業員）	・例年どおり学校関係の見積依頼がきているが、ほとんどの案件が9月以降の実施である。したがって、受注してもそれまで案件が実施されないため、当面の間売上がない状況が続く。
		旅行代理店（従業員）	・県内旅行に対する観光支援金が出ると言われているが、県をまたいでの大きな移動を伴わないため、Go To Travelキャンペーンほどの効果はないと想像する。行楽には最適な季節を迎えるが、新型コロナウイルス感染第4波も懸念されており、派手に宣伝広告を打つことも難しい（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	・申込み状況はしばらく変わらない（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染が収束しないことには、旅行業界の景気は戻らない。
		タクシー（団体役員）	・これ以上の落ち込みは余り考えられない。
		通信会社（経営者）	・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスワクチン接種の拡大により、今後消費者の経済活動の活性化が期待できるが、感染者数のリバウンドへの警戒感もあり、一定数のキャンセルや訪問拒否の発生が継続しているため、V字回復には至らないとみている（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（経営者）	・緊急事態宣言は解除されたが、まだ社会生活では自粛が続くようなので、景気が良くなるとは思えない（東京都）。
		通信会社（社員）	・MNOや総務省の取組次第で影響が出るため、先行きは不透明である（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス収束のめどが見通せない以上、現状のまままで推移する。
		通信会社（管理担当）	・まだまだ底打ちの状況が続いている。
		通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数推移に影響を受けるため、現時点では不透明である。ある程度感染が収まり、通常の営業活動ができなければ、下降してくるものとみている。
		通信会社（管理担当）	・携帯電話については、格安スマートフォンへの乗換えがある程度進むとみているが、大手3社はオンライン申込みのみという乗換え障壁がネックになっており、さほど盛り上がりがない見込みである。徹底的な囲い込みを狙う、サブブランドやMVNO等、大手以外の格安スマートフォン回線の方は、シンプルなキャンペーン設定でまだ良い方だと思われる。
		通信会社（営業担当）	・良くなると思える材料がない。
		通信会社（経営企画担当）	・新型コロナウイルスの影響により、先行きは不透明であるが、現状がしばらく継続する兆しが感じられる（東京都）。
		通信会社（管理担当）	・新型コロナウイルス感染第4派到来が危ぶまれているなか、先行きは不透明である。特に、個人向けスマートフォンや周辺機器の販売が落ち込んでおり、予防薬ワクチン及び治療薬が確立されないと、本格的な景気回復は期待できない（東京都）。
		通信会社（営業担当）	・今後も客は接触型営業を嫌うと思うので、景気は変わらない。非接触型での契約獲得スタイルを確立していきたい（東京都）。
		通信会社（経理担当）	・費用及び人員削減で収益を維持するためには限度があるため、新たな業態での新規の売上が必要である。なかなか景気が良くなる材料が見当たらない。
		通信会社（総務担当）	・緊急事態宣言解除後の新型コロナウイルス感染状況の鎮静化が鈍く、以前の消費生活パターンに戻るにはまだ時間を要する（東京都）。
		パチンコ店（経営者）	・緊急事態宣言が解除された今も新型コロナウイルス感染者数は微増しており、このまま第4波に突入する兆候を見せている。今後も厳しい状況が続く。
		その他レジャー施設 [ポウリング場]（支配人）	・新型コロナウイルス感染者数が微増している。ゴールデンウィークに向けた政府の発信次第である（東京都）。
		美容室（経営者）	・早く新型コロナウイルスが収束してほしい。
		その他サービス[学習塾]（経営者）	・集客期なので期待したいが、まだ楽観はできないと感じる。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、現在の不況は続く。ワクチンがいつ普及して、新型コロナウイルスがいつ収まるか、景気はそこに掛かっている。また、東京オリンピックがどのような形で開催されるかも大きく影響する。
		住宅販売会社（従業員）	・例年、年度末には来場者数、商談数、販売量いずれも増加するのだが、今年は来場者数が減っており非常に厳しい。資料請求は増えているが、直接面談できないため商談に至らず、販売量の増大には結び付いていない。そのため2~3か月後もやや悪い状況がこのまま続くのではないかとみている。
		住宅販売会社（従業員）	・来場者数や資料請求数などからみて、大きな落ち込みはないとみている。
		住宅販売会社（従業員）	・今後の課題である土地仕入れについて良くなる情報はなく、地価が下がる予定もないので、まだまだ高値で推移していく。仕入れができないと販売する物件がなくなってしまうので、表に出ない物件情報をより多く集め、営業を行っていく予定である。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数のリバウンドによる第4波が懸念されるなか、更なる受注量の拡大は、とてもではないが期待できない。
		その他住宅[住宅資材]（営業）	・今後も一定の建材需要は見込めるが、新型コロナウイルスが収束するまでは、大きな動きは期待できない（東京都）。
		一般小売店[家電]（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えているように感じる。人の動きから見ても、これから先良くなるとは思えない。問合せのあった客の所へうかがうというパターンは変わらないのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔祭用品〕 (経営者)	・年度が替わっても新型コロナウイルスの感染者数が更に減り、ワクチン接種が進み、行事が再開されないことには良くならない。
		一般小売店〔米穀〕 (経営者)	・新型コロナウイルス禍を解決できないことが第一の理由である(東京都)。
		一般小売店〔文房具〕 (経営者)	・緊急事態宣言が解除されたので、個人消費は上向くと予想されるが、飲食店でいまだに時短営業が継続していること、法人のテレワーク推進などにより、大幅な回復は見込めない。また、前年4～6月についてはアルコール消毒液などの新型コロナウイルス感染対策商材の特需があり、前年比10～20%売上が増加したが、今年はこれら商材の売上が見込めないため、景気はやや落ち込む(東京都)。
		スーパー(経営者)	・前年の巣籠り需要の反動と、競合店が近くにどんどんできて、多少その影響が出ているので、非常に厳しい状況になってきている。
		スーパー(経営者)	・前年は新型コロナウイルスの影響で3月から急激に販売量が増えた。今年はその分前年比では厳しくなり、来客数減のまま、販売量も増えていない。この先も同じ傾向が続くと予測している。
		スーパー(仕入担当)	・大きな集客の販促を打てないため、前年の異常値をクリアしていくことは厳しい状況が続く。
		スーパー(ネット宅配担当)	・新型コロナウイルスの感染第4波次第になるが、高齢者のワクチン接種が順調に進み、効果が表れた場合は、より旅行や外食などへの消費が増え、小売は影響を受ける。
		コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルスの影響が出てくる(東京都)。
		コンビニ(経営者)	・客は、仕事がないと言っており、買う量や種類が減っている。
		衣料品専門店(経営者)	・依然として外出を制限されており、衣類を購入する気にならない。
		家電量販店(店長)	・2021年の需要予測は、2020年の特需の影響を受け、全商材で前年比売上95%となっている。一方、各社共に販管費の改善が進み、利益面では大きく貢献する年度になると見込んでいる(東京都)。
		乗用車販売店(店長)	・景気回復に対する策もないので、このまま減少傾向に歯止めが掛からないように感じている。
		乗用車販売店(総務担当)	・決算後の反動があり、サービス需要が厳しいため、損益悪化は否めない。
		乗用車販売店(店長)	・車の販売量は3月決算時に比べて落ち込むが、新型コロナウイルス禍でマイカー使用率が高いことから、景気は変わらず良くなる。
		住関連専門店(統括)	・来店客数及び販売量も急には戻らない。
		その他専門店〔ドラッグストア〕(経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くとは思えず、不安定な状況では、購買意欲が湧きにくい。
		その他小売〔ショッピングセンター〕(統括)	・新型コロナウイルス感染第4波が懸念される。気候が良くなり、ショッピングセンター内にもぎわいが出てきている。外出が増えて、それに伴って感染者数が増えることを心配している。
		高級レストラン(経営者)	・新型コロナウイルス感染者数が増加傾向にあるので、ワクチン接種が具体化して改善の兆しが見えないと、好転しない。
		一般レストラン(スタッフ)	・新型コロナウイルスの影響があり、支援策は何もないのでやや悪くなる。
		旅行代理店(従業員)	・東京オリンピックの海外客の受入れがなくなることで、更に状況が悪化する(東京都)。
		タクシー運転手	・何といたっても新型コロナウイルスの感染拡大、これに尽きる。今は全く先が読めないで、長引くことも覚悟しなければいけない。心配である。
		競輪場(職員)	・建て替え中の施設が出来上がっても、競輪事業の開催には時間が掛かるため、厳しい状況が続く。
		設計事務所(経営者)	・客先へ行っても、行政へ行っても、会って話ができない。窓口を閉鎖するのではなく、質問ができるような方法をとってもらいたい。そうでなければ、ますます閉ざされてしまう。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		設計事務所（経営者）	・契約は1年ごとになっているが、契約時に想定していたより仕事量は格段に多く、新年度の契約締結の時に契約フィーの増額をお願いしたが、全て新規事業がらみの案件のため、いまだ利益が出ていないことを理由に、据え置きになっている。
		設計事務所（経営者）	・4月は民間の改修設計の仕事が決まっているが、小規模である。新型コロナウイルス禍のなか、官庁案件に頼らざるを得ないが、競争の激化が懸念される。
		設計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの影響から、いろいろな面で予算が付かなくなってくる。
		設計事務所（職員）	・民間の動きの停滞により、官公庁の入札では低価格入札が頻発している。プロポーザルには多くの参加者がいて、競争が激化している。明らかに建築ニーズが縮小傾向にある（東京都）。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	・新型コロナウイルスが収束しない限り、厳しくなることは間違いない。これからも今と変わらず厳しい状態が続く。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・仕事の話があっても途中で頓挫してしまうことが多々あるので、どのようになっていくか分からない。とにかく本当に先が見えない（東京都）。
	×	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・ゴールデンウィーク後、新型コロナウイルスの感染再拡大により自粛させられるのではないかと。
	×	一般小売店〔印章〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者がゼロになることは不可能だと思うが、リバウンドで感染者数が増えてきていることを考えると、経済に対する影響は大きく、手厚い救済が必要となる。厳しい状況がまだまだ続く。
	×	百貨店（店長）	・今の状況が継続すればいいが、また新型コロナウイルスの感染第4波が来て、人出が減少する可能性が考えられる（東京都）。
	×	スーパー（販売促進担当）	・店内改装工事中のため、食品売場のみの営業となっている。工事期間中は集客力の減少が続く。
	×	衣料品専門店（営業担当）	・とにかく物が売れない時代になっている。国は、飲食店ばかりを保障し、個人の物販店はなくなってもいいような政策をしており、理不尽だと憤りを感じている。中小企業はなくなるばかりである。
	×	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・明るいニュースがなく、将来不安だけが先行する。米国の「1名15万円給付」等のニュースが流れるたびに、経済でこ入れの具体策が見えない現状では冷え込む一方だと推測している（東京都）。
	×	一般レストラン（経営者）	・東京オリンピックが開催されても、客は世界中どころか日本中からも来ないと思うので、東京近県でそれを当てにしていたところは、ホテルも飲食業もかなり厳しくなるのではないかと。その後も何かきっかけがない限り、経済復興はまず無理ではないかと思うので、今後も飲食業は厳しい。
	×	タクシー運転手	・ここ数か月、昼と夜が逆転している。昼間の駅からの利用客はそこそこあり、病院の送り迎えも午前中に集中している。一般家庭から駅までのオーダーはあるものの、会社からのオーダーはほとんどない。夜18時頃以降は1～2時間に1回無線オーダーがあれば良い方で、駅待ちも30～40分に1回営業できれば良い方である。緊急事態宣言が解除されたものの、新型コロナウイルスの感染者数は増えており、まだまだ先が見えない。
	×	ゴルフ場（従業員）	・第4波となるのか、新型コロナウイルス感染拡大が続くのか、景気が良くなることはない。2度目の緊急事態宣言解除の判断は、国民に何を求めたのか疑問である。
	×	ゴルフ場（経理担当）	・緊急事態宣言が解除され、病床数が増加傾向にあっても、油断できずに新型コロナウイルス感染と重症化を警戒する高齢層のゴルフプレー自粛の動きは継続する。東京オリンピックを控え、ゴルフ競技の盛り上がり次第では業界にとって追い風となり得るが、楽観できる状況にない。
	×	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・年度替わりで辞める生徒が増えている。新型コロナウイルスの影響もあり、対面授業の問合せが非常に少なくなっているので、先行きは良くない。
	×	その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・数か月間ずっと悪いままなので、これ以上悪くなりようがないが、気分的にはもっと悪くなると感じている。
企業動向		食料品製造業（経営者）	・緊急事態宣言が解除されたことで飲食店の来客数が増えているようなので、期待している（東京都）。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
関連 (南関東)		その他サービス業〔ソフト開発〕(従業員)	・止まっていた案件が動き出し、忙しくなってきた。
		出版・印刷・同関連産業(所長)	・イベントの入場者数等、少しずつ集客できるイベントが活発になると思うので、それに付随する広告宣伝物が増加する。
		出版・印刷・同関連産業(営業担当)	・新型コロナウイルスの影響があり、来客数が少ないのは変わらない。個人客に関しては余り変わらない見通しだが、法人客はメールやFAXでの注文があり、会社設立が少々増えているので、この先、法人関係はやや明るい方向へ向かっていくという見通しを立てている(東京都)。
		化学工業(総務担当)	・新学期シーズン、そして東京オリンピック、パラリンピックに向かって生活関連や趣味雑貨関連商品の持ち直しを期待している。
		電気機械器具製造業(経営者)	・前年同時期に比べて引き合いや受注に勢いが感じられる(東京都)。
		金融業(従業員)	・宿泊関係や和菓子販売といったインバウンド関連事業者からは、業況回復について「東京オリンピックに望みを掛けている」と期待が寄せられていたが、海外からの観客受入れが見送られたことで、改善が見通せない状況がもう少しばかり続きそうである(東京都)。
		金融業(従業員)	・新型コロナウイルスワクチンの接種について、ある程度具体的な日程が示されたこと、また、緊急事態宣言が解除されたことの2つの相乗効果から、消費者のマインドがやや上向きになり、消費が活発化されている。
		金融業(役員)	・緊急事態宣言解除により、観光地では観光客増加に期待する一方で、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底に苦慮している。県内観光地の宿泊業者は東京オリンピック景気を期待していたが、外国人観光客の受入れがなくなったことに落胆している。オーシャンフロントの不動産売買状況は依然として活況となっており、不動産、建設関連は総じて順調に推移している。
		広告代理店(従業員)	・5～6月頃のイベントについては、開催に向けて動き出し始めている。
		その他サービス業〔警備〕(経営者)	・東京オリンピック警備の受注で売上が見込める。
		食料品製造業(経営者)	・今の人の動き次第で、もっと悪くなる可能性を感じる。
		出版・印刷・同関連産業(経営者)	・仕事量が少ないので、同じ案件の物が仲間内で回り回っている状態である。
		化学工業(従業員)	・2～3か月先の納期での見積りが少し増えているが、発注元は1か所、複数の商社に依頼しているとみられるので、受注できるかどうかはかなり疑問である。
		プラスチック製品製造業(経営者)	・医療品容器、化粧品容器共に大きな変化はないと思うが、医療品容器の新企画が軌道に乗れば、売上の増加が期待できる。
		金属製品製造業(経営者)	・産業用空気清浄機部品の受注量、期間が相当量見込めそうではあるが、業種間のばらつきが大きく、回復にはまだ時間が掛かりそうである。
		金属製品製造業(経営者)	・現在の増産は海外向けであり、国内向けは伸びていない。今後の新型コロナウイルスの影響次第で上下するため、現状では判断できない。
		精密機械器具製造業(経営者)	・製造業は、生産調整等はあるもののおおむね新型コロナウイルス以前の水準だが、原油や原材料の値上がりは新型コロナウイルス以前から解消できていない。このところの値上げ交渉も難航しているため、営業利益はマイナスとなり、厳しい状態である。
		建設業(経営者)	・同業者からも仕事がないという話をよく聞くようになってきている。全般的に景気が後退しているようである。官公庁も予算がないとのことで、建設投資費を削減しており、案件が中止になっている。
	輸送業(経営者)	・毎年4～7月は閑散期に入る(東京都)。	
	輸送業(総務担当)	・荷主の国内出荷量が低迷し続けており、輸出は全くない状態である。今後も現状が続くと予想している。	
	通信業(広報担当)	・新型コロナウイルスがいつ収束するかによる(東京都)。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（支店長）	・新型コロナウイルスどうまく付き合わなければいけない時代である。世論では完全な収束には何年か掛かるだろうとのことである。東京オリンピックの開催すら試行錯誤しているなかで、景気の見通しは厳しく、当面は横ばいとみている。
		不動産業（従業員）	・新型コロナウイルス禍以降の動きは手探り状態で、当面は変化がない（東京都）。
		不動産業（総務担当）	・緊急事態宣言が解除されても、新型コロナウイルスの収束には程遠く、テレワークが常態化しつつあり、オフィスの一部解約が現実味を帯びてきている。商業店舗もいよいよ営業継続が厳しくなり、閉店時期を見極め始める店舗が増えつつある（東京都）。
		税理士	・米国で新型コロナウイルス感染者数がまた増えているが、いろいろなことを再開したりしており、どういう状況がよく分からない。ワクチンができて、すぐに接種できなければ、悪い状況のままいくのではないかと。日本国内でもそれは同じで、ワクチンができて、どれだけの解決力を持っているのか分からない（東京都）。
		社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない（東京都）。
		経営コンサルタント	・緊急事態宣言の解除などもあるが、新型コロナウイルスの感染状況が改善されたわけではない。感染拡大の懸念は引き続き大きく、消費動向が左右される可能性が高い。
		経営コンサルタント	・悪いまま推移していく。当分の間、回復はあり得ない。中小企業庁では医療分野などへの転換を事例として挙げ、事業転換を勧めているが、医療分野への参入障壁は極めて高く、転換できるような分野は既に他事業者が占拠している（東京都）。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・平均5～10%程度の低迷状態がしばらく続くことと予想している。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・元請業者に対して既存物件の値上げを要請しているが、回答はない。最低賃金で働く現場の従業員が辞めなければ現状と変わらないが、何らかの事情で辞め、新規募集をする場合は募集単価がかなり上がるので、収益を圧迫する（東京都）。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・2～3か月では新型コロナウイルスワクチンも行き渡らない。変異株も増加している状況では、現在の景気が回復するとは思えない（東京都）。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・現状が大きく変わる要素が見当たらない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がある程度広がっていけば希望が持てるが、現段階では3か月先ではまだ元の経済の動きには戻らないと思うので、悪い状態が続く。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・今はサロンのオープンが多いが、夏に向かって落ち着いていく。また、新型コロナウイルスの感染再拡大を心配する声も多い（東京都）。
		建設業（営業担当）	・同業他社、協力業者の動向等の情報を加味して考えると、現状の業界の物件量は例年よりも少ないため、現状よりやや悪くなると感じている。
		輸送業（経営者）	・4月以降、年間稼働日数が更に減少し、取扱量の増加も見込めない現況下、厳しさが増すものと思われる（東京都）。
		金融業（総務担当）	・新型コロナウイルス収束のめどが立たないと、飲食店を始めサービス業の売上は戻らない。各企業も新型コロナウイルス融資で一息ついてはいるが、持ちこたえられなくなる。今後のワクチン接種率が景気回復の鍵ではないか（東京都）。
		不動産業（経営者）	・いずれにせよ早急に新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、収束することを念じるのみである（東京都）。
		広告代理店（営業担当）	・通常、上期は売上が余り良くない。今年もまだ新型コロナウイルスや東京オリンピック関連の動向など先行き不透明なところが多く、各社夏以降の宣伝展開に対し消極的で、様子見なところがうかがえる（東京都）。
		税理士	・新型コロナウイルスワクチンの接種が遅れている分、景気の回復も遅れる。東京オリンピックは、当然ではあるが外国人の受入れを止め、インバウンドの見込みはなくなった。東京オリンピック需要を見越して開業したホテルやレストランへの打撃は大きい。
	x	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・今後、受注量が増え、景気が良くなる要素はない（東京都）。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	×	金属製品製造業（経営者）	・得意先の新年度の計画も見通しが良くないので、営業活動に力を入れて、仕事を集めるしかない。
	×	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車関係の取引先において、半導体の供給量減少による工場の稼働停止や生産減少の通知が届いており、その影響を受けることは確実である。
	×	建設業（経営者）	・景気が悪いのは新型コロナウイルスの影響があるからである。収束すればまた景気が戻ってくる。
	×	建設業（経営者）	・消費マインドがまだまだ低い。
	×	その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・円安により、ガソリンやその他輸入品の単価が上がっているので、今後の経済への悪影響が心配である（東京都）。
雇用 関連  (南関東)		人材派遣会社（営業担当）	・4月以降の継続契約については新型コロナウイルスの影響も少なく、更新が取れている。来期は人員の減少も少ないとみている（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・製造業、金融を中心にオーダーが堅調である。行政コールセンター、ワクチン製造等、新型コロナウイルス関連の短期的な特需もあり、10名以上のオーダーが増えている。東京オリンピック関連のオーダーも入ってくると予想される。
		人材派遣会社（営業担当）	・ひとまず東京オリンピックまでは上昇傾向に向かうように感じる。
		求人情報誌制作会社（営業）	・今は街に人が多く出ている。新型コロナウイルスに対して慣れてきているためである。しかし、そのおかげで経済が多少回ってきているのではないかと。緊急事態宣言が解除されたからには、営業時間が延び、Go Toキャンペーンなども再開されると思うので、景気も多少上向ってくる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・このようななかでも運送関係で新規事業を始めるところがあるし、計画的なものでいくつか予約をもらっているので、その分が少し出てくる。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスワクチンの普及によりやや良くなる。
		職業安定所（職員）	・暖かくなること、新型コロナウイルスのワクチン接種が本格化することで人の動きが活発化し、結果として求人数も増えると予想する（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの影響は長期にわたって解消されないと思うので、景気は悪くなったり良くなったりを繰り返して、結果的に変わらないことになる（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・求人数の年計トレンドでは、2020年12月の前年同月比59%で底を打ち、2021年3月時点では同67%まで回復してきている（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	・受注状況が前年に比べて悪化したままの状態である。また、抜けた穴に対して再受注ができないため、純粋に席が減ってしまっている（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	・3月決算企業の業績が懸念される。結果によっては採用意欲が抑制される心配がある（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	・当面、求人数が増えるとは考えておらず、今と同様のペースで推移する。
		求人情報誌制作会社（営業）	・前月から求人数に大きな動きがないので、状況に変化はない（東京都）。
		求人情報誌制作会社（広報担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言は解除されたが、イベント開催などはまだまだ慎重な対応が必要であり、本格的な景気の回復にはならないのではないかと（東京都）。
		職業安定所（職員）	・緊急事態宣言が解除されても、新型コロナウイルスのワクチン接種の加速で感染者数縮小の流れが固定化しない限り、経済復活の見通しは厳しい。
		民間職業紹介機関（経営者）	・早期に内々定を出している企業はあるものの、予測が立てにくい。学生が落ち着いていることに驚いている。各社からのアプローチが始まったばかりで、対応に忙しいようである（東京都）。
	民間職業紹介機関（経営者）	・新規増員需要はみられない（東京都）。	
	民間職業紹介機関（経営者）	・景気は回復基調になく、今しばらく様子見になる。企業の財務面での体力が心配だが、預金を取り崩しながら、まだしばらくはしのげるだろう（東京都）。	
	学校〔大学〕（就職担当）	・現在のところ変化する要素はないが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては変動する可能性がある（東京都）。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		人材派遣会社（営業担当）	・今の採用活動増加は年度末の一時的な動きと思われるため、数か月先は現状よりは落ち込む。ただし、全体的に各企業の景気は上向いてきているように見受けられるので、人材市場にも影響が出てくる（東京都）。
		求人情報誌製作会社（所長）	・経済が回らない限り傾向は変わらない。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の影響により、求人数は前年と比べ減少している。今後、感染が再拡大するようなことになれば、景気は更に悪化する。
	x	-	-

## 5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (甲信越)		スーパー（副店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大以降、内食需要の高まりで、スーパーでは依然として売上好調が続いている。今後は、ワクチン接種が進み、東京オリンピックが開催され、世間に平穏が戻って、景気は必ず回復する。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が広がれば、飲食業界は景気上昇が見込まれる。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・自分が元気な間にできることをやっておこうという人が増えている。今月の仏壇処分の多さが、正にそれだと思う。墓の中のお骨についての相談も増えている。
		商店街（代表者）	・今年は前年と違い、新型コロナウイルスもある程度落ち着いてきている。学校のクラブ活動も、感染対策をいろいろと考えて、前年よりは活動状況が良くなるだろうし、当店も忙しくなると期待している。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染拡大の第4波や東京オリンピック、パラリンピックの開催可能性等、まだ先が見えないものの、国内でワクチン接種が進むことで、やや良くなるのではないかと。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルス次第ではあるが、地方では陽性者数も多くないため、来客数も増えてくるのではないかと。いずれにせよコロナ次第であることに変わりなく、3か月先の予測は難しい。
		スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるので、良くなっていく。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染が落ち着いて、ワクチン接種をする人も増えてくるとみており、何となく世の中が良い方向に向かっていくと思うので、期待している。
		コンビニ（経営者）	・これから、新型コロナウイルスのワクチンが普及してくると思うので、やや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・緊急事態宣言の解除により、来客数の増加が見込まれる。
		観光型旅館（経営者）	・例年と比べて2か月以上先の予約はほぼ皆無で厳しい。新型コロナウイルス禍による不安定な状況を繰り返しているため、客もぎりぎりまで予約をしない傾向がある。3度目の緊急事態宣言が発出されるような状況にさえならなければ、徐々に人の動きは出てくるとみている。ただし、それでも例年の5～6割程度の回復だろうと考えている。
		都市型ホテル（支配人）	・東京及び首都圏の緊急事態宣言解除によって、ビジネスマンの宿泊を伴う往来が見込まれる。ただし、今後新型コロナウイルスの感染拡大第4波による再度の緊急事態宣言発出やGo To Travelキャンペーン事業の再開次第で状況は一転する。
		都市型ホテル（スタッフ）	・当県独自の新型コロナウイルスの警報がそろそろ解除されることに伴い、客足が動くと思っている。法人宴会、レストラン、会食等が増えてくるのではないかと。
		遊園地（職員）	・引き続き、新型コロナウイルスの感染予防の徹底と、ホームページ、メルマガ、SNS等での話題作りや積極的な情報発信を行うことで、緊急事態宣言解除後の集客につなげたい。
		ゴルフ場（経営者）	・新型コロナウイルスの終息後は、少しは経済活動が活発化するのではないかと。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔家電〕 (経営者)	・東京オリンピックに期待したいが、先が不透明過ぎる。買換え需要しかない家電製品や耐久消費財の動きは厳しく、消費者の購入意欲を引き出すことは難しい。給与が上がったり、補助金が出る等の施策がないと、消費者の財布のひもは固く閉じたままである。
		一般小売店〔家電〕 (経営者)	・早く新型コロナウイルスが収束し、客も元気を出して、消費活動をしてもらいたい。
		百貨店(営業担当)	・前年の4～5月は休業していたので、3月同様、売上等は前年比では良くなる。新型コロナウイルスの流行前と比べると、まだそこまで回復はしていかないと思うが、全体としては多少、上昇傾向になっていく。
		スーパー(経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況次第で、客の動向が大きく変わるため、注視している。
		コンビニ(エリア担当)	・客は新型コロナウイルスの感染状況によって敏感に動く。
		コンビニ(店長)	・客の来店時間帯が、若干変わってきているが、減った時間帯を、増えた時間帯が補填するような状態である。ただし、特別な何かの理由で変わったわけではないと思うので、景気はこのまま余り変わらない。
		衣料品専門店(経営者)	・人が動き始めれば、多少景気も良くなると思うが、今の時点では何ともいえず、期待もできない。
		家電量販店(店長)	・新型コロナウイルスの終息と景気対策が必要である。
		自動車備品販売店(従業員)	・来客数は増えてきているが、新型コロナウイルスの影響もあってか、購入単価は横ばいかやや下がる傾向にあるため、総じて変わらない。
		一般レストラン(経営者)	・新型コロナウイルス、変異株に対する効果的な治療が見つかるか、ワクチンの効果が絶対的であると分かるまでは、いつまでたっても景気回復は見込めない。
		スナック(経営者)	・新型コロナウイルスのワクチン接種を早く進めてもらわないと、終わりが来ない。あと半年くらいで、何とかしてもらわないと、もう店が持たない。
		スナック(経営者)	・変わらないと回答したが、悪くなるのではないかと。今の悪いまま変わらないという意味である。バブル崩壊、リーマンショック等を何とか乗り越えてきたが、この新型コロナウイルスだけは、どうにもならない、先が見えず本当に困っており、周りや他店のことなど考えている暇もない。コロナのせいにしたくないが、本当に最悪である。
		スナック(経営者)	・景気は戻るところか、むしろ少しずつ悪くなっている感じがする。根本的に新型コロナウイルスが収束しない限り、ただらたらこうした状況が続くのではないかと、諦めている。
		旅行代理店(副支店長)	・首都圏の緊急事態宣言が解除されたが、新型コロナウイルス感染者数が再び拡大しつつあるため、自粛ムードは続く。さらに再度の緊急事態宣言の発出やGo To事業の一旦停止の解除時期にめどが立たず、旅行者も動きたいが動けない状態である。全て新型コロナウイルス次第だと認識する。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスに対する世間の状況により、日々の売上が全く変わってくるので大変である。
		通信会社(経営者)	・ゴールデンウィークまでの新型コロナウイルスの感染状況次第で、更に厳しさが増すと思われるため、注視したい。
		通信会社(社員)	・特段、客にアピールする材料がないため、現状では上向きにシフトする見込みは薄い。
		観光名所(職員)	・緊急事態宣言の解除で人の動きは増えつつあるが、今頃になって、地方の新型コロナウイルス感染者が増えている。当県でも警報が発出されている市町村があり、まだ、大手を振って出掛けられる状況ではない。
		その他レジャー施設 〔ボウリング場〕(経営者)	・まだ新型コロナウイルスの感染状況に左右されるところが大きく、厳しい状況は続く。ワクチン接種が進んでいけば、少しずつ良い方向へ向かっていくのではないかと。
		住宅販売会社(経営者)	・観光基盤の当地域経済の疲弊は深刻な状況にある。
		スーパー(経営者)	・巣籠り需要のピークは前年5月頃だと思うので、今後は前年比で徐々に低下する見込みである。
		乗用車販売店(経営者)	・半導体不足の影響で、新車需要に供給が追いつかないことが懸念される。
		乗用車販売店(経営者)	・半導体関連部品の供給不良を心配している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		その他専門店〔酒〕 (店長)	・3か月後は、現状の新型コロナウイルスの変異株がかなり増えて、再び緊急事態宣言が発出されるのではないかと不安を覚えている。今も感染者数は減っておらず、逆に増えている状況なので、緊急事態宣言中と同じように行動するべきだが、需要にはなかなか結び付かないものの、街に人が出ており、大きな第4波を招く形になるような気配を感じている。前年よりも今年の方が対処がしにくく、大きな波にならなければ良いと願っている。	
		一般レストラン(経営者)	・多くの人出により、新型コロナウイルスの感染が拡大している。ワクチン接種も不透明な状況で、自粛要請ばかりが目立っている。	
		設計事務所(経営者)	・大型物件が少なくなってきており、小型の依頼が多い。	
	x	商店街(代表者)	・全く先が見えない。	
企業 動向 関連 (甲信越)		金属製品製造業(総務担当)	・新型コロナウイルスの影響が少なくなり、良くなる。	
		食料品製造業(総務担当)	・現在の新型コロナウイルス禍に対して、緊急事態宣言の解除やワクチン接種の開始等で、市況は今より活発になる予想である。しかし、依然として感染者数が高止まりしているのは懸念材料である。	
		建設業(経営者)	・景気は新型コロナウイルスの状況次第だが、春になって、工事の問合せや受注も出てきている。	
		金融業(調査担当)	・製造業では改善の動きが続くとみられるが、新型コロナウイルスの感染拡大第4波次第で、再び悪化の可能性もある。	
		食料品製造業(営業統括)	・新型コロナウイルスの感染拡大第4波に入った感があり、自粛生活もしばらく続く。ワインの消費が厳しい状況から脱出するのは、当分難しいのではないかと。	
		窯業・土石製品製造業(経営者)	・先行きはいまだ不透明感が強く、経費削減等で対策するくらいしか対応方法が見いだせていない。	
		電気機械器具製造業(経営者)	・案件は増えてきているが、確定する感触はやや薄い。	
		金融業(経営企画担当)	・新型コロナウイルス感染の収束が見通せないなか、Go To Travelキャンペーンの一時停止や東京オリンピックの海外からの観客受入れ中止等、観光業や飲食業を中心に、厳しさが更に増す懸念もある。	
		新聞販売店〔広告〕(総務担当)	・新型コロナウイルスのワクチン接種率もまだ低く、国民全体に行き届くには時間が必要である。感染状況も予断を許さない状態のため、経済への影響は今後も続く。	
		一般機械器具製造業(経営者)	・取引先の部品調達問題で、受注見込みが減少している。	
		電気機械器具製造業(営業担当)	・案件が少なく、生産量の確保が難しい。	
		その他製造業〔宝石・貴金属〕(経営者)	・相変わらず、海外との往来ができないことで、中国人バイヤー向けの売上のめどが立たない。さらに東京オリンピックの影響で展示会場が確保できず、展示会の開催もスムーズにいかない。今年一杯は業界内の景気回復はない。	
		x	食料品製造業(製造担当)	・4月からの価格表示方法の変更や、小売店、飲食店への販売数量が落ちているので、ますます悪くなる。
		x	出版・印刷・同関連産業(経営者)	・毎月の資金繰りが本当に大変である。
雇用 関連 (甲信越)		職業安定所(職員)	・緊急事態宣言の解除により、対象地域だった近隣県からの来客が見込まれ、自粛ムードも緩和されることで、飲食店にも活気が戻ってくるのではないかと。	
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進むことに期待している。	
		職業安定所(職員)	・新型コロナウイルス慣れしてきたため、感染拡大の第3波が収束し、第4波が現実視された場合でも、余り状況は変わらず、東京オリンピック等で、経済活動に変化が出てくるのではないかと。	
		人材派遣会社(営業担当)	・ベースアップも見込めない新年度を迎えるが、新型コロナウイルスの影響が響くとみているため、変わらない。	
		求人情報誌製作会社(経営者)	・新型コロナウイルスの感染者数が増加しているなか、先行きは不透明であり、求人募集をする企業は少ない。	
		*	*	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	x	-	-

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (東海)		コンビニ（商品企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチンの接種継続や気温上昇により、来店頻度の増加が期待できることから、景気については上向きになると想定する。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチンが完成したため、これから3か月のうちには景気はやや良くなると思う。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチンにより、入出は増えていくと予想される。新型コロナウイルスの変異種の危険性も含んでいるが、今のところは入出は増えると思われる。
		一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・緊急事態宣言の解除や新型コロナウイルスのワクチン接種の計画見通しなどが見えてきて、前回よりも明るくなってきている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種は遅々として進まないが、若干でも接種が進み、国民にも怖さの自覚が高まれば、少し回復するという期待が半分、自覚の低い国民の減少が進むことへの期待が半分である。
		百貨店（企画担当）	・前月までと比べて人出は明らかに増えており、消費者の購入意欲にも高まりを実感している。前年は3月以降急速に新型コロナウイルスの影響による売上の減少が顕著になったため、本年3月は、前年と比較すると売上は30%増加で推移しているが、一昨年との比較では80%程度にとどまっており、本格的に戻ったとは言い難い。特にファッション衣料・雑貨に対する購入意欲の戻りが遅い。
		百貨店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除となり、ワクチン接種も始まり、経済活動も緩やかに回復していくと思われるが、生活様式や買物の仕方の変化が定着していくことが予想される。
		百貨店（業績管理担当）	・新型コロナウイルスの影響の外出自粛などにより客の買物需要が高まっており、緊急事態宣言の解除をきっかけに少しずつ外出や買物が増えてくると予想される。
		スーパー（店長）	・ゴールデンウィークには、また食費に費やす金額が増えてくる見込みである。
		スーパー（ブロック長）	・新型コロナウイルスの影響次第であるが、ワクチンの接種が進み外出と観光に人が戻り消費が活発になれば、恩恵を受けていた小売業は元に戻るが、他業種は良くなると思う。
		コンビニ（企画担当）	・新型コロナウイルス感染者数はリバウンドの状況であるが、人々の動きは活発化しており、来客数は増加していくと思われる。
		コンビニ（エリア担当）	・このあと新型コロナウイルスの第4波はあるかもしれないが、ワクチンと東京オリンピックの気運で景気はやや回復すると思う。
		コンビニ（エリア担当）	・暖かくなり、来客数は増加する傾向になると考えるが、一方で新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念されることもあり、右肩上がりの伸長になるかは、不安が残る。
		衣料品専門店（売場担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりつつあるが、全国民の接種が可能になると、気持ちの問題も含めこれまで抑え込んでいた消費意欲が拡大すると考えられる。
		衣料品専門店（販売企画担当）	・緊急事態宣言解除の効果が出始められると思われる。
	家電量販店（営業担当）	・緊急事態宣言も解除され、季節要因も影響し人の活動が活発になり経済に動きが出てくる。	
	家電量販店（フランチャイズ経営者）	・新型コロナウイルスの第4波が顕在化しているが、ワクチンと新型コロナウイルス慣れにより、今まで巣籠りしていた高齢者の客が戻ってくるのではないと思う。	
	乗用車販売店（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されて、人の動きが多くなれば消費も上がるのではと思う。ただ、人の動きが活発になると新型コロナウイルスの感染者がまた増えてくるので、その繰り返しではないかと思う。	
	乗用車販売店（販売担当）	・緊急事態宣言が解除されて新型コロナウイルスに対する警戒感が薄れてきているため、徐々に今までどおりの販売の形に戻っていく。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		住関連専門店（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で飲食店や住宅のリフォームなどは相変わらず様子見が続いているが、改修工事など少額案件については契約がまとまり始めているため、少しずつ良くなる傾向にある。
		その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・東京オリンピック景気に期待する。
		観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まると、悪い材料は打ち切られるので今よりは良くなると判断する。ただ、政府の景気対策が余り実施されないと、回復状況は非常に弱いものになるという懸念がある。思いがけない感染の拡大や感染者数が高止まりとなると、景気も落ちていくのではないかと懸念も十分ある。
		都市型ホテル（営業担当）	・緊急事態宣言解除後に個人需要は飲食施設を中心に伸びてきている。ランチタイムは主婦層、家族層を中心に伸びており、今後は接待需要が伸びるかが良くなるポイントと思う。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まって、効果が上がり安全安心になれば、歓送迎会や花見など通常イベントの客や夜の街の客も戻り、もう少し売上も戻ってくるのではないかと期待する。
		通信会社（営業担当）	・季節的にも暖かくなり、活動しやすくなった人々が外に出るようになると思う。
		美顔美容室（経営者）	・当地では新型コロナウイルスの感染者数が少しずつ減っているため、客も少しずつ戻ってきてくれると思う。
		美容室（経営者）	・高齢者向けに新型コロナウイルスのワクチン接種が始まるため、気候も良くなり夏場に向けてパーマを掛ける人が多くなるのではないかと願う。
		住宅販売会社（従業員）	・家時間が長くなればなるほど、戸建て住宅の有り難みが出てきている。大型連休があればあるほど、旅行には行きたいが安全な家の良さが分かる。戸建て住宅の購入は更に増えると思われる。
		その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・年度が変わってからの企業設備投資が決まっている。
		商店街（代表者）	・イベント等も縮小あるいは中止の状況が続いており、入客が本当に少ない。現況が続くと思われる。
		商店街（代表者）	・来客数がこのところほとんどなく、開店休業状態である。この傾向がまだしばらく続くか、若しくはこの状態が普通になってくるような気がする。
		商店街（代表者）	・この1年間、良いと思ったら何度も落ち込んできたので分からない。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がこのまま収まるとは思えない。当分続くと思う。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・3か月先でも新型コロナウイルス対策の自粛ムードは急激には変わらない。冠婚葬祭の付き合いを見ても、広げるといっても現状維持、又は少数で物事を進めるなど葬式の来賓や弔辞も少なくし結婚式の参加人数も減らしている。この状況が3か月先も続くと思うため、経済状況は変わらないと考える。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	・仮に新型コロナウイルスの感染が収束に向かっても、客の警戒感も解かず、しばらくは飲食店への客足は戻ってこないと思う。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・この状況は新型コロナウイルスの感染が収束するまで続くと思われる。
		一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	・引き続き夏頃までは新型コロナウイルスの影響が続くと思われるが、世間の慣れも出てきているので、経済活動は回復するものと考えている。
		一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が今後どうなるのか定かではないため、分からない。
		百貨店（売場主任）	・海外ブランドの商品がなかなか入荷してこないため、客に購買意欲があっても在庫がないという商品が若干ある。メーカーも作り置きをせず在庫を持たないようにしているため、客に迷惑を掛けていて、売上もその分伸びない。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの変異種の動向や感染者数の動向、リバウンド、第4波もささやかれているなか、客足への影響は避けられず、一定の入店客はあるものの、ゴールデンウィークにおける旅行客需要の取り込みは厳しいと想定する。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（経理担当）	・長引く新型コロナウイルスの影響により、飲食店は総じて悪いが、夜の営業店は壊滅的である。
		百貨店（計画担当）	・現在は新型コロナウイルス禍も小康状態であるが、しばらくは感染者数が増減を繰り返すと考えられる。特に高齢者層はそのような状況には敏感なので、来客数は増減を繰り返すと考えられる。
		百貨店（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染状況がどうなるか予測が難しい。落ち着けば徐々に好転し始めるだろうが、大きな期待はできない。
		百貨店（販売担当）	・来客数は増えていると思うが、売上は新型コロナウイルス発生以前に戻ってはいない。暮らし方の変化を感じる。
		スーパー（店員）	・良くなる要素もなく、このままずっといくのではと思う。
		スーパー（総務）	・新型コロナウイルスのワクチン接種がまだ浸透していないため、今の状況が続くと思われる。
		スーパー（支店長）	・新型コロナウイルスの影響で打撃を受け、ワクチンもまだまだ先の話のようで、しばらくはこの状態が続くのではないかとと思われる。せめて夏までには見通しが立つ状況になることを期待する。
		スーパー（営業企画）	・新型コロナウイルスの感染者数はしばらく増減を繰り返すと思われる。販売動向はそれに連動する形で上下すると思われる。
		コンビニ（エリア担当）	・季節的には本来伸張する時期ではあるが新型コロナウイルス禍のため、現状の数値を確保するために、主力商品である米飯、夕夜間に需要がある生鮮品などの品ぞろえを強化する。来客数改善のためのエンターテインメント企画も継続して実施することで維持を図る。
		コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス第4波ともいわれており、花見、祭りや自治会の会合などの自粛が続いており、まだまだ新型コロナウイルス発生以前には戻らない。
		コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルス終息の見当が付かないため、大きな改善は期待できない。
		コンビニ（本部管理担当）	・株価は好調であるが、小売業を営む上では恩恵を感じない。3か月先に関しても新型コロナウイルス感染者数が左右し、首都圏を中心に1日当たり100人以下の感染者数となったときには、景気にも良い傾向が出ると思う。今のところそのような傾向には見受けられないので、変わらないと判断する。
		コンビニ（店員）	・日照時間が長くなって気温も上がってくるため、ドリンクやアイスクリームなどを求めて来客数も増える。
		衣料品専門店（経営者）	・2年前の売上に戻ることは、もうしばらくはない。
		家電量販店（店員）	・順調に販売は推移している。ここしばらくは底堅く買換え需要が続くそうである。
		乗用車販売店（経営者）	・仕事量は減らない感触である。
		乗用車販売店（経営者）	・ちょっとしたきっかけで好転も暗転もするような状態が続いているが、2～3か月でこの状況が大きく変わる様子はない。
		乗用車販売店（従業員）	・新規来客数は少なくなっており、自社客からの買換えが唯一の販売方法になっているが、全体的に長く乗る傾向になっている。
		乗用車販売店（従業員）	・例年春の祭りが各地で催されて活気付くが、今年も新型コロナウイルス禍のため相次いで中止となっている。まだまだ社会全体に元気がみえないが、気候も良くなりゴールデンウィークも控えており、客の気持ちにもゆとりが生まれることを期待し、少しでも来客数が増加するよう努めたい。
		乗用車販売店（従業員）	・楽観も悲観もしていない。今までの流れから良くなったり悪くなったりはするものの、取り立てて悪い予感も楽観的な要素もないので、景気は変わらないと判断する。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染がこのまま収束することは期待できない。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・その時点の新型コロナウイルスの感染状況に影響されると思うが、ゴールデンウィークなどもあり、今まで我慢していた消費がレジャーなどに流れると、売上は見込めない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は前年比マイナス5.8%、来客数は前年比マイナス10.0%である。来客数は減少しているものの、客単価が3割程度上昇しており、特に書店などで著しい。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		高級レストラン（経営企画）	・現在の回復は一時的なものであると思われる。外出自粛、時短などの繰り返しにより、総じて大きくは改善しない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がまだ続きそうである。
		一般レストラン（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響は収まらないと思われる。現状維持が今できることと考える。
		一般レストラン（従業員）	・あと半年は厳しい状況が続くと思う。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・今までとは違うスタイルを確立していくための期間に入っていくので、全くの手探り状態である。何となく浮き足立った状態が当分続く見込みである。
		観光型ホテル（支配人）	・緊急事態宣言が解除されたとはいえ、新年度となる4月から先を見ても、今まで恒常的に行われていた一般宴会は一向に戻る気配はない。宿泊人員も同様で、前年比400%以上であって一昨年と比べると30%前後にすぎず、数値的感覚がおかしくなってしまう。ここに来て新型コロナウイルス感染者数もまた増えつつあり、新年度のスタートからつまづくことは明らかである。
		都市型ホテル（従業員）	・製造業の出張客は少し戻ってきている。
		都市型ホテル（経営者）	・客の動きが鈍いため予約が入らない。
		都市型ホテル（総支配人）	・3月末以降も予約は増えてこない。一部の会議を除き宴会はない。レストランは、ランチを中心に少し動きがあるものの、新型コロナウイルスの感染状況次第で大きく左右される。
		旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルス感染者数が収束に向かうと思えないくらいの人々の移動が始まる。ショッピングセンターは新型コロナウイルス発生以前の混み具合に戻っている。この調子では下げ止まりでは済まず、拡大に向かい第4波、第5波とずっと繰り返し、安心して旅行を申し込めるのは随分先になると思われる。
		旅行代理店（営業担当）	・Go Toキャンペーン再開の見通しが立たない間は期待できない。
		タクシー運転手	・繁華街の動きは全然変わらない。人出も少なく、流れも3～4か月前とほとんど変わらない。良くなるムードはない。
		通信会社（営業担当）	・現状の販売状況が当面続くと思う。
		通信会社（サービス担当）	・引っ越しシーズンを迎えるので、引っ越しとともに新規申込みが増加すると思われる。
		通信会社（営業担当）	・まだまだ有線インターネットの需要は変わらずあると思うため、この忙しさは続くと思われる。
		レジャーランド（職員）	・新型コロナウイルス感染の第4波が始まっているとの見方もあり、感染者数の増加による出控えが懸念される。前年の4～5月は臨時休業を余儀なくされた。今年のゴールデンウィークは感染防止対策を講じて営業し、集客の分散化を図りたい。
		観光名所（案内係）	・桜の開花や入学、その他の春らしい祭りが開催されるころもあるが、縮小して行うなど新型コロナウイルス次第である。新型コロナウイルスの感染防止対策がうまくいくように願う。
		ゴルフ場（支配人）	・5～6月はゴルフシーズンであるが、入場者予約数は前年比で減少している。しかし、最近の傾向から当日までに段々と増えてくると予想する。ここしばらく景気は余り変わらないと考える。
		美容室（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの感染者数が減らないため、市内の人と市外の人ではかなり感じ方に温度差があり、市外の人には市内に入るのを避けている様子である。したがって、景気は変わらないと考える。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・良くも悪くも動向は、世間の新型コロナウイルスの感染状況次第とみている。
		設計事務所（経営者）	・先の景気は現在のような小規模案件の数によるため、余り良い変化はないと思われる。
		設計事務所（職員）	・これから新型コロナウイルスは終息に向かうと思われるが、新型コロナウイルスのワクチンがなかなか出回らないという状況は、景気減退に影響してくると考える。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルス禍も長引きそうで、大きな変化はみられないと思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・今月は増加したが、また新型コロナウイルス感染者数が増加傾向なので、先が見えない。
		商店街（代表者）	・今月は人の移動が多い月であり、多少の需要増加も見込めたが、5月くらいにはまた動きが落ち着くと思われる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・東京オリンピック前で、ピリピリしているはずである。緊急事態宣言の再発出等、締め付けの強さは過去最高になっていると考える。
		スーパー（経営者）	・今月の売上は2～3か月前より良くなっているが、新型コロナウイルスの第4波を心配している。
		スーパー（店長）	・今後新型コロナウイルスのワクチンを一般の人でも接種できるようになれば外食や外出も増え、前年の新型コロナウイルス特需と比較すると、来客数、買上点数共に厳しくなっていくと思われる。
		スーパー（販売担当）	・消費税込みの価格表示になり値上がり感が強いいため、皆買い控えるのではないかと考える。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き始め、外出や外食が増えてくるのではないかと推測する。内食で良い物を買う傾向が減るのではないかと考える。
		乗用車販売店（経営者）	・自動車用半導体の不足による減産の影響で、新車販売台数の減少が長引く可能性が高い。
		乗用車販売店（従業員）	・全国民が新型コロナウイルスのワクチンを接種するまでは、良くなったり悪くなったりを繰り返す。今は少し落ち着いているが、新型コロナウイルスの感染者数が増えてくると、また悪い方向にいくのではないかと考える。
		乗用車販売店（従業員）	・エコカー減税が変更になり、車種によっては10万円近く税金が上がるため、3月に駆け込みがあった反動が非常に心配である。新型コロナウイルスの感染者数の動向次第では、前年のような大打撃を受ける懸念もあり、非常に心配である。
		乗用車販売店（営業担当）	・3月下旬から市場は止まり来客数も激減している。4月の閑散期に加え、新型コロナウイルス第4波の話も出ているなか、スエズ運河のコンテナ船座礁もあり、欧州からの輸入品を扱っているため、今後の物流に影響が出ることは避けられない。
		一般レストラン（経営者）	・長引く新型コロナウイルスへの対策を各家庭で探っているが、自分自身を含め、段々と外出をしない癖が付いてきたように感じる。
		その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチンが行き渡るまでは自粛がしばらく続くと思われる、取引先の多くが投資を先送りしたり、客自体も減っている。
		旅行代理店（経営者）	・緊急事態宣言解除で人の流れが一気に増えているので、新型コロナウイルスの感染者数がまた増えるのではないかと。ニュースの予想グラフをみていると、今手配した旅行がキャンセルになるのではと心配である。ゴールデンウィークの予約や夏休みの予約も余り増えないので先行きも心配で、このまま店舗を維持できるか閉めるかの岐路にきている。手厚い支援金があれば安心できる。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の遅れなどにより、人の移動、とりわけ外国人観光客や留学生に依存しているホテル、免税店、交通運輸業界、日本語学校、専門学校、大学などは、新規入国者が2年連続して停止している状況では今後、経営が継続不可能になってくる。老舗のホテル、レストランの廃業などとあいまって、連鎖的に影響が出てくる。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者数が増えている。
		通信会社（企画担当）	・スマートフォンの低価格サービスが始まったため、これまでの固定回線と携帯回線の両方を使っていたところでも、携帯回線のみにして固定回線代を節約する客が増えるように思われる。
		テーマパーク職員（総務担当）	・新型コロナウイルスの変異種の感染者数が増えており、リバウンドがゴールデンウィーク辺りに来ると思われる。
		パチンコ店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続き、業界全体の集客率も落ちている。
		その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・緊急事態宣言解除後の新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向との報道もあり、客の動向に変化がなさそうなのである。
		理美容室（経営者）	・客との会話から、給料は増えないが物の値段が段々と上がり、景気は悪くなっていくと考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響のため景気はやや悪くなると判断した。先行きがまだ分からないということが怖い。
	×	商店街（代表者）	・これから新型コロナウイルスの第4波が襲ってくると思われるため、景気は悪くなると考える。新型コロナウイルスのワクチン接種も、今秋までには行き渡らないであろうし、ましてや夏までにはほとんど進まないと考ええる。
	×	百貨店（経理担当）	・緊急事態宣言解除後の感染防止意識の低下と変異種の拡大に伴う新型コロナウイルス感染の再々拡大によって、市民生活が制限されて消費が冷え込む事態が生じると考える。
	×	百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの第4波が来て、第3波よりひどい状況になるかもしれないと危惧している。
	×	スーパー（店員）	・取引先から4月より油の仕入価格を値上げとの通達が来て、豆腐も値上がりすることになり、価格も変更せざるを得ない状況になった。この値上げは客がダイレクトに感じる品目なので、間違いなく消費は冷え込むと感じる。
	×	スーパー（商品開発担当）	・前年の新型コロナウイルスによるプラスの売上が見込めなくなり、前年を割る形で推移していくのではないかと思う。前年のプラス分が大きく、次の対策が必要だが明確な策が打てずにいるため、景気は悪くなっていくと感じる。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大による第4波が現実視されていて、先行きが見通せない。
	×	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染が収束するまでは見通しが立たない。
	×	乗用車販売店（経営者）	・4月以降の販売量は、例年のことではあるが確実に減っていく。伸びる要因も余り見当たらない。
	×	旅行代理店（経営者）	・Go To Travelキャンペーンの再開と新型コロナウイルスの感染拡大が収まらないと、旅行業の復活は難しいと考える。
	×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り難しい。Go To Travelキャンペーンも再開延期であるし、インバウンドも来ない限り、どんどん悪くなっていく。
	×	理容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が早く収まってほしい。
	×	住宅販売会社（従業員）	・他社は売上が落ちているようで、倒産するようになると消費者のマインドが下がるため不安である。
企業 動向 関連  (東海)		食料品製造業（経営企画担当）	・新しい年度を迎え、少しずつ良くなることを願いたいだが、2～3か月後にどのような状況になっているかは予測が付かない。
		化学工業（総務秘書）	・新型コロナウイルスのワクチンの普及による景気回復に期待している。東京オリンピックは、外国人旅行者を招くことができなくなってしまったため、開催できても景気に大きな好影響は期待できない。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	・東京オリンピックの開催に向け、景気が上向きになることを祈る。
		輸送業（従業員）	・荷主の業種にもよるが、当地では自動車産業を中心として荷動きは上向きになっている。新型コロナウイルスの感染再拡大さえなければという話ではあるが、ゴールデンウィークまではこの調子でいくのではないかと推測する。
		通信業（総務担当）	・東京オリンピックを控えて、景気上昇が期待される。新年度になり、気持ちも新たに活動が活発になると予想する。
		金融業（従業員）	・工場関連の勤務者からは、比較的上向きで今後も忙しい状況が続くという声が多く、飲食関係の勤務者には、新型コロナウイルスの影響で今後どうなるか分からないという声が多い。工場関連の勤務者の回答をメインとし、景気は若干上向くと考える。
		不動産業（経営者）	・不動産市況は、賃貸案件が市況をけん引し売買案件なども活発化すると考えられる。
		広告代理店（制作担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が、緊急事態宣言解除後もリバウンドしないようなら、各企業は広告予算も増やす方向になると思われる。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	・折込広告が徐々に増えている。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・継続して受注量があると思うが、学校関係については見通しが不明である。
		食料品製造業（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されても、既に閉店した店舗も多く、受注量の減少は変わらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		化学工業（営業担当）	・基本は現状維持の見込みであるが、新型コロナウイルス第4波の影響で、外食産業向けの業務用洗剤や香料等の需要低迷が懸念される。
		窯業・土石製品製造業（社員）	・リチウムイオン電池関連、精密鑄造や3Dプリンター関連製品の引き合いは相変わらず多く、受注量は現状を維持できる。
		一般機械器具製造業（営業担当）	・北米ではまだ新型コロナウイルスの流行が続きそうで、なかなか以前のように客を訪問して情報を入手することが難しい。
		一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売量の見込みから景気は変わらないと判断した。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの関係でまだまだ難しい状況のため、取引先の状態が良くなるまでは、全体も良くならないと思う。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・航空機製造業は、良くなる原因がまだ存在しないためしばらく底のままだと思う。自動車製造業は順調だが、余り良くも悪くもならない感じである。
		建設業（営業担当）	・直接的には新型コロナウイルスに関係のない業種に携わっているが、新型コロナウイルスの兼ね合いで国、県や市町村の方針が窮屈に変わってくると、取引先等でも仕事がストップしてしまう。今後の新型コロナウイルスの感染拡大やリバウンド状況は、良くなるかも悪くなるかも全くめどが立たないことは変わらないので、何ともいえない。
		輸送業（経営者）	・先行き不透明な状況が続くと思われる。
		輸送業（エリア担当）	・2～3か月先の景気動向は今とほぼ変わらないと思う。東京オリンピックに向けて、経済にとっての起爆剤となるような発奮材料があるが、観客を海外から呼ばないなどのいろいろな措置が採られることで、人の往来に基づく景気の活性化は、思っているほど潤うかどうかはうかがいしれない。
		輸送業（エリア担当）	・同業他社が随分安い単価を客に提示して荷物を取りにきている。数年前までの動きのようにならないとよいが、過去には、荷物を取り合い値段がどんどん下がってしまった。
		輸送業（エリア担当）	・新型コロナウイルス禍で旅客航空機が少ないと想定する。
		金融業（企画担当）	・まだまだ業種により新型コロナウイルスの影響は大きい。景気回復にはまだまだ時間が掛かるとみられる。当面は、現在の景気が続く。
		不動産業（経営者）	・4月の天候は例年同様に晴れの日が多い予報であるが、今後も新型コロナウイルスの影響を受けて出費を控えることから、売上の厳しい状況は継続すると思われる。
		行政書士	・トラックの動きが普通である。
		会計事務所（職員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み感染や重症化のリスクが明らかに軽減されると実感するまでは、これまでどおりの慎重な行動を続ける人が多い。国内旅行も、Go To Travelキャンペーンの再開までは低調と考える。
		会計事務所（職員）	・いまだ新型コロナウイルスの感染が収束する様子はないが、売上は感染拡大前と同等の水準を維持できている。新型コロナウイルス慣れの影響もあるのか、飲食業や旅行業など一部の業種を除き、これ以上景気が悪化することはないと思われる。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・この良くない状態はまだ1年間続くと考えるため、多くを望まず、間違いのない経営を行う必要がある。先のことは見通せないが大変厳しい状態と考えるため、新しい製品を考案し先へつなげたい。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が大幅に遅れ、さらに第4波となる拡大で新型コロナウイルスの終息が見通せず、景気はやや悪くなる。
		鉄鋼業（経営者）	・年明けからは新しい仕事や見積りが最も増える時期であるが、今年は、各企業の予算削減や新年度の予算組みの遅れなどから非常に少ない。通常と比べて7～8割ほどで、見積りすら減少している。
		金属製品製造業（従業員）	・仕事量に心配がある上に、鉄材やステンレス材の高騰により、利益面でも苦しくなってくる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・工数不足による人員削減の傾向には改善が見込めない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		電気機械器具製造業（総務担当）	・通信系機器に必要なチップ部品の供給が遅れ気味で、光端末機器の仕入先から、納入時期を1年先とする注文書の発行を要求されている。半導体部品の供給不足は、今年末から来年に掛けて更に深刻な問題になるのでは、と懸念する。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・半導体不足の問題がいつ収束するか分からないため、自動車業界では当分景気は良くなることはないと考えている。
		建設業（役員）	・新年度は毎年落ち込む傾向がある。新型コロナウイルス禍が続いているので不安材料となっている。
		建設業（経営者）	・国民は頑張っているが政治家の行動が裏腹なため、これでは日本が良くなるとは思えない。
		通信業（法人営業担当）	・飲食関係の現場で働いている人々の仕事はかなり減っている状況や街のスーパーの話などから、まだまだ景気が改善するようには感じられない。
		通信業（法人営業担当）	・新型コロナウイルス禍で新しい生活様式を確立しつつあるビジネスマンは、ランチタイムに皆で外食する習慣はなくなり、終業後の飲み会は過去の習慣となりつつある。そのなかで飲食店への休業補償は減額となり、しまいにはゼロになる。金を落とすようにビジネスマンの習慣が変わる一手がなければ、ますます外食産業を中心とした経済活動は回らなくなる。
	x	金属製品製造業（経営者）	・引き続き引き合いが減っており、悪くなると考える。
	x	公認会計士	・新型コロナウイルス禍で経済活動が止まっていた時期の負の遺産をばん回するためには時間が掛かる。中堅中小企業の事業承継問題の解決には時間が掛かる。
雇用 関連 (東海)		-	-
		人材派遣会社（営業担当）	・求人数、求職者数共に増加傾向にあるが、業種、職種によって偏りが大きい。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	・国内向け新型車種及び中国向けの販売が好調で、新型コロナウイルス禍の先行きが不透明な状況ではあるが、自動車生産については4月以降も良くなると見込んでいる。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況がどうなるかに尽きる。様子見をしながらゆっくりとでも回復していくのが望ましい。
		職業安定所（次長）	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言が解除され、業種によりばらつきはあるものの、新規求人数の前年同月比のマイナス幅は改善傾向が続いている。ただし、新型コロナウイルス第4波に注視する必要がある。
		民間職業紹介機関（支社長）	・1～3月の求人数は前年同期並みに回復してきている。
		人材派遣会社（経営企画）	・特段の判断材料がない。
		人材派遣会社（社員）	・まだ良くなる兆しが見えない。
		人材派遣会社（企画統括）	・緊急事態宣言の解除後に新型コロナウイルス感染者数のリバウンドの動きも見られ、引き続き不透明感が拭えない。
		人材派遣会社（営業担当）	・当面は新年度採用した人材の見極め期間であり、次に動くのは7月であると見込んでいる。
		人材派遣会社（営業担当）	・東京オリンピックが開催されたとしても、もはや景気への好影響は限定的と思われる。
		人材派遣会社（営業担当）	・主要取引先における予算削減方針に変化はないため、3か月後も今月と状況は変わらないと考える。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・東京オリンピックの実施可否とその影響は不明だが、現在の新型コロナウイルスの感染状況では、景気は今後も悪いままで変わらないと考える。
		職業安定所（所長）	・雇用調整助成金を活用した休業等により雇用維持を図っている企業はまだ多く、先行きが不透明なかで新規求人数は増加する様子が見られない。
		職業安定所（職員）	・3月末に掛けては事業主都合の離職者が増えるが、大きな変動はない。
		職業安定所（職員）	・当所管内の求人状況では小規模事業所の飲食・建築の新規求人が増加しており、新型コロナウイルスの影響を受けている産業といわれているが、報道等だけでは判断できない面がある。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス終息の見通しが立たないため、何ともいえない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（次長）	・新型コロナウイルスの感染状況が現状以下で推移すれば、景気動向も現在と大きく変化はしないと考えますが、変異種ウイルス等の影響により感染が拡大傾向となれば、景気の下振れはあると考える。
		職業安定所（次長）	・求人数の増加が見込める客観的要因が見当たらない。
		民間職業紹介機関（窓口担当）	・例年の時期的な繁忙感はあるものの、トータルでみると減少傾向である。このままワクチンなどの普及で落ち着けばという期待はあるものの、新型コロナウイルスの第4波の懸念も拭えない。また、関連している事業や東京オリンピックなどによる景気回復も、様々な制限から当初の見込みほど期待ができない。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・4月が期初となる企業が多く、活動意欲の高い候補者が減少傾向にある。
		人材派遣業（営業担当）	・東京オリンピック需要はないに等しく、リスクしかみえない。
	x	-	-

## 7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北陸)		一般レストラン（統括）	・新型コロナウイルス第4波が来ないことが前提だが、東名阪の大都市の感染が現状維持であれば、ゴールデンウィークの時期まで人の動きが活発化し続け、景気は上向き状態が続くと考える。しかし、リスクがあるとすれば、首都圏の新型コロナウイルス感染者数が4けたになり、再度緊急事態宣言が発出されることである。
		商店街（代表者）	・次の動きをただ待つのではなく、打って出たいとの思いが少しは出てきている。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	・地域限定の景気刺激対策やGo To Eatキャンペーンでやや良くなるとはみているが、新型コロナウイルスの感染者数次第だと考える。不透明な要素が多いようである。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	・新年度を迎え、受注なども少しずつ増えている。
		百貨店（販売促進担当）	・緊急事態宣言が解除されたが、感染防止という視点からゴールデンウィークは近場で過ごすことになるかとみている。母の日を中心に、会えない友人や知人、両親へ等を切り口にしたギフト需要を見込んでいる。
		コンビニ（エリア担当）	・更に入出が増えるを見込んでいる。
		コンビニ（店舗管理）	・ワクチンの普及や東京オリンピックにより、現在よりは閉塞感が緩和されるはずである。
		衣料品専門店（店舗運営）	・緊急事態宣言が解除されたことで、買い控えの反動が少しずつ出てくるのではないかと考えている。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、新型車の発売があるため期待している。
		自動車備品販売店（役員）	・販売面で明るい兆しはないが、集客は改善してきているので、仕掛け次第では明るい見通しとなる土台はできていると考える。
		観光型旅館（スタッフ）	・3月以降は予約保有数が僅かながら純増傾向である。3月19日からの県民対象の宿泊割引は1名5000円限度で1度限りの利用条件だが、予約の増加に期待したい。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染者数が少なく推移すれば、人も動きも増えて状況は改善していくのではないかと考える。
		その他レジャー施設〔スポーツクラブ〕（総支配人）	・新規施設を4月1日にオープンさせるので、少しでも早く軌道に乗せたいが、通常の開業前の販促活動をまだまだできるような状況ではないのが残念である。
		住宅販売会社（営業）	・気候が良くなるにつれて、新型コロナウイルスの感染拡大への警戒感が薄れていくものとみている。
		商店街（代表者）	・例年、周辺で開催されるイベントの多くが新型コロナウイルス対応のため中止となる。花見シーズンにゴールデンウィークと本来ならば繁忙期のはずだが、学生を中心とした若年層しか歩いていない現状である。
	一般小売店〔精肉〕（店長）	・この先も安い商材の動きは良く、ギフト商材は非常に悪い動きが続くような感じがしており、なかなか難しいところである。会社関係等の勢いがついてくればということだが、頑張りどころだと感じている。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		一般小売店〔事務用品〕(店員)	・数か月先の見込みはほとんどなく、明るい兆しがない状態である。
		百貨店(売場主任)	・新型コロナウイルス第4波が心配である。再び感染が拡大すれば外出自粛の傾向が強まり、消費が冷え込む可能性がある。
		百貨店(販売担当)	・リニューアルで一時的に集客は改善できたが、ゴールデンウィーク終了後はやや苦戦を予測する。食など比較的低単価商品の購入は継続すると考えており、新しい展開ができれば更なる継続を見込んでいる。一方、衣料品、バッグなど、必需品以外の需要は少なく、低単価傾向であり、客単価が10%程度下がるとみている。今後も、新型コロナウイルスの影響を受けにくい外での遊びやスポーツ商材は堅調に推移すると考える。しかし、旅行需要はGo Toキャンペーンが仮に復活しても、衣料品などの増加は来年以降になると見込んでいる。
		コンビニ(経営者)	・新型コロナウイルス次第である。
		コンビニ(店長)	・これ以上悪くなるのは、現在の東京等と同等の新型コロナウイルスの感染状況となり、仕事や外出に制限が掛かったときだと感じている。幸い北陸は感染者数が落ち着いており、そのような危険性は現在のところは少ないと考える。事業自体は、正規社員を減らし、現場従業員の数を減らすという小規模な人員整理を行うことで維持している。当社のように正規社員の整理を行う事業所が増えると今後悪化することもあるとみているが、近隣の工場等では仕事の量が戻ってきているという話も聞くため、現状よりも悪化することはないと考える。
		コンビニ(営業)	・ワクチン接種が遅れていることに加え、ワクチン接種後も余り状況の変化が期待できない。マスクから積極的な行動を促してほしい。
		衣料品専門店(経営者)	・新型コロナウイルス感染症の第4波が心配ではあるが、ワクチンがスムーズに接種されていけば、少しずつ心理的には好転していくのではないかとみている。
		家電量販店(店長)	・目新しい商品がなく、横ばいになりそうである。
		家電量販店(本部)	・緊急事態宣言が解除された後、新型コロナウイルス感染者の増加傾向が地方にも波及しそうである。
		乗用車販売店(経営者)	・これだけ行動と移動が新型コロナウイルスの影響で制限されている状況では、景気が良くなる条件が見当たらない。
		乗用車販売店(役員)	・今後予定されている新型コロナウイルスワクチンの接種は遅れ気味とみられ、急激な改善はなく現状と余り変わらない状況が続くのではないかと考える。
		住関連専門店(役員)	・今後の消費を考える上で、新型コロナウイルス感染症の再燃と、東京オリンピックの開催いかに左右されることは避けられないと考えるが、先行きの不透明さへの不安は一層増している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕(統括)	・新型コロナウイルス感染者数は、この先も増減の波を繰り返して続くともみている。そのため、今後感染者数が増加してくれば、感染防止対策や自粛生活により影響を受けるため先行きの予測が難しい。現状からは感染者数が増える波になるとみられるので、2～3か月後が良くなっていくとは考えられない。
		高級レストラン(スタッフ)	・2～3か月先ではワクチンの効果が期待できず、既に第4波の兆しも見えている。
		一般レストラン(店長)	・良くなるよう期待したいが、新型コロナウイルスの感染状況次第である。
		観光型旅館(経営者)	・県内旅行の費用補助が公表されたが今までの金額より少なく、予約は余り動いていない。しかし、5月以降は県内の修学旅行の予約が入っていて、少し良くなると考えている。
		都市型ホテル(スタッフ)	・新型コロナウイルスの影響がみえない。
		旅行代理店(従業員)	・新型コロナウイルスのワクチン普及と特効薬の開発がうまくいかなければ厳しいとみている。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスワクチンの接種状況次第だと考える。
		通信会社(職員)	・新型コロナウイルスの影響による一喜一憂は薄らぎつつあるが、好転の兆しが見えない。
		通信会社(営業担当)	・新入学時期に伴い、販売数に多少変化は見られたが、この先新しい商品やサービスなどがなければ、大きな変化を望むのは難しいと考える。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		通信会社（役員）	・新型コロナウイルス禍の状況において大幅に上昇する要素もなく、今後はここ数か月同様に良くもなく悪くもない状況が続くと考える。
		テーマパーク（役員）	・全国的にみると、都市部での新型コロナウイルス感染者数のリバウンドや第4波への懸念から、まだ人の動きは鈍い状況が続くとみている。Go To Travelキャンペーンの再開もまだまだのようであり、現状と変わらないと考えている。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスワクチンへの期待は大きかったが、報道によると全国民に接種が行き渡るの、かなり先のことになることと、まだまだ明るい展望が見えてこない。
		住宅販売会社（従業員）	・新たな展示場のオープンや、住宅展示会イベントの開催で来場者がある程度あり、今後2～3か月は例年並みの契約件数と契約金額が見込める。新型コロナウイルス感染者数が少なく落ち着いているので、影響が余りないことも良い傾向である。
		住宅販売会社（従業員）	・来場者数は増加しているが、競合することがほとんどで、契約に至るまでの時間が掛かっている。追加工事の額が小さくなっている。
		住宅販売会社（従業員）	・客の動きがいつ頃戻るかの見通しが立たない。
		商店街（代表者）	・暖かくなり、一般向けにもワクチン接種が始まるため、新型コロナウイルスの一段落を期待しているが、消費が元に戻るには相当時間が掛かりそうである。
		スーパー（店長）	・依然として先行きが不透明な状況で、景気の回復は見込めない。
		スーパー（店長）	・相場や単価の上昇により、今以上に買上点数が低迷するとみている。
		スーパー（店舗管理）	・各種イベント関連は、新型コロナウイルス禍により、ほぼ中止が決定しているため、まとめ買いも期待できない。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・仕入先の問屋が、酒だけではなく全ての卸値を上げさせてくれと言ってきている。会社が回らないからその分賃金を上乗せしてほしいということで、悪循環になってきている。昔のことわざではないが、そうは問屋が卸さないという状況である。これからはますます景気が悪くなっていくのではないかと考える。
		スナック（経営者）	・先々はなかなか読めないが、4月には市長選挙や市議会選挙があり、どのくらい落ち込むか不安材料がある。
		通信会社（営業担当）	・学生需要は少なくなるが、プランの見直しはしばらく続くとみている。しかし、インターネットでの購入が増えたとみられ、店頭販売は少なくなると考える。
		競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの第4波で全国的な外出控えが懸念され、競輪の開催についても影響が出るかもしれない。その反面、インターネット投票による売上が増えることも可能性として考えられる。
	×	家電量販店（店長）	・前年は巣籠り特需やテレワークにより単価、数量共に上がったが、今年は大きな特需がない。
企業 動向 関連  (北陸)		-	-
		一般機械器具製造業（総務担当）	・欧米及び日本市場共に引き合い件数が増加している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・自動車メーカー関連の受注や、中国を中心とした海外向けの受注については好調に推移している。一方で、船便の手配が難しくなっている状況もあり、輸出については遅れが出始めている。
		精密機械器具製造業（役員）	・新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、今後の生産は新製品含め、しばらくはやや増加させていく計画となっている。
		通信業（営業）	・新型コロナウイルスの影響次第ではあるが、現状のように緊急事態宣言が再発出されることなく、終息に向かえば、投資意欲も更に活発化し、これからは景気は徐々に改善すると考える。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		税理士（所長）	・取引先の経営者の話では、機械部品の製造関係においては徐々に光が見えてきており、まだ具体化していないが、動き始めている状態である。かえって1年近く動かなかった分が、夏前に大きく出てくる可能性があるのではないかという期待感がある。また、工事関係の事業者も受注残が徐々に厚くなってきている。この後はワクチン接種もできることから、経済の回復に期待したい。
		食料品製造業（経営企画）	・新型コロナウイルス禍でも、ある程度ゴールデンウィークの需要はあるだろうと考えている。その後においては緊急事態宣言解除後のリバウンド、東京オリンピック開催による盛り上がりなど、山と谷が交互に訪れるのではないかと考える。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・回復の兆しは出てきているが、まだ当分は予断を許さない状況が続くとみている。本格的な回復にはまだ時間を要すると考える。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の分の受注状況から変わらない。
		建設業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が続く状況では、ワクチン接種の効果よりも国民に抗体ができるまで新型コロナウイルスは終息せず、景気回復もないとみている。
		建設業（役員）	・新型コロナウイルス禍の影響は当初もっと大きいとみていたが、予想していたほどの落ち込みではない。しかし、今後の見通しについては依然として不透明である。
		輸送業（役員）	・新型コロナウイルスの影響がある。
		金融業（融資担当）	・取引先の直近の業況では、前年と比べて改善の傾向にあるが、2年前との比較では大幅なマイナスである。東京オリンピック開催に向けてのムードが高まるが、新型コロナウイルスの変異種や第4波の影響を注視しながらの動きになるだろう。
		金融業（融資担当）	・全般的に景気は底を打った感はあるが、飲食、宿泊、旅客業及びこれらに関連する業種は引き続き厳しい状況が続いている。新型コロナウイルスの新規感染者数は増加傾向にあり、依然として先行きは不透明である。
		不動産業（経営者）	・現在は法人関係からの問合せや相談もないことから、変わらないと考える。
		司法書士	・飲食業、小売業などで景気が悪いという案件や相談が多い一方、建設業、製造業者等では忙しいという話を聞く。
		-	-
	x	-	-
雇用 関連		-	-
(北陸)		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス禍による影響がまだ継続し、各社は内部体制の変更により新規雇用や求人を抑えるのではないかと考える。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・大きな新規雇用の話が出てこない。
		新聞社〔求人広告〕（営業）	・新型コロナウイルスワクチンの接種次第という声が多い。2～3か月で好転するとはみていない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・春を迎え、歓送迎会や引っ越し等、季節的にも人の動きが盛んになる。首都圏の緊急事態宣言が解除されて以降、再び新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向を示しており、第4波が不安視されている。ワクチン接種についてもまだまだ先が見通せず、企業サイドも積極的な採用や投資に踏み切れない状況が続くのではないかと考える。
		職業安定所（職員）	・増員のための求人ではなく、欠員補充の求人が多い。
		職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念される。雇用調整助成金の相談がやや増加しており、企業の動きの活性化が不透明である。
		民間職業紹介機関（経営者）	・新型コロナウイルス禍による外出抑制などが続いている状況で、経済活動もやや低迷しており、全体的に景気が上向きになるのはまだ先になりそうである。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人数について、状況が変わる要素が見受けられない。
		職業安定所（職員）	・雇用調整助成金が終了する。
	x	-	-

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
----	----------	-------	----------------

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (近畿)		競輪場（職員）	・ゴールデンウィークを控えているほか、5月末には施設の大規模改修工事が終了するため、グレードの高いレースへの好影響に期待したい。一方、新型コロナウイルスの影響が気懸かりで、諸物価の値上げがあるため、マイナス要因になるかもしれない。
		百貨店（売場主任）	・東京オリンピックの開催が決まれば、更に景況感が増し、消費者の購買意欲も上向くと期待している。
		百貨店（企画担当）	・インバウンド客の戻りはしないものの、新型コロナウイルスの影響は徐々に小さくなり、国内客の動きも戻ってくると予想している。
		百貨店（マネージャー）	・当地域は、関西のなかでも新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いており、当面は経済活動の制限も予定されていない。ワクチンの接種や安心感の広がりから、2年前と同じレベルの強い消費意欲が戻ってくる。
		百貨店（服飾品担当）	・多くの商業施設が、新型コロナウイルスの感染の温床というイメージが払拭され、来客数の増加につながっている。また、緊急事態宣言が解除されたほか、夏に向けての明るい話題もあり、我慢疲れからの反動が出ると予想される。ただし、感染者数の増加により、悲観的な報道による影響はまだ出てくると予想され、予断は許されない。一方、インバウンド需要については、日本在住の外国人バイヤーによる代理購入や、インターネットによるお取り寄せが増えるなど、消費のデジタル化がプラスに作用すると予想される。
		百貨店（マネージャー）	・まだまだ海外旅行に行けない富裕層による、高額品の旺盛な購買意欲に加え、新型コロナウイルスのワクチン接種による感染収束への期待から、購買意欲が高まってきている。
		百貨店（サービス担当）	・前年は催事や営業時間、売場などが縮小し、大変な状況となったが、今年は来月以降も営業を続けるため、売上は戻るなど、順調な回復が見込まれる。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスの感染第4波が深刻な状況にならない限り、景気は順調に回復すると予想される。
		百貨店（販促担当）	・新型コロナウイルスの感染第4波が到来しないことが大前提であるが、マスクの着用や手指の消毒は続けながらも、いろいろと楽しむ傾向が強まる。個食でのパーティーの提案や、ウォッシュャブル機能のあるファッションの提案、Go To Travelキャンペーンの再開後は2泊旅行向けの提案、東京オリンピック関連では日本への関心の高まりに合わせ、日本製の製品の提案など、様々な商機が期待できる。ただし、全ては新型コロナウイルス次第である。
		百貨店（マネージャー）	・新型コロナウイルスへの慣れや、ワクチンの接種などにより、1年前の最悪な状況とは違って心理的な余裕が消費を喚起しそうである。店頭販売も様々な対策の結果、緩やかに回復していくと予想される。
		百貨店（外商担当）	・夏になると、新型コロナウイルスのワクチンがある程度行き渡ると推測され、買物に対する消費者のマインドも高まっていく。
		百貨店（宣伝担当）	・入店状況が回復しているほか、進物の需要も伸びている。新型コロナウイルスの影響で家族や仲間が集まるのが難しいなか、配送でプレゼントを贈る人も増えている。百貨店のギフトに再び注目が集まっていると感じており、今後は行事関係の対応も進めていくことから、売上の回復に期待している。
	百貨店（売場マネージャー）	・百貨店の売上は、来客数の動向からすると良くなってきている。また、当社でも新型コロナウイルスの感染対策を行った上で、集客要素のあるイベントや物産展を徐々に開催していく方向にある。それに伴い、景気は良くなると予想される。	
	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第4波が到来するおそれが出てきた。関西の主要エリアでまん延防止等重点措置が適用されれば、再び外食から内食に移行する。当社は都心部でなく、郊外の店舗が多いため、テレワークによる昼食需要の増加など、プラス効果があると予想される。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		スーパー（店員）	・店でのイベントが続くため、売上の増加が見込まれるが、新型コロナウイルスの影響が続けば、伸び悩むことになる。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの変異種の感染拡大を防ぐために、日本人の帰国者と外国からの入国者をホテルに収容するほか、ワクチンの接種が進むことで経済が回復していく。
		コンビニ（店長）	・緊急事態宣言の解除効果や、季節的に暖くなるため、客の動きが良くなる。
		コンビニ（店員）	・徐々に暑くなり、冷たい物が売れ出している。
		コンビニ（店員）	・既に新型コロナウイルスへのストレスも限界を超えており、感染対策を行えば大丈夫という客も多い。人の流れとともにお金は動くため、少しずつ以前の活気に戻ると感じている。
		家電量販店（店員）	・新生活商戦が始まり、夏物商材の動きも活発になってくる。飲食店と違い、これから更に来客数が増えていくことは間違いなく、ステイホームのストレス発散が売上に直結すると考えられる。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・スポーツイベントやコンサートなどで、人数制限はあるものの、観衆を入れ始めている。前年からの経験に基づき、メリハリのある予防策を行いながら、新型コロナウイルスの感染リスクを下げるようにしている。ドラッグストアでは、前年の今頃は衛生用品であれば品切れするほど売れていたが、今期はどの店も商品が豊富であり、その期待は薄い。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・緊急事態宣言の解除による、人や物の移動の拡大が期待される。
		高級レストラン（企画）	・Go To Travelキャンペーンの段階的な再開や、新型コロナウイルスのワクチン接種の広がりにより、消費者の動きが拡大する。
		観光型ホテル（客室担当）	・Go Toキャンペーンの行方次第である。
		都市型ホテル（スタッフ）	・イベントを開催すると客が集まり、好評を得ているが、企業や高齢者層の会食は5月分までキャンセルが出ており、慎重な動きが続いている。宿泊についても需要がなく、デイユースで販売しても、近隣のホテルが軒並み低単価で販売しているため、売上の増加につながらない。一方、レストランのランチは好評で、座席を間引いているが、満席に近い日が多くなっている。
		都市型ホテル（販売促進担当）	・宿泊者数やレストランの来客数は、新型コロナウイルスの感染者数や、緊急事態宣言の有無による出張者数の変化、時短営業の状況に比例しているが、現時点で先の予約は入ってきている。このままで推移すれば、景気は良くなると予想される。
		都市型ホテル（客室担当）	・インバウンド需要の回復はまだ先になるが、国内需要は回復傾向にある。新型コロナウイルスの発生以前には全く及ばないが、週末の稼働率には少し回復の兆しが見えてきた。海外への渡航が難しいなか、京都の観光地への入出は増加している。
		旅行代理店（店長）	・Go To Travelキャンペーンが再開になれば、若干は回復すると予想される。再開時期が遅れば、その分回復は遅くなる。
		旅行代理店（役員）	・Go To Travelキャンペーンの再開を期待するほか、東京オリンピックの開催による観光需要の拡大に期待したい。
		タクシー運転手	・新年度となるほか、新型コロナウイルスのワクチン接種の増加に伴い、安心であると錯覚して外出が増え、夜の街が少し動き出す予感がある。
		通信会社（社員）	・企業や自治体関連の取引先からの、デジタルトランスフォーメーション関連の対応ニーズも増加傾向にある。これらは社会的な課題とも連携しているため、今後も需要が見込めそうである。
		通信会社（企画担当）	・アミューズメント施設の売上が回復傾向にある。
		テーマパーク（職員）	・緊急事態宣言の解除や、東京オリンピックの開催と、景気回復のチャンスは続くため、それらを活かして消費者がお金を使いたくなる状況を早く整えてほしい。1日も早いGo Toキャンペーンの復活を望む。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光名所（経理担当）	・暖くなるため、新型コロナウイルスの感染力が弱くなると予想される。ワクチンについては生産国が国内分の確保を優先する動きが続いており、日本での接種は高齢者止まりとなりそうである。
		ゴルフ場（支配人）	・来場者数は増加傾向にあるため、客単価が上昇してくれば、今後良くなる。
		その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・オイルでのマッサージで服を脱ぐため、暖かくなると来客数が増える。
		住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まると同時に、飲食を中心とした業種が復活すると予想されるため、全体的に明るい動きになると考えている。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加への懸念もあり、なかなか良くならない。
		一般小売店〔事務用品〕（経営者）	・東京オリンピックの開催前となるが、盛り上がりが出てくるかどうかは不透明である。新型コロナウイルスの感染収束次第であり、商売も先がみえない。
		一般小売店〔花〕（経営者）	・時短営業の要請が延長され、取引先からの注文が見込めない。業種別には回復の動きも見られるが、小売はまだ先が見えない。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進まないことには、状況は何も変わらない。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染収束は見通せず、時短営業の延長もあり、先が全くみえない。
		一般小売店〔野菜〕（店長）	・今の状況で良くなる理由が全くない。今後、東京オリンピックが開催できたとしても、景気が上向くかどうかは分からない。
		一般小売店〔呉服〕（店員）	・新型コロナウイルスが世の中から消えることはないが、ふだんの生活に戻ってくれば景気も良くなる。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・4月になり、通常であれば人の動きが活発になるが、新型コロナウイルス禍で商品の動きが芳しくない状況が続く。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染者数の増減に応じて、来客数が増減を繰り返しており、大きく上向き様子はない。ワクチンの接種や抗体の獲得が進まない限り、一部の常連客の利用が中心となる状況は変わらない。
		百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染収束次第となるが、たとえ収束の方向性がみえてきたとしても、客のライフスタイルは大きく変わらない。たとえば紳士服・洋品は、スーツを含めたビジネス関連の売上が厳しいが、今後も新型コロナウイルスの発生前の水準には戻らない。また、取引先もしばらくは商品の製造に関して積極的にならないため、大きく状況が変わるとは考えにくい。
		百貨店（企画担当）	・今の状況をみていると、新型コロナウイルスの感染者数が減っては自粛が緩み、再び感染者が増えると自粛ムードが強まる。この繰り返しが続く限り、景気の回復は難しい。また、消費者の行動がこの1年で変わっており、百貨店の主力商品である衣料品は必要がないという雰囲気がある。
		百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの感染者数がリバウンドしており、日々の感染者数の報道によって来客数も増減している。医療が逼迫しない状態で、感染者数が横ばいとなり、ワクチンの接種開始やGo Toキャンペーンの再開といった条件がそろえば、買物需要も喚起されると予想される。
		百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルスによる影響が続くため、現在の水準がしばらく継続しそうである。
		百貨店（販売推進担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種は、思うようには進んでおらず、しばらくは感染状況を確認した上で店舗を運営せざるを得ない。積極的な集客策よりも、経費削減を優先する状況が続く。
		百貨店（商品担当）	・全国的に緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスのワクチン接種も4月以降、徐々に進んでいく見通しのため、消費に前向きの動きが出てきた。ただし、感染の再燃とともに、変異種の感染拡大が加わったことで、景気の復調にはしばらく時間を要するとみられる。特に、近年売上げを押し上げてきたインバウンドの復調は、相当先になりそうである。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（特選品担当）	・3月に入って来客数が増え、売上も好調に推移している。今後は新型コロナウイルスの状況次第であり、何ともいえない。このまま落ち着けば、間違いなく良い方向に向かうが、3月後半から感染者数が急激に増えているため、また同じ繰り返しになる可能性もある。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染収束の兆しがいまだに見られず、来客数や買上点数などに、現状からの変化は見込めない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染者数のリバウンド懸念や、地価の下落、株価の乱高下、今後の企業によるリストラといった懸念材料が多く、先行きは不透明感が強い。
		スーパー（店長）	・観光業や飲食業、アパレル関連などでは、新型コロナウイルスの影響の長期化が予想され、景気停滞も長引くことになる。
		スーパー（店員）	・近くにスーパーがたくさんあるため、余り状況は変わらない。
		スーパー（企画担当）	・今の状況から、変わらないと予想される。
		スーパー（開発担当）	・新型コロナウイルスの影響が続いているため、まだまだ景気は良くならない。
		コンビニ（経営者）	・人の動きが増えれば、また同じことの繰り返しになりそうである。早く新型コロナウイルスのワクチン接種が広がってほしい。
		コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数は、減るどころか増えている。様々な対策や補助金などはあるものの、対象外の企業はただ耐えるだけの状況であり、プラスの判断はできない。仮に、今年の秋に最低賃金の見直しがあれば、景気は回復しないと予想される。
		コンビニ（経営者）	・再び新型コロナウイルスの感染が拡大しており、来客数は減りそうであるが、外食を控える傾向が続くことで、家庭用の飲料や食品の需要は逆に増える。結果として、来客数の減少と客単価の上昇という動きが続くそうである。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えれば、家で過ごすための商品をまとめ買いする客が増え、感染者が減れば、行楽に伴う買物客が増えるため、売上は余り変わらない。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの影響はそれほど感じられない。暖かくなり、出掛けやすい季節になったため、高齢者の客が増えた以外は、大きな変化はみられない。
		コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの変異種の感染が増加傾向にあるため、今よりも良くなるとは考えられない。
		家電量販店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンも全国民に行き渡ることにはなさそうで、状況が改善するとは思えない。
		家電量販店（店員）	・家で過ごす時間が長いため、平常時よりも時間の余裕はあるが、やはり周囲からの見られ方が意識される状況では厳しい。すぐに購入できるものは高額でも需要はあるが、リフォームのような長期にわたる需要については、見込みが少ない。4月以降の補助金関連の特需に期待したい。
		乗用車販売店（経営者）	・首都圏では緊急事態宣言が解除となったが、新型コロナウイルスの感染者数はリバウンドが懸念されている。これまでの自粛生活の反動で、消費は一時的に回復するかもしれないが、感染が拡大するとまた元に戻る。今年はその繰り返しとなるため、景気は余り変わらない。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数のリバウンドや、感染第4波への懸念から、好転するとは考えにくい。
		乗用車販売店（販売担当）	・緊急事態宣言が解除になった途端、各地で感染が拡大している。新型コロナウイルスの変異種の問題もあり、感染第4波への不安が残る。
		その他専門店〔宝石〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が改善され、客の心情が変化しない限り、以前と変わらない。
		その他専門店〔スポーツ用品〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染が収まらなければ、消費をする雰囲気にならない。Go Toキャンペーンも余裕のある層に対する効果にとどまる。給付金による生活困窮者への援助が一番効果的かもしれない。
		その他専門店〔宝飾品〕（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染防止を目的とした、外出や来店の自粛ではなく、消費自体を控える傾向があるため、来店客、売上共に増加には至らない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他小売〔インターネット通販〕（オペレーター）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着かない限り、このままの状態が続く。
		その他小売〔インターネット通販〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、一進一退を繰り返すと予想している。
		高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響がここまで長引くと、外出の自粛を続ける人と、自粛を解除する人が混在し、結局はプラスマイナスゼロの動きになっていくことが予想される。
		一般レストラン（経営者）	・営業時間の短縮要請については、補助金が一律であるため、飲食業界に格差が生まれている。ふだんの利益が1日に6万円もない店は、高額な融資を得て、補助金の支給で旅行に行ったり、趣味に使うなど、働かずしてバブルのような生活を送っているという話を聞く。その一方、ある程度の家賃や人件費を払っている飲食店は、何とか維持できているものの、いつ営業が困難になってもおかしくない状況で、悪戦苦闘している店舗も多い。補助金に関しては、そろそろ一律の支給をやめて、売上ベースにしてもらえないかとつくづく感じる。
		一般レストラン（企画）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加傾向に歯止めが掛からず、ワクチンの接種もどのように進むかがみえない。特に、大阪の感染者数の増加が顕著であり、緊急事態宣言の発出も考えられるなど、先行きが不安な状況である。
		観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染収束の見通しが立たない。
		観光型ホテル（経営者）	・当県でも再び新型コロナウイルスの感染者数が増え、地域独自のキャンペーンも全く再開のめどが立っていない。まだしばらくは厳しい状況が続くと予想される。
		都市型ホテル（総務担当）	・3月は売上が回復傾向で推移しているが、関西の新規感染者の状況は、中旬から下旬にかけて大きく増加している。今後、時短営業の更なる継続や、再度の緊急事態宣言の発出もあり得ると感じる。
		旅行代理店（支店長）	・東京オリンピックの開催の行方に大きな影響を受けるが、海外からの客がなくなり、規模が縮小されていく中で、大きな変化にはならない可能性も高い。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染の波があり、先行きは全く分からない。
		遊園地（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、人の動きが徐々に活発化しつつある状況ではあるが、再び感染者数に増加の兆しが見られ、いまだに予断が許されない。現時点で明るい見通しはもてないが、緊急事態宣言の発出前よりも確実に改善しており、トンネルの出口から光が差し込んでいるという感覚である。
		競艇場（職員）	・新型コロナウイルス禍のなか、外出の自粛や在宅勤務が増えた影響で、インターネット投票の会員数が伸び、現在も全国的に売上が好調である。しばらくは今の高い水準が続くと予想される。その一方、本場、場外売場への入場は減少している点が、今後の課題である。
		その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあり、先がみえない。ワクチンの接種効果に期待するのみである。
		その他レジャー施設〔複合商業施設〕（職員）	・徐々に新型コロナウイルスの感染者数が増えている。春の行楽シーズンを迎え、更に感染者が増加すれば、また強い抑制が必要となる。小売業の経営環境は、当面厳しい状況に変わりがない。
		その他レジャー施設〔球場〕（経理担当）	・全国の緊急事態宣言は解除され、3月には1年ぶりにコンサートが開催された。今後5月にも予定している。また、4月にはプロ野球の公式戦が予定されるなど、イベント興行については徐々に回復傾向にある。ただし、3か月後の状況は不透明なため、全体的な判断は現状と変わらない。
		その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染の波は、間隔が短くなったように感じられるため、景気に対する不安がある。
		住宅販売会社（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が一段落しなければ、来客数の増加が見込めない。
		その他住宅〔展示場〕（従業員）	・住宅展示場への来場者数は増加するとは思えないため、インターネットでの見学予約を増やすなど、従来の戦略とは違った集客方法に特化していく。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他住宅〔情報誌〕 (編集者)	・住宅市場は好調が続く見込みである。新型コロナウイルスによるライフスタイルの変化で、住み替えを検討する層が増え、これまでの悪影響によるマイナス分をカバーしている。
		その他住宅〔住宅設備〕 (営業担当)	・緊急事態宣言が解除されても、好転する材料が見当たらず、今春の賃金のベースアップも話が聞こえてこない。
		一般小売店〔時計〕 (経営者)	・今月の下旬になり、大阪の新型コロナウイルス感染者数が信じられないほど増えている。まん延防止等重点措置がどの程度有効なのかは、全く見当がつかない。緊急事態宣言下でも、人は集まっていたため、今回も正直期待はできない。どうしても考え方が悲観的になってしまい、先行きには全く期待できない。
		スーパー(店長)	・まとめ買いや、高額商品の販売が減少傾向となっている。
		スーパー(店長)	・スーパー業界では、新型コロナウイルスの影響で業績が上がっていたため、それが少しずつ元に戻ると予想している。経済全体としては良くなるため、長期的にみればスーパーにも良い結果となる可能性がある。
		スーパー(企画担当)	・新店舗を4月にオープンする予定であるが、競合店の出店ラッシュも計画されており、競争は厳しくなる。価格競争の激化も予想され、利益の確保が難しくなるため、効率の良い人員配置を行うなど、様々なコストの見直しが重要となる。
		スーパー(経理担当)	・新型コロナウイルスの感染再拡大や、所得の減少により、景気の下振れ不安が強まっている。スーパーも内食需要の恩恵を享受してきたが、食費を中心とした節約志向が強まるおそれがある。
		スーパー(社員)	・新型コロナウイルスの影響が長引いている。一部の客には、外食の自粛疲れによる内食離れがみられ、以前よりも食品の販売点数が減少する店舗が増えている。
		コンビニ(店長)	・新型コロナウイルスの感染者数が減少しない限り、仕事の状況は元に戻らない。
		衣料品専門店(店長)	・緊急事態宣言が解除され、少し売上が回復しつつあったが、新型コロナウイルスの感染第4波の影響で、4月に入ると大阪ではまん延防止等重点措置が適用されるため、先行きの見込みがまだまだ立たない。
		衣料品専門店(営業・販売担当)	・買物に来る客が少ない。飲食店だけではなく、物販店にも金銭的な支援が必要である。
		家電量販店(店員)	・依然として、新型コロナウイルスの感染者数は増加傾向にある。以前のような助成金による家電の特需もなくなり、やや景気は悪化する見込みである。
		家電量販店(人事担当)	・緊急事態宣言は解除されたが、需要の改善につながるとは思えない。
		乗用車販売店(経営者)	・新型コロナウイルスの影響が徐々に出てきたようで、客の財布のひもが固い。
		乗用車販売店(経営者)	・新型コロナウイルスの感染が長期化しているため、車の所有台数を減らしたり、保険を解約する客が出てきている。
		その他専門店〔食品〕 (経営者)	・ゴールデンウィークに緊急事態宣言が出ているかどうかで、売上が変動する。先行きは読めないが、恐らく東京オリンピックの前に再び緊急事態宣言が発出され、売上は減少することが予想される。
		その他専門店〔ドラッグストア〕 (店員)	・新型コロナウイルス関連商品の動きがいよいよ鈍くなり、在庫過剰となりつつある。本来のドラッグストアの状態に戻りつつあるともいえ、客も今まで出歩けなかった分、外出が増えている影響で、来客数は少し落ち込んでいる。
		その他小売〔インターネット通販〕 (経営者)	・商店街の店舗は、客の買い方が変化していることに注目していない。
		その他飲食〔ファーストフード〕 (店員)	・緊急事態宣言中は、新型コロナウイルスの感染者数は減っていたが、解除後はまた感染者数が増えつつあるため、今後景気は悪くなっていく。
		観光型旅館(経営者)	・3か月先は全く読めないが、新型コロナウイルスの感染の波が来れば、また経済活動が止まると予想される。
		都市型ホテル(管理担当)	・緊急事態宣言の解除により、少しは明るい兆しが見え始めたが、新型コロナウイルスの感染のリバウンドによる悪化の懸念が出てきた。各地で感染第4波の動きが見られるようになり、今後の見通しが立たない状況である。
		都市型ホテル(管理担当)	・新型コロナウイルスの感染状況が悪くなりつつある。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		旅行代理店(従業員)	・東京オリンピックの開催もあり、更に行動の自粛が続くことになる。
		タクシー運転手	・企業関係の利用でいえば、営業訪問や会食、接待などの予約配車が、前年比で10%程度に減少している。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、テレワークなどによる出勤の減少が定着している。また、休業していたタクシーがこれから徐々に戻ってくるため、少ないパイを奪い合う状況がしばらく続く予想される。
		通信会社(社員)	・再び新型コロナウイルスの感染が拡大しそうで。また、繁忙期の終了で販売は落ち着くことになる。
		通信会社(企画担当)	・デジタルシフトの流れは継続しつつも、決算月が過ぎたため、一旦は受注が落ち着くと予想される。
		観光名所(企画担当)	・緊急事態宣言が解除され、来場者は若干増加したが、再び感染者数が増え始めたため、また減少するのではないかと懸念している。
		美容室(店長)	・新型コロナウイルスの感染がまた拡大しているため、現状維持が精一杯である。
		住宅販売会社(経営者)	・新型コロナウイルスの影響で、所得格差が広がってきている。
		住宅販売会社(従業員)	・新型コロナウイルスの感染収束がみられず、实体经济への影響が大きくなれば、好調な分譲マンションや賃貸住宅、物流関連などへの影響が出てくる可能性が高い。
		その他住宅投資の動向を把握できる者[不動産仲介](経営者)	・景気の変化は余り感じられないが、今後は失業者や倒産が増加するため、景気は少し後退すると予想される。
	×	一般小売店[衣服](経営者)	・新型コロナウイルスの感染が落ち着く気配が全くみえず、ひどい不景気が来るという不安ばかりが募る。当店でも売上が日増しに減り、数か月先のことは分からない。少なくとも景気が良くなる要素は1つも感じられない。
	×	一般小売店[花](店員)	・新型コロナウイルスの影響で先行きが見通せず、出費も増えるなか、客の購買意欲が低下している。
	×	コンビニ(店長)	・緊急事態宣言の解除後、新型コロナウイルスの感染者数が急激に増えているため、感染第4波の到来が心配である。
	×	衣料品専門店(経営者)	・仮に3か月後、急激なV字回復が進んだとしても、6~7月に売れる商品をそろえることは難しい。そもそもV字回復が考えられないほど、来客数や購買点数が減少している。外出ができないのに、服が売れるわけがない。
	×	衣料品専門店(経営者)	・新型コロナウイルスの感染者数の増加を懸念している。特に、当市では変異種の感染が広まっていることが気懸かりである。また、ワクチンの接種についても高齢者が優先となっているが、高齢者自身の判断が付かない状況である。エッセンシャルワーカー以外は先着順で接種する形にすれば、景気の回復も早まると考えられる。
	×	家電量販店(店員)	・決算セールが終わり、客足は確実に遠のく。また、前年の特別定額給付金により今年の売上が先食いされているため、来客数自体が減る可能性が高い。
	×	家電量販店(企画担当)	・巣籠り消費が落ち着きをみせている。また、冷蔵庫やエアコン、テレビの販売台数の伸び率が鈍化してきた。リフォームといった、訪問から商談、施工までに時間や日数が掛かるサービスには、抵抗があるように感じられる。
	×	住関連専門店(店長)	・例年は客との商談や相談が増えるはずが、ほぼ問合せがないため、売上低迷の長期化を懸念している。むしろ前年の同時期よりも悪く、買い控えや購入計画の中止、延期の動きが目立つ。商材が日用品や生活必需品ではないため、厳しい状況の長期化は必至である。
	×	住関連専門店(店員)	・長引く新型コロナウイルスの影響で、皆が疲れている。活性化につながる材料がなければ、厳しくなりそうである。
	×	一般レストラン(経営者)	・飲食店は時短で21時までの営業であるため、近隣のスナックビルが一斉に閉まり、人通りも少ない。スーパーなどは人出が多いため、外食の機会は減少が避けられない。
	×	その他飲食[ジャズバー](店員)	・新型コロナウイルス禍での飲食店の時短営業により、人の動きが少ないほか、消費者の意識が今までとは変わってきていると感じる。
	×	その他飲食[自動販売機(飲料)](管理担当)	・新型コロナウイルスの感染について、規制を緩めれば感染者が増えるという状況では、プラスの要素が見当たらない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
企業 動向 関連  (近畿)		木材木製品製造業(経営者)	・注文量が増加し、売上、利益共に増える。
		電気機械器具製造業(経営者)	・東京オリンピックが開催されればもちろん良くなるが、たとえ中止となっても、人はなおさら頑張ると感じる。いずれにしても、新型コロナウイルスのワクチンは早期の接種が望まれる。
		食料品製造業(従業員)	・業務用商品は春夏向けの開発も多く、受注できそうな案件が増えている。原材料価格の高騰もあるなか、受注額は大変厳しい条件を提示されているが、注文の増加はプラスと判断している。
		出版・印刷・同関連産業(企画営業担当)	・目立って変化するとは思えないが、新型コロナウイルスの感染が収束し始めれば、受注量などの若干の増加が見込まれる。
		化学工業(企画担当)	・比較的高額で高機能な商品が売れず、低価格品ばかりが売れる傾向が顕著であり、利益が激減している。ただし、緊急事態宣言が全国で解除されたことで、今後は景気が良くなると考えられる。
		輸送用機械器具製造業(役員)	・販売価格は低調なままであるが、搬送設備の新規の引き合いは戻りつつある。
		輸送業(営業担当)	・通販の荷物が増えている。単価は安い量が多いため、利益は少し増える。
		輸送業(商品管理担当)	・例年4～5月は引っ越しシーズンで売上が増えるため、ここ2～3か月は良くなる。
		広告代理店(営業担当)	・新年度からは広告を再開する取引先も増えつつあり、新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、徐々に回復の兆しが見られる。
		食料品製造業(営業担当)	・新型コロナウイルスの変異種による感染が増える可能性があるため、しばらくは景気に大きな変化はない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業(経営者)	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか、見通せない。
		窯業・土石製品製造業(管理担当)	・新型コロナウイルスのワクチンの接種状況がポイントになるが、変異種の感染者数も増加傾向にあり、先行きが見通せない。
		金属製品製造業(経営者)	・大きな変化はないが、自動車関連では主要部品メーカーの火災により、自動車工場の稼働率が低下するおそれがある。
		一般機械器具製造業(経営者)	・この1年は売上が激減しており、今後も好転する気配はない。
		一般機械器具製造業(設計担当)	・新型コロナウイルスの影響で、飲食業界の厳しい状況が続く間は、当社も良くなるとは思えない。
		電気機械器具製造業(営業担当)	・引き合いの件数が増えていない。
		電気機械器具製造業(営業担当)	・新型コロナウイルスの感染者も増えてきているため、この先はどうなるか分からない。
		電気機械器具製造業(宣伝担当)	・東京オリンピックの開催が正式に決定すれば、テレビの需要の増加は見込まれるが、まだ開催は不透明であり、今のところは現状と変わらないと予想される。
		建設業(経営者)	・経済評論家による経済の先行きの予想は楽観的であるが、新型コロナウイルスの感染状況が好転しなければ、先行き是不透明である。設備投資も絞られることから、厳しい受注競争が予想される。
		建設業(経営者)	・何もかも自粛するムードが漂い、設備投資を控える企業が多いように感じる。
		建設業(経営者)	・例年4～5月は閑散期であるほか、現状から予想すると大きな増減は考えられず、現状と変わらない。
		輸送業(営業担当)	・学生の1人暮らしが減っているため、一時的な家具の需要が少なくなっている。
		通信業(管理担当)	・新型コロナウイルスの影響が再燃しそうな気配である。
		金融業(副支店長)	・急激な悪化とはならないものの、取引先の受注も横ばいの予想が多いため、今の状況が続くと予想される。
		金融業[投資運用業](代表)	・まさに新型コロナウイルスの感染第4波が起きようとしている。買物に出掛けたり、飲食店を利用するといった動きは、ワクチンが行き渡った後に国民がどう判断するかにかかっている。
		新聞販売店[広告](店主)	・新型コロナウイルスの感染者数が増えている。
	広告代理店(営業担当)	・紙媒体、Web媒体共に、広告売上は前年並みであるが、2年前の水準は下回る状態が続く。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		経営コンサルタント	・商店街では、大家が家賃を下げることに大きな抵抗があるため、空き店舗は当面増加することになる。
		司法書士	・期待していた新型コロナウイルスのワクチン入手問題や、変異種の問題など、好転する材料が見当たらない。
		その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・景気はなかなか良くなることはない。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・緊急事態宣言の発出、解除と、新型コロナウイルスの感染の再拡大が繰り返されると予想され、大きな回復は難しい。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・従来の取引先に変化はないが、電子取引関連の部門だけは少し良い動きになっている。
		その他非製造業〔会社〕（営業担当）	・今年度に予算が付かなかった設備投資について、来年度の予算で対応するといった明るい話も出てきたが、新型コロナウイルスの影響も色濃く残っており、まだまだ安心できる状況ではない。
		繊維工業（総務担当）	・売上が前年比でやや減少している。
		化学工業（管理担当）	・半導体不足による自動車の減産のほか、テキサスの寒波による化学品の生産停止による原材料の不足が予想される。今後は減産が必要となる可能性もある。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・かなり先の納期の注文が入っており、2～3か月先の注文を先取りしている感がある。
		金属製品製造業（開発担当）	・ゴールデンウィークまで暇な状態が続く。
		その他製造業〔履物〕（団体職員）	・緊急事態宣言は解除されたが、新型コロナウイルスの変異種の感染増加など、依然として感染の収束はみられない。まだしばらくは、見通しの立たない状態が続くそうである。
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大のほか、ガソリン価格の高騰などの影響が予想される。
	×	繊維工業（団体職員）	・新型コロナウイルス禍でタオル市場の動きが鈍く、改善の気配すらみえないなか、原料価格の高騰など、環境は悪化している。
	×	化学工業（経営者）	・日々の受注状況から、新型コロナウイルスの影響で悪化している取引先には、まだ回復の兆しが見られない。その反対に、好調であった取引先の受注状況が落ち着き始めている。
	×	金属製品製造業（営業担当）	・原材料価格が高騰するなか、取引先への価格転嫁の難航が予想される。特に鋼材関連については、自動車会社向けと一般企業向けの二重価格の問題が、価格交渉をより難しくしている。
	×	不動産業（営業担当）	・アパレルや飲食関連による店舗の解約が続いている。そこに新しいテナントが入ることも難しく、これから空室率が上がり、賃料は下落するため、ますます景気が悪くなる。
	×	経営コンサルタント	・今は新型コロナウイルスへの対策が全てとなっている。人々の生活や仕事はつらい状況にあるが、その対策が採られ、実行されているかといえば、営業時間の短縮などしか示されていない。生活や仕事を守られていないため、景気が回復するとは思えない。
	×	その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	・今年度の業績悪化に加え、新型コロナウイルスの感染第4波の懸念が払拭されておらず、見通しは暗い。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染収束が見通せない。
雇用関連 (近畿)		人材派遣会社（役員）	・緊急事態宣言が解除され、少しずつ経済の動きが活発になってくる。新型コロナウイルスの感染第4波への不安はあるが、緊急事態宣言を再発することなく、経済活動と感染対策を両立することができれば、先行きは明るい。
		人材派遣会社（営業担当）	・ゴールデンウィーク前後に、新型コロナウイルスの感染の新たな波が来れば、また閉塞感が広がってくる。
		職業安定所（職員）	・東京オリンピックの開催やワクチン接種の開始に伴い、徐々に新型コロナウイルスが克服できる雰囲気になり始め、求人の回復も見込まれる。ただし、緊急事態宣言の解除で人の動きが活発となり、離職者によるハローワークへの来所も増えると予想されるため、全体的な動きとしては変わらない。
		職業安定所（職員）	・緊急事態宣言は解除されたものの、それ以降も新型コロナウイルスの感染者数が増えているため、今後の状況は見通せない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（職員）	・求人数は低調に推移しており、特に卸売や小売、製造業の求人が抑制されているため、景気の回復には至らない。また、求職活動については、一部で高齢者や生活が苦しい求職者の動きはあるが、全体的にはまだまだ少ない状況である。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・引き続き、新型コロナウイルス関連での事務系の求人が増えたと予想される。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の状況を注視したい。
		人材派遣会社（経営者）	・新年度の動きは鈍く、それほど忙しくない。これから右肩上がりの状況になるとすれば、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、感染者数が減ってくることが求められる。各社も前向きになってくれば、その反動で忙しくなるが、今後も派遣社員をうまく使っている企業が生き残ると予想される。
		人材派遣会社（営業担当）	・3月は派遣需要が高まる時期であるが、景気の改善による増員の動きはみられないため、厳しい状況は変わらない。
		人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルスの感染状況で変化するが、一旦需要が落ち込むことが予想される。
		アウトソーシング企業（管理担当）	・通常の仕事は減ったままであるため、今後もやや悪くなる。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・景気の回復は新型コロナウイルスのワクチン接種の動向が鍵を握るが、余り進捗しているようにはみえない。新型コロナウイルスの感染は変異種が主体になっており、緊急事態宣言は解除されたが、これまで感染の少なかった地域でも感染者数が増え、感染拡大が抑えられない可能性が高い。東京オリンピックの開催にも障害ばかりが目立ち、国民の間の盛り上がりは感じられない。中止の可能性も排除できず、景気は悪化の方向に向かっていているように感じる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新年度に入っても関西の地元産業の動きは鈍く、新聞広告への出稿の見込みも全くない状況である。
		職業安定所（職員）	・雇用調整助成金の特例措置については、緊急事態宣言が全国で解除された月の翌月末までとなることから、現在休業を実施している企業への影響が懸念される。
		民間職業紹介機関（職員）	・中小事業所からの求人が減少傾向にある。この間の新型コロナウイルスによる影響を考えると、経営状況がかなり厳しくなっていると推測される。廃業や倒産などにつながる可能性も高まっている。
		民間職業紹介機関（営業担当）	・景気の悪化というよりも、新卒採用でのミスマッチが増えることが予想される。2～3か月後はちょうど大手企業の選考結果が出始める時期であるが、今年は特に新型コロナウイルス禍で学生の業界や企業に対する理解が十分に進まないなか、選考活動がスタートしており、ミスマッチの拡大が懸念される。
	x	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルス禍で企業の業績が悪化し、ホテルや飲食業界はかなり厳しい状況にある。今後の景気回復も見込めない。

## 9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(中国)	家計動向関連	競艇場（企画営業担当）	・4月以降は券の発売時間も十分に確保でき、6月には全国発売のG3競走が開催されるため、景気は良くなる。
		住宅販売会社（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば更に景気が改善傾向に向かう。
		商店街（理事）	・新型コロナウイルスの影響は大きいですが、何かのきっかけで景気が良くなる可能性がある。ただ、新型コロナウイルスに対する不安もあるため、一気には良くならない。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除され、先週末から人が動き出したように感じる。春になり、暖くなることで、外出者が増加し、少しずつ経済が上向いていく。
		百貨店（外商担当）	・客が新型コロナウイルス禍の立ち振る舞いのある程度理解し、行動している。客の心理は、確実に改善傾向にあり、株価の上昇等好材料はある。マスクには、否定的見解の報道が多く、ワクチン接種などの動きが鈍いため、それらを解決し、人々が安心して生活できる雰囲気になれば、景気は確実に良くなっていく。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業企画担当）	・気温が上昇し、新型コロナウイルスの感染者数が減少することで、イベントが本格的に開催されるようになり、景気はやや良くなる。
		スーパー（店長）	・密を避けるため、チラシを削減したり、タイムサービスを控えたりしても、来客数が伸びてきているため、今後、景気はやや良くなる。
		スーパー（総務担当）	・客の動きが良くなり、景気もやや良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・このまま来客数が回復するため、景気はやや良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・夏に東京オリンピックが開催されるため、景気はやや良くなる。
		コンビニ（支店長）	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、景気はやや良くなる。
		コンビニ（副地域ブロック長）	・イベントや国内旅行の再開で、来客数が今以上に増加する。プロスポーツも始まり、来客数は前年を上回る。
		乗用車販売店（統括）	・新型車効果で景気は多少良くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・気候も良くなり、新型コロナウイルスのワクチン接種で感染が終息してきたら、来客数が増加する。
		乗用車販売店（店長）	・整備入庫が多く、土日にもぎわっていることが新車販売にも好影響を与え、商談数も少しずつ増加する。
		自動車備品販売店（経営者）	・人々が新型コロナウイルス禍の生活に飽き、普通の生活に戻りつつあるため、景気はやや良くなる。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が薄れ、景気はやや良くなる。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	・気候が良くなり、来客数が増加する。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、東京オリンピック開催が確定すれば、客の動きが活発になり、安近短ではあるが、消費も上向いてくる。
		高級レストラン（事業戦略担当）	・自治体ごとに支援策が実施されれば、景気はやや良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、東京オリンピックを始め、世の中に動きが出てくる時期となり、人出も増加するため、景気はやや良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・国民の大半が新型コロナウイルスのワクチンを接種すれば、景気は少し良くなる。
		一般レストラン（店長）	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、客の動きが活発になってきており、徐々に大人数での予約も増加している。5月以降は修学旅行などの客も入ってくるので、景気はこのまま回復していく。
		都市型ホテル（企画担当）	・緊急事態宣言の解除後も新型コロナウイルスの第4波の不安はあるが、週末の人出は元に戻りつつある。大型ショッピングセンターの駐車場も満車になることが多く、客の消費意欲も改善している。Go To EatキャンペーンやGo To Travelキャンペーンの再開への期待は大きく、今後、景気はやや良くなる。
		タクシー運転手	・客の自粛意識が弱まり、街中の人通りが増え、売上も多少増加しているが、今後もこうした傾向がますます強まっていく。
		タクシー運転手	・夜の外出者が増加し、景気はやや良くなる。
		通信会社（営業担当）	・緊急事態宣言解除により、客に一定の消費意欲が認められていることから、景気はやや良くなる。
		通信会社（企画担当）	・3か月後には新型コロナウイルスも落ち着き、ワクチン効果の評価も定まって、社会全体にも落ち着きが出てきている。ある程度の抑制は継続されるものの、人々の行動は徐々に通常に戻り、消費も回復していく。
		通信会社（工事担当）	・新型コロナウイルスの影響が多少緩和し、景気はやや良くなる。
		テーマパーク（営業担当）	・これから繁忙期になることや県独自の観光キャンペーンの効果が出てくることから、景気はやや良くなる。
		観光名所（館長）	・このまま新型コロナウイルスの感染者数が増加しなければ、徐々に観光客が戻ってくる。
		観光名所（館長）	・緊急事態宣言が解除されたため、今後、更に来客数が増加する。
		商店街（代表者）	・新たに県や市が主体のプレミアム付商品券の発行が行われているが、目新しさがなくなり、余り話題になっておらず、景気は良くならない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が続けば、外出者も減少し、景気も良くならない。
		商店街（代表者）	・人出は増えているが、新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念があるため、景気は変わらない。
		一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・新型コロナウイルスの動向次第で景気が悪くなる可能性もあるが、今後は自粛しない人が増加するため、景気は変わらない。
		一般小売店〔食品〕（経営者）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明で、新しい生活様式を今後も続けていかざるを得ないため、景気は変わらない。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、平常心での生活が取り戻せるようになる。
		一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	・人の動きが良くなって来るが、販売量の増加にはつながらない。
		百貨店（経理担当）	・相変わらず毎日新型コロナウイルス感染の報道が流れ、緊急事態宣言を解除すれば人があふれ、感染者数が増加する状況なので、なかなか景気が上向きにならない。景気が良くなるにはもっと長い時間が掛かる。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスが終息しない限り、景気は回復しない。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種の普及などプラス要因があるものの、変異種や第4波など先行きが不透明である。多少落ち着いたとしても景気回復には時間が掛かる。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスが全国的に改善に向かわない限り、外出や旅行などの自粛ムードが続き、購買動機が減少したままであるため、景気は変わらない。
		百貨店（売場担当）	・人口の多い地域を中心にリバウンドが出てきており、予断を許さない。新型コロナウイルスのワクチン接種が進むが、現在の状況は変わらない。
		百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスが落ち着いてきたものの、今後、新型コロナウイルスのワクチン接種が進まないと、景気は現状からあまり変化しない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進まない限り、客の巣籠り状態が続き、景気も変わらない。
		スーパー（店長）	・今後も来客数が回復する兆しが見えず、現状が続く。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスに関する大きな動きや自粛の緩和はなく、客の来店頻度が減少するため、厳しい状況が続く。
		スーパー（店長）	・緊急事態宣言は解除されたが、新型コロナウイルスの感染者数が全国的に増加傾向で、まだ安心して外出できる状況ではなく、今後も来客数の増加は見込めない。
		スーパー（営業システム担当）	・自粛への慣れもあって一定の巣籠り需要はあるが、景気の先行き不透明感もあって、財布のひもは固く、景気が良くなる要素はない。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスが今後どうなるか分からないため、景気は元に戻らない。
		スーパー（販売担当）	・景気が良くなる材料も悪くなる材料もないため、景気は変わらない。
		コンビニ（エリア担当）	・緊急事態宣言が解除されても、新型コロナウイルスの影響が続く限り、景気は変わらない。
		衣料品専門店（代表）	・新型コロナウイルスが完全に終息しないため、客が外出を自粛し、新たに洋服を買う機会が増加しない。
		家電量販店（店長）	・新型コロナウイルスが終息し、東京オリンピックの需要が出てこない限り、景気の回復は見込めない。
		家電量販店（店長）	・来客数は増加する見込みである。
		家電量販店（企画担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、景気は良くなるが、2～3か月ではまだ景気は回復しない。
		乗用車販売店（営業担当）	・決算時期の販売台数の増加を期待したが、前年を大幅に下回るかなり厳しい結果となっており、今後も厳しい状況が続く。
		乗用車販売店（業務担当）	・新型コロナウイルスの先行きが不透明であり、今後も景気は変わらない。
		その他専門店〔布地〕（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、人々が安心して街に買物に出掛けるようにならないと、景気は回復しない。
		その他専門店〔土産物〕（経営者）	・新型コロナウイルスのリバウンドや変異種の拡大が懸念されるなか、景気が好転するとは考えにくく、経費を抑え営業を地道に続けていくしかない。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種やPCR検査体制がまだ確立したわけではなく、第4波の可能性が高い状態で、安直な見直しを行うのは難しい。ただ、今後、ワクチン接種者が増加し、感染拡大の要因が少なくなれば客も安心して外出し、景気も良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種とそれに伴う感染者数の動向にもよるが、流れは変わらない。
		スナック（経営者）	・政府の新型コロナウイルス対策が遅いため、今後も景気はなかなか回復しない。
		観光型ホテル（営業担当）	・Go To Travelキャンペーンが再開し、新型コロナウイルスのワクチンが行き届かないと景気回復は見込めない。
		観光型ホテル（副支配人）	・宿泊の予約は少ないままで、宴会の予約もほとんどない。Go To Travelキャンペーンの再開が6月以降になることから回復するにはまだ時間が掛かる。
		都市型ホテル（企画担当）	・新型コロナウイルスの動向次第であるが、景気は変わらない。
		都市型ホテル（総支配人）	・新型コロナウイルスの第4波の兆候が見え始め、全国的に県をまたぐ移動については自粛の継続が予想される。また、Go To Travelキャンペーンの再開も6月以降との見通しが強く、当面はゴールデンウィークを除き自治体支援策による地域内での利用需要に期待する。
		旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチンが浸透すれば、2～3か月後の回復が期待できるが、現状では景気は変わらない。
		旅行代理店（支店長）	・東京オリンピック・パラリンピックが開催され、新型コロナウイルスのワクチン接種者が増加してくれば状況は変わってくる。
		タクシー運転手	・緊急事態宣言が解除され、県外からの訪問客数が増加している。ただ、今後の新型コロナウイルスの動向が不透明なため、景気は変わらない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響が大きく、夜の動きも良くならないため、景気は変わらない。
		通信会社（経理担当）	・先行きが不透明な状況が続くため、景気は変わらない。
		テーマパーク（管理担当）	・新型コロナウイルスに対する国の施策が不透明なため、景気は変わらない。
		ゴルフ場（営業担当）	・Go To Travelキャンペーンが再開すれば、回復の傾向が見えてくるが、現状では景気は変わらない。
		美容室（経営者）	・現段階では大きな動きがありそうな状況ではないため、今後も変わらない。サービス業関係はまだまだ新型コロナウイルスの影響が続く可能性があるため気を緩めないよう行動していく必要がある。
		美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続くため、景気は変わらない。
		設計事務所（経営者）	・来客数は増加するが、予約制等の対応のため大幅な増加としないことから、景気は変わらない。
		設計事務所（経営者）	・4月以降も新型コロナウイルスに対する人々の警戒が変わらず、建築に関する制度にも変化がないので、現状が続く。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチンが一般に普及するまでは経済活動の制限が続くので、景気は改善しない。
		住宅販売会社（営業所長）	・販売数は横ばいであるが、単価の減少が進行しており、今後、景気は横ばいか悪化となる。
		商店街（代表者）	・客が子供服は要らないという感じであり、今後も厳しい状況が続く。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、前年の4～6月に売上が伸びたため、今年の4～6月の売上が前年を上回ることはない。
		スーパー（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念から、4月からゴールデンウィークに掛けて予定していた販売促進のためのチラシの配布やイベントの開催を中止する方向で調整している。客の消費意欲も低下し、先行きに不安があるため、景気はやや悪くなる。
		スーパー（業務開発担当）	・来客数が徐々に戻ってきているが、客単価は微減となっており、今後、景気はやや悪くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの第4波が発生し、景気はやや悪くなる。
		衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で外出者が減少し、景気も落ち込む。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（店長）	・今後、景気が上向きになる要素が余りないため、景気はやや悪くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・販売が落ち込む時期になり、新型コロナウイルス禍で営業活動も鈍くなるため、景気はやや悪くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・決算が終わり、来客数が減少するので、景気はやや悪くなる。
		放送通信サービス（総務経理担当）	・新型コロナウイルスが経済に与える影響の長期化が懸念されており、今後、景気はやや悪くなる。
		設計事務所（経営者）	・新年度に入っても官からの仕事がすぐには期待できず、民間も新型コロナウイルスの影響で見通しが立たないため、景気は良くならない。
	x	スーパー（財務担当）	・現状は売上が前年は上回っているものの、所得減少による節約により、後は売上が減少する。
	x	自動車備品販売店（経営者）	・1都3県の緊急事態宣言解除により、新型コロナウイルスの感染者数が急増しているのが実情である。この先G o T oキャンペーンが実施され、全国の感染者数が増加し、再び緊急事態宣言が発出されると、景気は悪くなる。
	x	住関連専門店（営業担当）	・どんなイベントを開催しても良い結果が出ておらず、今後も景気は悪くなる。
	x	通信会社（広報担当）	・良い物を金を出して買うという行動が余りなく、安価な物に流れるため、景気はやや悪くなる。
	x	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの影響が続く限り、景気は元に戻らない。
企業 動向 関連  (中国)		*	*
		化学工業（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染対策により、経済活動が動き出しており、今後、景気はやや良くなる。
		鉄鋼業（総務担当）	・受注動向に陰りがみられないため、今後、景気はやや良くなる。
		輸送業（総務・人事担当）	・客の動向に改善の兆しがあり、海外向けの輸出が増加しているため、今後、景気はやや良くなる。
		輸送業（支店長）	・今後、デジタル化に伴う新たな需要が見込まれ、集配に関する需要が高まっていく。
		通信業（営業担当）	・新型コロナウイルス禍で一貫した引締めムードから、安全対策を講じた上で経済活動を再開させようという動きに変化してきているため、今後、景気はやや良くなる。
		通信業（営業企画担当）	・新型コロナウイルスが落ち着いており、今後、案件の引き合い数や販売量が増加する。
		広告代理店（営業担当）	・景気が好転するという客情報もあるため、今後、景気はやや良くなる。
		会計事務所（経営者）	・ウィズコロナのなか、リスクの最小限化を図りながら事業活動を活発化させざるを得ない。
		農林水産業（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン等の影響で、景気がどの程度好転するか読めない。
		食料品製造業（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、外出する人も増加するが、一方で原料費や物流費も高騰するため、景気は変わらない。
		繊維工業（監査担当）	・新型コロナウイルス対策の自粛による来客数の減少を懸念していたが、冬物商戦が終了した現在、例年並みの売上実績だったので、夏物も例年並みに推移する。
		木材木製品製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスのワクチンの接種状況や変異種による第4波の状況にもよるが、変わらない状況が続く。
		化学工業（総務担当）	・景気が特に変化する要因がない。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・生産量が回復する要因がなく、現在の水準が継続する。
		鉄鋼業（総務担当）	・新型コロナウイルスの影響もあり、景気が急激に回復することはなく、横ばいの動きが継続していく。
		非鉄金属製造業（業務担当）	・金属価格の高値状態は当面続くと想定しているが、更に上昇することはない。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きを見る限り、今後も景気は変わらない。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・主要客からの受注内示量は引き続き例年を下回っており、今後も厳しい状況が続く。
		建設業（経営者）	・新規案件の引き合いが多少なりともあるため、景気は変わらない。
	建設業（総務担当）	・2～3年後の種まきが重要となるものの、予定物件がある。景気は今後も変わらない。	



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（総務担当）	・緊急事態宣言が解除されたが、大きな変化はなく、今後も変わらない。
		金融業（貸付担当）	・緊急事態宣言解除となっても、新型コロナウイルスの感染者数のリバウンドがみられ、早期終息は見込めず、景気が回復するのはまだ先である。
		金融業（融資企画担当）	・向こう数か月は地元自動車完成車メーカーの世界販売の伸び悩みが続くため、系列の自動車部品メーカーの受注はピーク時の9割程度で推移する。
		食料品製造業（経営者）	・国の景気対策等が国民の現状に寄り添う対策でなくなり、貧富の差が一層広がる。
		金属製品製造業（総務担当）	・客の受注成約数は増加していないが、案件は増加している。ただ、鉄の原材料価格が高騰し、採算悪化に拍車を掛ける見込みであり、夏以降も更なる値上げの可能性があるため、景気はやや悪くなる。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・一部テレワークの実施や事業活動の制限により人件費や労務費などは大幅に削減ができてきているものの、業種的に対面営業でないと新規受注につながらないことが多いため、全体の見通しとしては下向きとなる。
		不動産業（総務担当）	・賃貸住宅需要も落ち着いてきており、2～3か月後は例年どおり、景気は現在よりやや悪くなる。
	x	*	*
雇用 関連  (中国)		-	-
		人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況や政府、地方自治体の対応次第だが、このままの状態が続けば、人の動きが良くなり、雇用活動が活発になる。
		人材派遣会社（支社長）	・新型コロナウイルスが落ち着き、企業が人員の採用に関して前向きになっている。
		人材派遣会社（経営戦略担当）	・新型コロナウイルスの終息後を見据え、新規求人を出す業種が拡大しており、今後もこの傾向が続く。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	・新卒の採用活動は、前年3月の合同説明会全面中止から今年3月は対面とWeb両方の合同説明会へと方向転換され、選択肢が広がったことにより、動員が一昨年より微増となっている。新型コロナウイルスのワクチン接種の広がりや対策の徹底により、少しずつではあるが、企業も街人も動き始めており、今後、景気はやや良くなる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、東京オリンピックが無事開催できることになっていることが前提であるが、2～3か月後は通常の経済活動にかなり戻り、新たなサービスも提供されると予測される。
		民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスの発生から1年が経過し、ニューノーマルもノーマル化しつつあり、デリバリーなど新たな産業も定着してきている。また、ホテル宿泊のマンスリー化など既存サービスからのサービスの転換も始まり、低迷した売上も回復しつつある。こうしたことから、今後、景気はやや良くなる。
		民間職業紹介機関（求人・人材採用担当）	・新型コロナウイルスが終息することを見越して人材確保に動き出している飲食店や企業が増加しているため、今後、景気はやや良くなる。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	・新卒採用に積極的な企業が少しずつ増加してきているため、今後、景気はやや良くなる。
		その他雇用の動向を把握できる者	・緊急事態宣言が解除され、4月からは人の移動が活発化する時期に入る。新型コロナウイルスの感染をある程度抑えることができれば、東京オリンピックも開催されるため、景気は良くなる。
		人材派遣会社（支店長）	・新型コロナウイルスの影響で今の状況がしばらく続く。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が進む秋口までは、景気は一進一退が続く。
		職業安定所（事業所担当）	・雇用調整助成金等の申請が減少に転じているが、緊急事態宣言や宣言解除後の感染に対する懸念などから、企業は採用活動に関して慎重になっている。2月の雇用保険関係を前年と比べると、適用事業所数は2.8%増加、被保険者数は0.3%増加し、資格喪失者数は8.2%減少している。2月の求職者関係を前年と比べると、新規求職者数は5.9%増加、有効求職者数は16.7%増加している。
	学校〔大学〕（就職支援担当）	・新型コロナウイルスが落ち着きかけたが、感染者数が再び増加してきているため、今後も景気は変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		職業安定所（所長）	・新型コロナウイルスの影響は宿泊業のみならず土産物などを扱う小売業、飲食業、土産物を製造する製造業などにも広がっている。緊急事態宣言の解除後も新型コロナウイルスの影響がしばらく続くため、景気はやや悪くなる。
	x	-	-

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (四国)		通信会社（社員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種のめどが立ってきているため、人の動きは活発になっていくと考えている。
		商店街（代表者）	・景気は新型コロナウイルスの感染状況次第であり先行き不透明であるが、足元では、東京オリンピックの開催に向けて人々の動きが活発になってきていると感じる。当地域では、感染対策を実施しながら、できる範囲で経済活動を行っている状況である。
		商店街（代表者）	・春になり、人通りが増え、歓送迎会や花見等の予約も若干増加しているように思う。今後第4波の襲来によって、また景気が大きく冷え込まないか心配であるが、今のところはやや良いという状況であると感じる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの影響が小さくなり、客の生活が徐々にふだんどおりに戻ってくるため、景気が回復すると思われる。
		コンビニ（店長）	・足元では、急激な感染者数の増加のため来客数が減少したが、以前のような激減ではなくなった。今後は自粛を続ける客が減減し、徐々に来客数が回復すると考えている。
		コンビニ（商品担当）	・ワクチン接種が拡大することにより諸外国のような良い変化があればいいと思う。
		衣料品専門店（経営者）	・依然として新型コロナウイルスの影響はあるが、そろそろ抑えていた購買意欲の反動により、景気は良くなっていくと感じる。
		衣料品専門店（経営者）	・都市部では新型コロナウイルスの感染者数が増加しているが、当地域では少しずつ収束していくのではと期待している。例年4月から夏場にかけては繁忙期であるため、売上も少し良くなっていくのではないかと考えている。
		乗用車販売店（役員）	・緊急事態宣言の解除とワクチン接種によって人の動きが活発になることを期待している。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・当地域では新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向にあり、家飲みのお酒の機会が増加が期待できるため、売上も良くなると思う。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染症も下火になりつつあり、自粛の反動で客足の増加が見込まれるが、所得低下から客単価は減少すると思われる。
		一般レストラン（経営者）	・ワクチンの普及に頼るのみである。
		タクシー運転手	・4～6月にかけて、お遍路の仕事が入っており、このままの状態が続けば今より景気は良くなると思われる。しかし、全国的に新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、その先は不透明である。
		通信会社（営業担当）	・新生活に伴う需要や新プラン導入等による業界や客動向の活性化に期待している。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス禍の影響で、大都市集中型の国づくりが少しでも分散型国づくりの方向に動くことを期待したい。今後新たな種類のウイルスの感染が出現したり、大きな自然災害が発生するのは避け難いと思われる。それらに備えるためにも、それぞれの地域の個性や特性を発揮した魅力ある21世紀型まちづくりが各地で進展することを願望する。
		商店街（事務局長）	・聖火リレーがスタートし全国を巡ることで、今夏の東京オリンピックとパラリンピックへの期待が膨らみ、景気に明るさを取り戻すチャンスにはなっているが、新型コロナウイルス第4波の感染拡大を抑え込めないと消費は上向かないと思われる。
	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・年度末の需要で売上は何とか確保できたが、店頭の売上は芳しくなく、この状態は当分続くと思われる。	
	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・当面は新型コロナウイルスの影響が続き、人の動きはないと思われるため、今後も景気は変わらない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（営業管理担当）	・ワクチン接種が進む一方で、地方や都市部で新型コロナウイルスの感染が再拡大し、第4波の影響を受けると思われる。
		スーパー（企画担当）	・ワクチン接種が進み、感染状況が収まらない限り、消費の上昇は見込めないと思われる。今の状況では消費が特定の業種だけに限定され、その他の業種では今後伸びていく見込みが立たない。
		コンビニ（総務）	・季節的に来客数が増加傾向になることが予想されるが、新型コロナウイルス禍の状況が変化しなければ依然として今より良くなる見込みはない。
		衣料品専門店（営業責任者）	・Go To Travelキャンペーンが再開できないことで、依然として外出に対して厳しい見方があるため、外出着の販売がメインである当社は、今後も業況の改善は見込めない。
		家電量販店（副店長）	・新型コロナウイルス禍が当分の間続くため、今後の見通しはみえてこない。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、収束への期待が高まりつつあるものの、景気の回復にはまだまだ時間が掛かる。
		乗用車販売店（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数が再び増加傾向にあるため、しばらくの間大きな変化はないと思われる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・ワクチン接種が進み安心して外出できるようになるまで、景気の回復は望めない。
		観光型旅館（経営者）	・低位に張り付いたまま推移すると思われる。
		都市型ホテル（経営者）	・今後の見通しが全く立たない状況である。4月から始まる高齢者を対象としたワクチン接種に期待感はあるが、変異種株への感染や、東京オリンピックの開催に向けた国の動きに対して危機感を持っている。やはり、新型コロナウイルスの収束のめどが立っていないことが一番怖いと感じる。
		旅行代理店（営業担当）	・ゴールデンウィークの客の動きも低迷する見込みである。新型コロナウイルス変異種の感染拡大や第4波に突入したとの報道等の影響が大きい。
		タクシー運転手	・当地域では新型コロナウイルスの感染がやや収束しつつある。変異種の感染者も少数に抑えられており、このまま景気が横ばいの状況がしばらく続くと考えている。
		通信会社（営業部長）	・現在の販売状況を見ると、新型コロナウイルスの第4波が襲来しても、ロックダウンにでもならない限り、過去のような買い控えや消費意欲が衰えることはないと考えている。
		通信会社（支店長）	・新型コロナウイルスの影響が当面続くと思われる。
		競輪競馬（マネージャー）	・東京オリンピックへの期待感の行楽シーズンの人手の増加、新型コロナウイルスの感染拡大などプラスとマイナスの要素が交錯し、景気は現在の水準で推移すると予想する。
		設計事務所（所長）	・今後景気が良くなるか悪くなるか、判断することが非常に難しい状況だと感じる。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・年度末の繁忙期にもかかわらず、街に人がほとんどいない状態であるため、イベント行事がないこれからのシーズンは余り期待できない。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染再拡大で経済活動が全般的に減退すると思われる。
		スーパー（財務担当）	・前年の新型コロナウイルス特需の反動減が大きい。
		家電量販店（店員）	・異動の時期が一段落すると売上も減少すると思われる。
		乗用車販売業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大や決算キャンペーンの終了、半導体不足による納期の遅延等により、今後は苦戦すると思われる。
		観光遊園地（職員）	・3月以降、再び新型コロナウイルスのクラスター案件が発生したことにより、人の動きが止まっている。
		美容室（経営者）	・当地域では新型コロナウイルスの感染が再拡大しており、客がかなり敏感になってきている。今後の動きも読めない状況である。
		美容室（経営者）	・当地域では感染者数が再び増加してきたので、今後その影響が出始めると思われる。
	×	コンビニ（店長）	・当地域では新型コロナウイルスの変異種の感染拡大も報道されており、前年と同じように4～5月は売上の減少が見込まれる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大の第4波が始まったといえるなか、先がみえない状態である。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
企業 動向 関連  (四国)		税理士事務所	・新型コロナウイルスのワクチンが普及することで市場活動が活発になると思われる。
		繊維工業（経営者）	・前年から当社のネット販売の売上が倍増している。オンラインストアでの販売に力を入れている店舗からの注文も旺盛で、観光地や旧来の販売形態である小売店からの受注減少をカバーしている。この傾向は今後も続くものと思われ、ワクチンが普及し感染者が徐々に減少してゆけば、景気が改善していくと感じる。
		木材木製品製造業（営業部長）	・住宅の契約棟数は回復傾向にあるので、ゆっくりではあるが景気も回復していくと思われる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・1つの案件に対する利益率は下落しているように感じるが、受注量は増加傾向にあることを勘案すると、今後景気は良くなっていくと思われる。
		輸送業（経営者）	・ワクチンの普及により、状況は改善していくと思う。
		輸送業（経理）	・新型コロナウイルスによる影響は懸念されるものの、客からは今後の出荷計画は増加する見込みであることを聞いている。
		金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの段階的収束に伴い、消費者行動が回復する。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束せず、売上也伸びないと予想する。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経理）	・新型コロナウイルスの影響で除菌のウェットクリーナーの需要は高いが、供給量も多いため売行きは横ばいである。病院等で使用するパケツ型のウェットクリーナーの販売量は少しずつ増加しているが、フェイスマスクはインバウンドが消失したことで、売行きが悪い状態である。
		化学工業（所長）	・緊急事態宣言は解除されたものの、沈静化していない地域もある。また、原油やナフサの高騰により原料単価も高騰するため、しばらく景気は変わらないと考えている。
		鉄鋼業（総務部長）	・1～2月にかけては受注量の回復が見られたものの、3月以降の見込みは立っていない状況である。
		電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルス特需による販売が落ち着き始めている。
		建設業（経営者）	・例年、年度当初は手持ち業務量が減少するが、発注時期や納期の平準化などの施策効果により減少率は小さい。これは公共事業政策の賜であり、手持ち量はある程度持ったまま事業を継続できるので、会社財務的にもリスクが少なく、少なくとも今後2～3か月の景況感是不変わらない。
		建設業（経営者）	・新年度に期待するしかないと考えている。
		輸送業（営業）	・新型コロナウイルスについては、従来型よりも感染力が強く、ワクチンの効果を低下させる可能性が指摘されている変異種株の感染が拡大していることや、緊急事態宣言解除後の感染再拡大による第4波襲来の懸念が高まっている。いまだ収束が見通せない状況にあることから、消費者の不安払拭には至っておらず、景気の先行きは極めて不透明である。
		通信業（企画・売上管理）	・前年同時期と比べると売上は大きく上回ると予想するが、直近では同じ水準で推移している。
		通信業（総務担当）	・新型コロナウイルス第4波の発生がなかった場合は、全体の景気は徐々に良くなると想定される。当社を取り巻く環境は比較的新型コロナウイルスの影響に左右されることが少ないため、今後2～3か月の売上はそれほど変わらないと考えている。
		広告代理店（経営者）	・新年度から客の販促広告の増加を期待していたが、一部の客以外は新型コロナウイルスの第4波への心配が続いている。4月以降も販促促進広告等に対して慎重な客が多く、またイベント等の開催も難しい状況が続くため、全体としては余り変わらないと予想する。
		農林水産業（職員）	・4月から日販品を中心に値上げが報道されており、このような状況下で影響を大きく受けるのは青果物であることが過去に検証されている。また、新型コロナウイルスの第4波の襲来は確実視されており、景気への影響は避けられそうにない。
		×	一般機械器具製造業（経理担当）
雇用 関連		-	-
		人材派遣会社（営業担当）	・景気の浮き沈みはあるものの、少しずつではあるが求人数も増えつつあり、回復傾向にあると感じる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
(四国)		職業安定所（職員）	・求職者、求人者共にある程度現在の状況に慣れてきていると感じる。手探り状態だった前年度や今月と比べるとやや良くなると思われる。
		民間職業紹介機関（所長）	・東京オリンピックの影響で少しずつ上向きになる可能性がある。
		人材派遣会社（営業担当）	・依然として厳しい業界もあり、求人が多いという状況ではない。
		人材派遣会社（営業）	・東京オリンピック開催に向け、聖火リレーや関連行事の集客イベントにより景気も上向き見込みであるが、第4波の襲来により緊急事態宣言が発出された場合は、該地域の住民にとっては気軽に東京オリンピックを楽しめる状況にならないことが課題となる。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・異動時期に入り求人数は増加してきたが、今後都市部での緊急事態宣言の解除に伴う第4波が懸念される。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・回復基調の業種も広告費を抑える傾向にあるが、落ち込みをカバーする方策を立てて推進していこうと考えている。
		職業安定所（求人開発）	・新型コロナウイルスの影響で、休業している事業所からの雇用調整助成金の申請が多数あり、人員整理を実施する事業所も出てきている。Go Toキャンペーン等により人の動きが若干増加し、状況は緩やかに改善していたが、1月に11都府県で緊急事態宣言が発出されたことで状況は悪化した。現在、緊急事態宣言は解除されているが、この悪化した状況は急激には回復せず、第4波襲来ともいわれているなか、今後2～3か月の状況は変わらないと考えている。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスの第4波の感染拡大が懸念される。
	求人情報誌（営業）	・サービス業での求人数が減少を続けており、回復傾向がみられないため、景気は悪化すると判断する。	
	x	-	-

#### 11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (九州)		一般レストラン（スタッフ）	・若者の外出が目立つようになっているが、新年度になり会社員等のサラリーマンも出歩くと考えられ、人の動きが多くなり若干期待をしている。
		競馬場（職員）	・来場者の更なる増加が見込まれる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が順調に進むと考えられるため、今より若干回復することを期待をしている。
		商店街（代表者）	・緊急事態宣言が解除されると、人の動きが緩和されるため、売上増加を期待している。
		商店街（代表者）	・年度初めの経費増加が見込めるが、ゴールデンウィーク前で高止まりすると考えられる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響で大きな変動があったが、少しでも収束し東京オリンピックが行われるという期待感もあり、今後人の動向が多くなる。
		商店街（代表者）	・近隣で第4波の感染者増加がないことが条件ではあるが、自粛生活にも緩和がみられ景気は回復傾向にある。
		百貨店（総務担当）	・新型コロナウイルスの終息傾向が継続すれば、現在買物を我慢している消費者の購買意欲が活発化することが期待できる。
		百貨店（営業担当）	・ワクチン接種開始時期の不確かさやクラスター発生による外出抑制や感染防止策への意識は継続しているが、緊急事態緩和と店頭催事の再開、入学シーズンの学生服受取、フレッシュアツ需要、また、季節催事の開催やWeb・通販受注充実で客の動きが期待できる。客単価や商品単価は維持しており、慎重な行動姿勢や生活防衛意識は継続しているが県外との往來の回復で3世代での来店による購買に期待しており、回復も見込める。
		スーパー（店長）	・緊急事態宣言が解除されたため、今後は若干人の流れが出てくる。人が動けば景気もやや良くなると予想しているが、第4波が懸念される。
	コンビニ（経営者）	・自粛ムードの閉塞感から、人の動きが活発になる傾向になっており、全体としては景気はプラスになる見込みである。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（エリア担当・店長）	・近隣の桜祭りは中止になっているが、暖かくなるにつれ新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いていき、客の外出も多くなると、来客数も若干増加する。
		衣料品専門店（総務担当）	・今後の新型コロナウイルス感染次第であるが、ある程度収束すれば、現状より景気は回復すると期待をしている。
		家電量販店（店員）	・新生活準備で非常に忙しい状態で、新型コロナウイルスとは関係なく、完全に通常営業になっている。特に来店客は、必ず何か購入しているため、自粛から解放モードで消費意識が出ており、売上が伸びている。
		その他専門店【コーヒー豆】（経営者）	・例年よりは来客数が若干少ないが、1～2月と比較すると増加傾向にある。来客数が増加傾向である要因としては、新型コロナウイルス禍ではあるが、気候も暖かくなり外出も多くなっているためであると考えている。
		その他小売の動向を把握できる者【ショッピングセンター】（支配人）	・ワクチン接種も本格化してくるから、この回復基調は継続していくと予想している。唯一、不安な点は変異種が猛威を奮い、全国規模の緊急事態宣言が出てしまうことであるが、そうならないよう、3密回避を厳守し、細心の注意を払いたい。現状、旅行業種で厳しい経営が続いているため、早期の対策に期待している。
		高級レストラン（経営者）	・人が通らない状態であるが、やっと緊急事態宣言が解除され時間延長になったことから、旅行者に期待をしている。
		一般レストラン（経営者）	・まだまだ感染が続いている地域もあるが、早く収束に向かいGo Toキャンペーンが再開すれば、にぎわいは戻ってくるため、早い段階での再開を期待している。
		その他飲食の動向を把握できる者【酒卸売】（経理）	・政府の景気対策への期待を込めてになるが、Go To TravelキャンペーンとGo To Eatキャンペーンの取組が、大きく販売数に影響するため、再開がない場合は、季節指数として悪くなる見込みである。
		都市型ホテル（スタッフ）	・ワクチンの速やかな流通で、警戒せず移動ができるような環境を期待する。
		旅行代理店（職員）	・6月のGo To Travelキャンペーンの全国再開を予定していることから、旅行需要が若干増加する可能性を予測している。
		通信会社（企画担当）	・客の体制や予算が落ち着いてきており、新型コロナウイルス対策関連事業に限らず、引き合い、受注が回復傾向にある。
		通信会社（企画担当）	・テレワーク需要やG I G Aスクール起因の光回線販売伸長が期待できる。
		ゴルフ場（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、ゴルフブームは今後も継続するのではないかと期待をしている。
		美容室（経営者）	・春はおしゃれシーズンとなるため、2～3か月先の売上は良くなると期待している。新型コロナウイルスの感染が終息すれば、より上昇すると考えられる。
		住宅販売会社（従業員）	・グリーン住宅ポイント、補正Z E H支援事業、すまい給付金延長等住宅を検討する好条件がそろっており、景気はやや良くなる。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの推移も全く見通せないことから、将来的な予測が全く付かず、期待が持てない。
		商店街（代表者）	・3月の後半から時短営業が解除となっているが、当地では催しや花見の自粛要請が続いており、しばらくこの状況は変わらない。
		商店街（代表者）	・2～3か月先も売上高及び来客数は低迷商況であると予測しており、対応を模索している。
		百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況、ワクチン接種等の動きが読めないため、現況が継続する。
		百貨店（企画担当）	・来客数、売上共に改善傾向であり、ゴールデンウィーク等で移動する機会が増加すれば、衣料品を含め更に需要は高まると期待している。しかし、第4波の影響も注視していく必要があるため、現時点と同レベルで推移していくものと考えている。
		百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着けば、かなり回復すると考えられるが、現在変異種も含めて第4波も懸念されており、今後の見通しは分からない。しかし、今の状況がこのまま継続すると深刻な状態になる。また、取引先も厳しい状況で、撤退している店も頻繁に出ている。今後、ダイレクトメールを組むことが難しくなると予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		百貨店（売場担当）	・新型コロナウイルスも今のところ落ち着いており、乗客数の戻り次第で売上も上昇してくる。物産催事は、3密対策を講じながら行う予定で、前年を上回ると予想しており、どの程度の伸長があるか期待をしている。全体では、今のところマイナス要因は考えておらず現状が継続する。
		百貨店（プロモーション担当）	・大きなモチベーションがないまま、新型コロナウイルスの影響が続く。
		百貨店（業務担当）	・ワクチン接種や新型コロナウイルスの変異種の報道があるたびに客の関心は高まり、特にファッション関連商品やし好品等の購入に気持ちが向かわず、力強い消費にはまだまだ時間が掛かる。
		スーパー（店長）	・新型コロナウイルスのワクチン供給次第で、客の行動や生活環境が変わってくると考えており、現段階での不透明な状態では変わらない。
		スーパー（企画担当）	・ワクチン接種や今後の感染状況にもよるが、いずれにしても大幅な改善は見込めず、回復しても緩やかなものとなり、むしろ若干下ブレ傾向が続くと予想している。
		コンビニ（経営者）	・今のところワクチン接種の普及も遅く、新型コロナウイルス感染への警戒感も変わらない。
		コンビニ（経営者）	・当地でのワクチン接種が一部の病院のみで、他県より遅いと感じている。一般の接種までには、まだ時間が掛かりそうである。安心して買物が可能となり、乗客数が元に戻るまでには、厳しい経営が続くと考えている。
		コンビニ（経営者）	・前年の今頃は、新型コロナウイルスのまん延が危惧された状況であった。前年の緊急事態宣言は厳格に守られていたが、現在の状況は、前年を下回っている。街中の店舗は、存続を検討しなければならない状態にあり、非常に危機的である。
		コンビニ（エリア担当）	・ワクチンの安定供給と効果が分かるまでは、状況は変わらない。
		コンビニ（店長）	・緊急事態宣言が解除されたが、第4波が懸念される。
		衣料品専門店（店長）	・緊急事態宣言解除にもかかわらず、新型コロナウイルスの影響で花見は実質規制中であるため、来街者や来店客が増加する見込みが立たない。
		衣料品専門店（店長）	・2～3か月先は読めないが、このまま変化はないと予想している。
		衣料品専門店（取締役）	・6月は梅雨入りの時期になるが、ファッション業界には関係がある。新型コロナウイルスの終息も不透明で、消費が活発になるとは考えられない状況である。この状況で、どのような対策を講じるかは、各企業の努力に委ねられる。生き残るために知恵を絞っていきたい。
		家電量販店（店長）	・全て新型コロナウイルスの感染状況によって左右されると考えられるが、巣籠り需要や携帯電話の復調以外での商品の不振が続くと予測している。
		家電量販店（店員）	・今後も新型コロナウイルスの感染が継続するという状況であるが、家電のこの1年は、巣籠り需要により伸びていることから、売上が若干落ちつつも悪い状況ではないという流れは、しばらく続くと考えている。
		乗用車販売店（従業員）	・今後も新型コロナウイルスの感染状況が不透明なため、安心して購入できないのではないかと懸念している。
		乗用車販売店（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大の状況次第であるが、今後も新車や中古車の販売は堅調に推移すると予想される。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・燃料油の小売価格の見込みは、高止まりした後、やや下げの傾向も予想される。行楽シーズンを迎え、自動車による移動も多く見込まれ、ゴールデンウィーク等における燃料油及びカーケア商材の販売に期待したい。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	・新型コロナウイルス禍が数か月で収束するとは考えられないため、年内はインバウンドも望めない。
		高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染による影響が不透明なため、良くなる兆しが全くない。当地では新型コロナウイルスの変異種が発生しており、その影響が出てくると現状より悪くなると危惧している。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		観光型ホテル（専務）	・Go To Travelキャンペーンが再開する予定のため個人客が増加すると予想されるが、平日の団体客の動きが通常に戻るのはまだまだ先である。今回は休館をチャンスとして、改装を進めており増客につながることを期待している。
		観光型ホテル（総務）	・ホテルの客室、レストラン、宴会場の予約状況を見る限り、大幅な伸びは見込めない。特に宴会は模様眺めの感が強く、新型コロナウイルスの感染状況次第で延期、また中止を考えている主催者が多い。ワクチン普及が景気を左右するため、状況を見極めていく。
		タクシー運転手	・今まで夜を中心に、タクシーの台数制限をしていたが、第4波で台数が戻ることに伴い、1台当たりの売上が一層減少することが懸念される。
		タクシー運転手	・今後も新型コロナウイルスの感染が増加すると予約が減少し、人の動きが止まるため、先行き不透明である。
		観光名所（従業員）	・新型コロナウイルスのリバウンド現象の影響が懸念される。
		ゴルフ場（営業）	・緊急事態宣言が解除されたが、まだ新型コロナウイルスの終息が不透明であり、今後の状況は変わらない。
		美容室（店長）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いている状況であるが、再度の感染拡大に不安で、今月よりも良くなるとは考えにくく、横ばいが継続する。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	・客の受注状況が芳しくなく、派遣社員の減員等経費削減の動きがある。今のところ景気が好転する要因が正直見当たらない。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	・緊急事態宣言解除により人の動きが出ており、季節的にも客の増加が見込まれるが、今後第4波発生状況が懸念される。
		設計事務所（所長）	・今月の景気は良くも悪くもないため、3か月先は現状と変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言等様々な対策を講じているが、一般的な景気としては、余り変わっていない。飲食業や観光業は厳しい状況であるが、何とか踏ん張っているため、3か月後もどうかこの状況を継続できると予想している。
		商店街（代表者）	・新型コロナウイルス禍の収束がみえない現状では、飲食店を始めとしてホテル等への納入業者の不景気が続き、全体でも消費動向は上向きにはならない。ワクチン接種が広がり、社会が新型コロナウイルス禍の恐怖から逃れることができた時点で、少しずつ景気も回復すると推測する。
		一般小売店〔青果〕（店長）	・都市部の緊急事態宣言が解除され、全国的にGo Toキャンペーンやイベント等で人の動きが出てきて、感染者数が増加し、人の動きが鈍くなるため、厳しくなっていく。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	・他の地域では、新型コロナウイルスの感染者が再び増加しており、再度営業時短要請が発出されることも予想され懸念している。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	・緊急事態宣言が解除され、売上は徐々に戻ると予想しているが、再び感染者が増加しており、1日も早い収束を願っている。
		百貨店（販売促進担当）	・緊急事態宣言が解除され来客数が大幅に伸びているが、この状況が続くとリバウンドする可能性が高いため危惧している。
		百貨店（経営企画担当）	・都心部を中心に新型コロナウイルスの感染拡大の第4波の懸念が見込まれており、今後の来店にマイナス影響となる可能性が高い。
		スーパー（経理担当）	・前年が特需のような状況であったので、今年は厳しさが一層増している。
		衣料品専門店（店員）	・今の気の緩みから新型コロナウイルス感染者が増加し、また緊急事態宣言発出になるのではないかと危惧している。
		家電量販店（総務担当）	・新型コロナウイルスのワクチン接種が増え感染が落ち着くにつれて、家電需要も減少する可能性がある。好調であった反動は、必ず出てくると予想している。
		家電量販店（従業員）	・新生活スタートに向けての家電の需要が増えている。
		乗用車販売店（従業員）	・春先は消費が落ちるため、景気がやや悪くなる。



分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		乗用車販売店（代表）	・新型コロナウイルスの影響が継続されると予想される。
		住関連専門店（経営者）	・緊急事態宣言解除で、都市部での感染拡大の傾向が見られ、キャンペーンに陰りがみられる。巣籠り需要も一段落し、耐久消費財の家具等への購入減少がみられる。
		住関連専門店（従業員）	・例年秋冬は羽毛ふとん等の高級寝具の需要が高くなり、春先は就職や進学等の引っ越しで需要も上がる。そういった繁忙期が終わるため、落ち着いていく。
		その他専門店〔書籍〕（副店長）	・新型コロナウイルス第4波が来るのではないかと危惧している。
		スナック（経営者）	・3～4月は歓送迎会のシーズンで本来なら売上が期待できる時期であるが、まだ会社から禁止されている企業が多いため、ほとんど見受けられない。また、個人利用もまだまだ自粛ムードで戻っていない状態である。今後の見通しの予測が付かず、懸念している。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルス禍の状況で、今までの産業構造が分岐点にきていると感じている。今まで、成長企業であった分野に変わる新しい産業が、多方面から芽生えてくると考えられ、期待をしている。
		理容室（経営者）	・卒業や進学、就職、人事異動など、一斉に固定客が減少するため、新規で回復するには、1年掛ければいけないことから、ここ2～3か月は厳しい状態が続く。
	×	スーパー（総務担当）	・このまま新型コロナウイルスの感染拡大がある程度収まれば、巣籠り需要も減少し、以前のように価格競争が激しくなる。そのような環境では、なかなか厳しい状況とならざるを得ない。
	×	スーパー（統括者）	・内食が減少傾向になっているため、来店客の買上点数や客単価が減少傾向になっており、加えて、競合店との競争の影響は、非常に深刻になってくる。
	×	コンビニ（店長）	・リバウンドにより、再度緊急事態宣言が発生すると予測される。
	×	家電量販店（店長）	・家電量販店は新型コロナウイルス禍で特需が続いていたが、緊急事態宣言が解除され売上が落ち着き始めている。特にテレワーク関連商品や高級調理家電、大型冷蔵庫、空気清浄機の売上が大幅に落ちており、この傾向が続くと予想される。
×	設計事務所（所長）	・新型コロナウイルス変異種の感染状況にもよるが、大きく好転することはない。個人の場合、収入減少により、大きな金が必要な家の新築や購入、また設備投資への意欲が下がることが考えられる。	
企業 動向 関連  (九州)		電気機械器具製造業（経営者）	・取引先から更に増産を依頼される状況であり、今後は設備投資や雇用も増やす計画である。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・新型コロナウイルス感染者増加の不安が出ているが、ワクチン接種もそろそろ始まり、2～3か月後にはかなり状況が好転していると予想している。しかし、状況次第では、厳しい状態に陥ることも考えられる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・2～3か月後には、IT関係の動きが良くなると予想される。それにより、部品が供給されれば、各客は、それなりの動きになるため、その準備はできている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・引き合い案件及び見積依頼の量が増えてきており、現状より確実に受注量は増えそうである。しかし、一昨年と比べ、その量は7割程度である。
		電気機械器具製造業（取締役）	・新型コロナウイルス収束を見据えた動きが出ている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	・半導体製造装置やパワー半導体関連の受注が増加傾向であるが、楽観は許されない。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・生産計画から判断するとやや良くなるように捉えられるが、取り巻く環境から見れば樹脂材関連のフォースマジュール、半導体関連メーカーの火災等生産に影響してくる事象が多く、注視している。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	・市場の価格相場が頻繁に上下しているのが気になるが、生産量から見ても景気は良くなると予想される。
		輸送業（従業員）	・緑茶やコーヒー等にダイエット効果をうたった機能性食品の需要が高まっており、引き合いが多くなっている。また、外食の受注も多くなっている。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金融業（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数にもよるが、ワクチン接種も開始され、また気候も暖かくなっていることから、人の動きも活発になることが予想される。また、緊急事態宣言が解除されたこともあり、影響を受けている飲食業等の売上回復がある程度見込めるため、現況より景気は良くなる。
		金融業（営業）	・緊急事態宣言が解除され、今後ワクチンの効果が広がり、新型コロナウイルスの影響が緩和されれば、当然ながら景気は回復傾向に向かう。
		新聞社〔広告〕（担当者）	・旅行関係の広告が動き出している。
		広告代理店（役員）	・客からの新案件発注が入り始めてきており、今後もこの傾向が続く可能性がある。
		経営コンサルタント（社員）	・昼、夜共に人出が徐々に戻っている。
		農林水産業（経営者）	・新型コロナウイルスの第4波が現実化するも期待外れになるが、新型コロナウイルス禍での食品需要は大きく変化し、元の状態に戻ることはないと考えられる。依然として外食は厳しいが、家庭の食事や少人数の会食は定着し、密を避けた食スタイルの食品は期待できる。一方、サプライヤーも大きく変化をして、次の需要を掘り起こしていく必要があり、今年はその良いチャンスだと捉えている。
		食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響も少しずつ改善に向かっている。
		繊維工業（営業担当）	・仕事や学校の授業がリモートになれば衣料品関係には仕事が回らなくなり、今の悪いままで推移すると考えている。
		家具製造業（従業員）	・現状の市場情報では、今後も新規案件の数は伸び悩みと判断せざるを得ないため、競合激化の状態は当面続くものと予想される。また、東京オリンピックが無事に開催されたとしても、人の流入が規制されるなかでは、経済の著しい回復とまでは期待できない。
		化学工業（総務担当）	・農薬需要の見通しが不透明で、危惧している。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・前年度は陶器市が行われなかった。今年は開催される予定ではあるが、開催方法が変わるため、景気の上乗せはなく、受注関係は余り変わらないと考えている。今後はWebを充実させて、取引関係を強化しなければならない。
		輸送業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いても、現在より大きく好転することはない。
		輸送業（総務担当）	・新型コロナウイルスの第4波及び変異種ウイルスの感染状況により商況は変わるが、良くなるという見通しは立たない。堅実な産業の物量は変わらず推移しているが、外食関係はかなり落ちている。
		通信業（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数は減少しているが、今後の具体策に乏しいため、何か対策を講じる必要がある。
		金融業（調査担当）	・地元での新型コロナウイルスの感染は落ち着いているものの、感染再拡大に対する不安は払拭されておらず、ワクチンの供給量や副反応に対する不安も根強い。長引く新型コロナウイルス禍で、資金繰りに苦慮する事業者に対する支援策の強化が急がれる。
		金融業（調査担当）	・全県において緊急事態宣言が解除されているが、リバウンド防止期間として時短営業の要請を延長するなど、しばらくは新型コロナウイルスの感染拡大防止と経済活動のバランスを慎重に見極めていく期間が続くと予想される。現況を一変させるかもしれないワクチン普及時期もいまだ流動的で、現段階では景気回復は、見通しにくい状況である。
		不動産業（従業員）	・宿泊施設の売上が低調ながら横ばいに推移している。
		経営コンサルタント（代表取締役）	・自社Webのアクセス件数、問合せ件数に大きな変化がない。
		経営コンサルタント（社員）	・まだまだ外出に抵抗があり、当分今の状況は変わらない。
		その他サービス業〔物品リース〕（職員）	・継続して大幅な変動は見られないと予想している。
		農林水産業（従業者）	・今後は、全国から多くの出荷量が出ることから、ゴールデンウィークにかけて、市況の下降がどのくらいまで続くのが注目している。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・自治体予算で動くため、予算実行は後半に見込まれる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		金属製品製造業（事業統括）	・東京オリンピックによるインバウンド需要が見込めないと、ホテルを中心とした客の投資意欲は見込めない。
		建設業（社員）	・新年度の予算は確定しているが、いざ発注となると5月の連休が終わらなければ本格的にならないため、ゼロ債や準準化を公言するのであれば、早い発注を望んでいる。
		通信業（職員）	・来年度受注見込みの折衝案件が、今年度より少ない。
		金融業（従業員）	・新型コロナウイルス感染者数が一部の都市で再び増加しているため、Go To Travelキャンペーンの運用再開のめどが立っていないこともあり、ホテル・旅館・飲食店等では先行きを不安視する企業が多い。
		その他サービス業【コンサルタント】（代表取締役）	・市町村では、予算化のための見積り要請が例年と比較して少ない。4月以降の業務の受注業者を決めるためのプロポーザルを3月から開始する市町村も多いが、その動きが少ないことから、4月以降の発注の減少が予測される。そのため、景気が悪くなることが予想される。
	x	建設業（従業員）	・4月からの体制で、規模が縮小することになり、売上や利益が共に減少に転じると見込んでいる。
雇用 関連  (九州)		求人情報誌製作会社（編集者）	・先行き不透明な状況を脱し、これまでのマイナス分を取り返すための積極的な営業展開を期待している。
		人材派遣会社（社員）	・インサイドセールスのニーズが増加傾向である。
		新聞社【求人広告】（社員）	・緊急事態宣言解除により、新聞広告の量も回復基調にあるが、前年並みにはまだ及ばない。Go Toキャンペーンは再開されていないが、完全にストップしていた旅行やホテル業からの広告出稿も、回復傾向にある。しかし、第4波が来て緊急事態宣言となった場合は、元に戻る可能性が高い。
		人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言が関東で解除になっているが、それによる感染者数により影響が変わってくる。どの企業もできることをするだけというスタンスである。
		新聞社【求人広告】（担当者）	・企業をリストラで退職になった人からの相談をよく受けるようになった。一方で、外出や旅行等が減っているため、給与や資金を車や家具に消費する人が増加している。新型コロナウイルスの影響でプラスマイナスの景気が続く。
		職業安定所（職員）	・新規求人は、業種によって増加しているものもあるが、新型コロナウイルスの感染状況が、はっきりと収束に向かっていないとはいえず、今後経済活動を制限される可能性があり、求人が増加していくが見当がつかない。
		職業安定所（職員）	・地域内で複数の商業施設の開業等明るい動きもあるが、新型コロナウイルス収束のめどが立たない限り、サービス業や飲食業の雇用拡大は余り期待できない。
		民間職業紹介機関（職員）	・変異種ウイルスによる第4波の懸念もあるが、現状が厳しい状況のため、新卒の採用に関しては、これ以上に悪くなることはないと考え。一方、経済活動が本格化できない限りは以前のように人手不足で求人増加という良い状態にはならない。
		人材派遣会社（社員）	・連休に入る時期であり、更に求職者の動きや企業の動きも鈍くなる。新型コロナウイルス関連の給付金事務業務等が継続される可能性もあるが、期間限定であるため、長期的な景気の上向きは感じられない。
		職業安定所（職員）	・事業所の規模縮小や解雇の相談が増加している。これまで、独自の工夫や助成金で事業や雇用の維持をしていたが、新型コロナウイルスの終息がみえないため、維持が難しくなっている。
	学校【大学】（就職支援業務）	・求人の動きだけでみると、明らかに2～3か月後は、その全体数が減少する。採用人数は、業績の低迷から予定数以下の内定者であっても、採用活動を終了する可能性がある。	
	x	*	*

## 12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)		百貨店（店舗企画）	・前年は4～5月に掛けて休業を行った経緯から、その反動はもちろんあるが、前年できなかった催事関連も強化し、好調を維持したい。
		コンビニ（経営者）	・新年度に入ると来客数が増えて売上が期待できるので、景気は良くなるとみられる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		コンビニ（副店長）	・緊急事態宣言解除を受けにきわを取り戻しつつあるが、直近の新型コロナウイルス感染者数はまん延期並みの数値が懸念される。あとはワクチン接種が来月どこまで行き届くかと、緊急事態宣言再発出によるかと考える。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・予約受注状況は悪いながらも以前と比べ伸び率は改善傾向にあり、今後は国の観光施策等も実施されることを期待したい。
		住宅販売会社（役員）	・不動産の問合せが賃貸物件、売買物件共に多くなっており契約件数も徐々に増えている。
		スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルス禍の影響で先行き不透明感があるせいか、節約志向が継続するものとみられる。
		スーパー（販売企画）	・2か月後から新規競合店の影響が一巡するので前年比での条件が同じになるが、それでも新型コロナウイルス禍では消費マインドの低下は否めないため、やや厳しい状況は変わらないと考えられる。
		コンビニ（経営者）	・沖縄への来県者も増加傾向にあることで景気回復の可能性も感じるが、緊急事態宣言解除のあと新型コロナウイルス感染者が急増している状況があり、第4波到来、時間短縮の要請も視野にあることで今以上の期待はできず、更に悪化する可能性もあるとみられる。
		コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数に大きく左右される。ワクチンが行き渡るまでは景気は安定しないと判断する。
		衣料品専門店（経営者）	・今月も、緊急事態宣言の影響か、客の出がかなり少ない状態が続いている。今のところ景気の上昇感を感じる事ができず、先行きは良い感じはしない。どうしたら良いか分からない状態である。
		衣料品専門店（経営者）	・正直なところ分からない。新型コロナウイルス次第である。
		観光型ホテル（代表取締役）	・先行きの予約数は芳しくない。春の修学旅行もキャンセルが出た。例年行われている団体旅行もキャンセルとなった。第4波を警戒して、旅行をする感じではない。Go To Travelキャンペーンもやるのか、やらないのかははっきりしないので、旅行者も待っている状態である。
		旅行代理店（マネージャー）	・緊急事態宣言が解除され少しずつ企業出張、個人旅行も増えてはいるが、それと比例するように新型コロナウイルス感染者も増えている。またストップが出る日も遠くない。
		住宅販売会社（代表取締役）	・建築請負契約待ちの案件が多く、当面の建築受注高は見込めそう。
		一般小売店〔酒〕（店長）	・緊急事態宣言解除後、また新型コロナウイルス感染者が急増しているため、再び時短要請などが出る可能性がある。
		通信会社（サービス担当）	・新型コロナウイルスの影響を多少受けると予想している。
		通信会社（営業担当）	・今月は学生需要もあり好調だったが、今後はプラス要素がないのでやや右肩下がりになると予想している。
	×	商店街（代表者）	・現在流行中である新型コロナウイルスの終息の目安が付かないと、安心して街に出られないため、営業にもいろいろ支障を来すとみられる。時短の影響もあり、早めにワクチンで少しでも安心できる状態が来ないと、経済の回復は難しい。
	×	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・緊急事態宣言が解除されてから、新型コロナウイルスの感染者数がリバウンドでどんどん増えており、再度官庁、大手企業の会食自粛や、飲食業への時短要請があると壊滅的な打撃を受ける。給付金の延長、事業規模による配分率の適正化を図ってもらえないと、個人店は働かなくても利益が出て、中大型店は資金がひっ迫して廃業に追い込まれる。
	×	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの3月の販売室数は前年比36%減なのに対し、3月末時点での6月の予約室数は前年比51%減と、マイナス幅が大きくなっている。
企業 動向 関連  (沖縄)		-	-
		窠業土石業（取締役）	・民間工事の需要は低調が続くが、公共工事の需要は若干増加傾向にあり、現状と比較し受注増加が見込める。
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、新型コロナウイルスの感染も落ち着く状況下で、官需部門においては宮古島の陸上自衛隊関連を中心に終盤となっている。ただし民需部門は、2月に起工したホテル等を象徴に回復が期待される。ただし、米軍基地関連で投入される船舶の供給過多が進めば、一段と厳しい競争が予想される。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		建設業（経営者）	・高価格帯の引き合いは増えてきたが、契約に至るまではまだまだ時間が掛かる。
		広告代理店（営業担当）	・現状の景気は決して良い状態ではない。県内企業の販促活動に対する意向をうかがっていると、新型コロナウイルスの終息が見通せないことから、しばらくは現状のまま推移するものとみられる。
		会計事務所（所長）	・新型コロナウイルスの感染流行、収束の流れが定着しているため、特に好材料も悪材料もないのではないかと。
		食料品製造業（役員）	・最近の新型コロナウイルス感染者の急増と変異種の増加による不安に加え、沖縄県の緊急事態宣言再発出による自粛がありうるのではないだろうか。
		輸送業（経営企画室）	・新型コロナウイルス感染者が3月末に掛けて増えている状況のなか、5月の連休までに県がどのような対策を講じるかによって飲食店関連の売上に影響が出ると考えられる。一方、その他産業は特に影響は受けずに変わらないものとみられる。
	x	-	-
雇用 関連 (沖縄)		学校〔専門学校〕（就職担当）	・引き続き求人数の増加が見込まれる。
		人材派遣会社（経営者）	・新型コロナウイルス禍で厳しい状況が続いているが、ワクチン接種の状況に合わせ周辺企業も少しずつ活動を再開させていくと考えられる。
		人材派遣会社（総務担当）	・人の動きが増加してきているようにみられる。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・比較的求人数が増加する時期になる。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	・緊急事態宣言が明けて飲食店への出入りが増えているので、景気は良くなりつつあると考える。しかし、飲食店関係の求人数の伸びには直接結び付いていない印象を受ける。
		-	-
		求人情報誌製作会社（営業）	・3月は就職活動が活発な時期でもあり、それと比較すると6月は落ち着くことが予測される。現在第4波の兆しもあり、観光シーズン向けの採用活動への影響が出てくるかと予測する。
	x	-	-